



液晶モニター付き 4チャンネル デジタルレコーダー

WonderTrack

WT-3000J

Ver.2



取扱説明書

このたびは、本機器をお買い求めいただきありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、本機器を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
本機器の仕様や取扱説明書の内容は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

はじめに

■ 特長

モニター、レコーダーをワンパッケージ化

液晶モニター、ハードディスクレコーダー、SDメモリーカードスロット、フレームスイッチャーの機能をすべて内蔵しています。

液晶モニターでは接続されたカメラからの映像をフル画面または4分割で表示できます。

記録した画像はSDメモリーカードにコピーできます。

コンパクトデザイン

薄型で壁付が可能ですのでスペースをとりません。マンション、小規模店舗、事務所などに最適です。

LAN、インターネットを介して遠隔監視が可能

LAN、インターネットに接続したパソコンから、リアルタイム画像の閲覧、記録画像の検索、再生などが可能です。

録再同時機能

録画を止めることなく、記録された映像の再生・チェックができます。

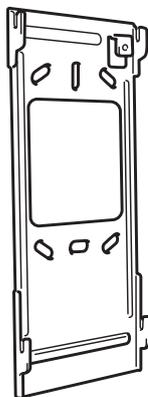
機械警備連動

警備セットの入力と連動して録画したり、異常やステータスを外部機器に通報できます。

■ 付属品

パッケージの中に次のものが入っていることをご確認ください。

・ 取付プレート . . . 1 個

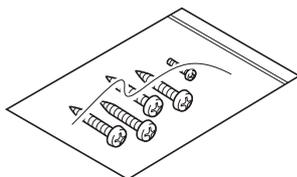


・ 取付ネジセット . . . 1 個

内容

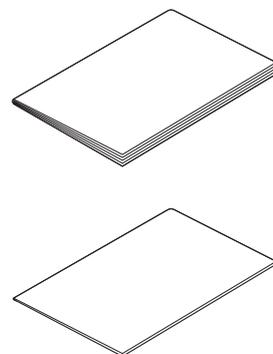
壁面取付ネジ呼び 4 × 20 . . . 4 本

本体固定用ネジ M3 × 8 . . . 1 本



・ 取扱説明書 (本書) . . . 1 冊

・ かんたん操作ガイド . . . 1 冊



安全上のご注意

ご使用になる前にこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
 この取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところへ大切に保管してください。
 この取扱説明書では、本機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、絵表示を用いております。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	このような絵表示は、禁止（してはいけないこと）を意味しています。
	このような絵表示は、分解・改造禁止を意味しています。
 接触禁止	このような絵表示は、接触禁止を意味しています。
	このような絵表示は、強制（必ずしていただくこと）を意味しています。

 警告	
入出力端子への接続工事や、設置は必ず専門の工事店に依頼してください。工事には技術と経験が必要です。 火災、感電、けが、器物破損の原因となります。	
本機器がしっかりと固定されているか定期的に点検してください。金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。 点検は販売店、設置業者、工事店に依頼してください。	
本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。 お子様が誤って本機器を破損すると危険です。	
本機器を分解、改造しないでください。高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。 内部の点検、調整、修理は販売店、設置業者、工事店、または弊社にご依頼ください。お手入れ時、または部品の取外しや取付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。	
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。落下すると、けがや本機器の故障につながります。	
ぬれた手で本機器に触れないでください。感電、機器破損の原因となります。	 接触禁止
上部、および電源のカバーに指を挟まないようご注意ください。 挟まるとケガをする恐れがあります。	
煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。 火災、感電の原因となります。 販売店、設置業者、工事店、または弊社にご連絡ください。	
本機器を落したり外装を破損した場合は、使うのをやめてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。 販売店、設置業者、工事店、または弊社にご連絡ください。	
内部に水や異物が入ったときは使うのをやめてください。火災・感電につながります。 販売店、設置業者、工事店、または弊社にご相談ください。	
本機器専用の AC アダプター（別売）または専用直流電源装置（別売）を使用してください。 本機器専用以外の AC アダプター（別売）を使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因となります。	

⚠ 警告

本機器を使用するときは、必ず警告、注意事項に従ってください。	⚠
電源コンセントを他の機器と共用使用はしないでください。他の機器とコンセントを共用すると異常発熱でコンセント部が発火するおそれがあります。	⊘
アースが接続されているか確認してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。アース接続されていないときは、販売店、設置業者、工事店にご連絡ください。	⚠
設置、および配線工事は販売店、設置業者、工事店に依頼してください。	⚠
本機器の内部金属フレームは高温になっている場合がありますので、触れないでください。やけどなどのケガをする恐れがあります。	⊘

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わないでください。水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電の恐れがあります。	⊘
使用中は、本機器の上に布などをかぶせないでください。熱で外装ケースが変形し内部が発熱すると、火災・感電・故障の恐れがあります。	⊘
直射日光のあたる場所などの高温になるところで使用・保管しないでください。本機器外装が熱により変形することがあります。	⊘
本機器は、機器の重みにより落下しないように、しっかりとした場所に堅固に取付け、設置してください。 本機器の落下によるけがの原因になります。	⚠
風呂等の湿気の著しく高い場所や、水に浸かる恐れのある場所、水中などには設置しないでください。またホースなどで直接水をかけないでください。火災、感電、機器破損の原因となります。	⊘
本機器を設置するときはモニター部分を触らないでください。 強く押すと破損の原因になります。	⊘ 接触禁止
本機器の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。	⊘
ケーブルの着脱はコードの部分ではなく、プラグ部分を持ってください。電源コードを引っ張って抜くと断線して発熱、発火の恐れがあります。	⚠
本機器が正常に機能しない場合に取扱説明書に記載されている対処を行っても回復しない場合は、販売店、設置業者、工事店、または弊社にご連絡ください。取扱説明書に記載されている以外のことをすると感電、ケガ、火災の恐れがあります。	⚠
電源の入切は取扱説明書の手順に従ってください。手順に従わないと、機器が壊れる恐れがあります。	⚠
電源電圧、周波数、容量などの規格を守ってください。本機器の規格、条件外で使用すると、感電、火災、ケガの恐れがあります。 使用電圧 AC90-110V 使用周波数 50Hz/60Hz	⚠

⚠️ 注意

条件外で使用、保管すると、感電や火災、故障の原因となります。次のような場所では使用、保管しないでください。

- ・ 平らでなく、振動する不安定な場所
- ・ 静電気が発生する場所
- ・ ほこりや湿気の多い場所
- ・ 温度 +5 ~ +40°、湿度 25 ~ 80% の範囲を超える場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 火気の周辺または熱気のこもる場所
- ・ 薬品類のそば
- ・ 冷暖房器具のそば
- ・ 漏水の危険がある場所
- ・ 漏電の危険がある場所
- ・ 強い磁界が発生する場所



ラジオ、テレビ、コードレス電話機などの近くで使用したり、同じコンセントに電源コードを接続しないでください。本機器およびラジオ、テレビに雑音が入ったり、正常に動作しなくなります。



液晶モニターの内側の液には、刺激性の物質が含まれています。万一、破損して液が流れ出した場合は絶対に口に入れないでください。誤って口に入れた場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、すぐに医師に相談してください。皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。



設置工事、配線工事を行う場合は、本機器の電源を切ってから行ってください。



● 本機器の取扱いについてのお願い

設置場所について

- ・ 次のような場所には取付けないでください。本機器の故障や誤動作の原因となります。
- ・ 換気扇や排気ダクトなど蒸気や油などのかかる場所。
- ・ 室内温度が 5°C 未満になる場所、エアコンなどの冷風が当たる場所には設置しないでください。
- ・ テレビ、ラジオ、パソコン、無線機、磁石、スピーカなど強い磁界（磁気）を発生する機器の近くでは画像が乱れたり、記録が損なわれる場合があるため、極力それらの機器から本機器を離してください。

使用環境（結露発生等）について

- ・ 本機器がさらされる環境によっては、本機器の本体およびハードディスクドライブ機器など本機器の内部機器に結露が発生する場合があります。結露が発生している状態で本機器をご使用になりますと、本機器が故障する場合があります。特に、ハードディスクドライブ機器については完全に動作しない場合や、動作しましてもその寿命を著しく短くすることがありますのでご注意ください。
- ・ 結露が発生している場合のご使用については、本機器の電源を入れてライブ状態のまま 1 時間程度待ってからご使用頂くことを推奨致します。
- ・ また、本機器が急激な温度変化にさらされる場合などの状況下におきましても、結露の場合と同じように本機器の故障につながる場合がありますので、本機器のご使用の条件につきましては十分注意して使用頂くことをお願いします。

撮影について

- ・ この商品は、映像の撮影をするもので、盗難防止装置ではありません。万一発生した盗難事故などによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 必ず事前に試し撮りを行い、正常に記録されていることを確認してください。また、視野の設定ミスや使用上の操作ミス及び機器が正しく動作しなかったことによる損害や損失記録データの保証は致しかねますのでご了承ください。
- ・ 本機器は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中に本機器に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。
- ・ 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、ごく少量の画素欠けや、まれに、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録されている画像には影響ありません。
- ・ 液晶モニターを長時間表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。

ハードディスクドライブ (HDD) について

- ・ ハードディスクドライブは消耗品です。約 20,000 時間を目安に交換してください。（これは約 20,000 時間を保証しているものではありません。）本機器がさらされる環境や使用環境によってはハードディスクドライブの寿命を著しく短くすることがありますのでご注意ください。また、ハードディスクの故障による交換、定期メンテナンスによる交換を必要とするときは、販売店、設置業者・工事店、または弊社にお問い合わせください。
- ・ お客様によるハードディスクの交換により生じた不具合に関しては、いかなる場合も保証対象外となります。

放熱ファンについて

- ・ 本機器内部に取付けられている放熱ファンは消耗品です。
約 30,000 時間を目安に交換してください。(これは約 30,000 時間を保証しているものではありません。)

注意 ハードディスクドライブ、本機器内部の放熱ファンは、消耗品のため保証期間中であっても、有償修理対象品となります。

お手入れについて

- ・ 付着したホコリや汚れなどは乾いた布で軽くふき取ってください。
- ・ 汚れが落ちにくい場合は薄めた中性洗剤をやわらかい布にしみこませ、軽くふき取ってください。
- ・ ベンジンやシンナーなどの溶剤、中性以外の洗剤は使用しないでください。変形、変質、塗装のはがれなどの原因となります。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の場合は、注意書きに従ってください。
- ・ 内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

バックアップバッテリーについて

- ・ 本機にはリチウムバッテリーが内蔵（固定）されています。バッテリーの寿命は充放電を繰り返し使用した場合で約 5 年です。
- ・ 液漏れの発生や寿命の場合は、電源が切れると時計が自動的にリセットされる症状が起こります。お取替えについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・ 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗ってから、医師にご相談ください。
- ・ 本機器を処分される場合は、リチウムバッテリーの処理方法もお買い上げの販売店にご相談ください。

商標・知的財産権について

- ・  は商標です。
- ・  は商標です。
- ・ QuickTime、QuickTime ロゴは、米国およびその他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。
- ・ 本機器には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL に従い、複製、頒布及び改変することができます。本機器で使用しているオープンソースコードについては弊社へお問い合わせください。
- ・ その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

● SD メモリーカードの取扱いについての注意事項

 警告	
SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。	
 注意	
SD メモリーカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。	
SD メモリーカードを分解したり、改造しないでください。	
SD メモリーカードを扱う前に、必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電させてください。静電気によって部品に損傷が生じる恐れがあります。	
SD メモリーカードを保管するときは、専用のケースに入れてください。	

● SD メモリーカードの取扱いについてのお願い

取扱いについて

- ・ SD メモリーカードを高温になる場所や直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。SD メモリーカードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- ・ 使用後は、必ず SD メモリーカードを取出して、保管してください。
- ・ SD メモリーカード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手や金属などで触れないでください。
- ・ ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようご注意ください。
- ・ SD メモリーカードは必ず正しい向きで入れてください。挿入方向を間違えて無理に挿入するとコネクタ部が破壊されてしまいます。

フォーマットについて

- ・ SD メモリーカードを使用する前に、本機器でフォーマットしてください。フォーマットは「セットアップ」メニューの中の、「ディスク SD フォーマット」で実行できます。
- ・ 一度本機器でフォーマットした SD メモリーカードは、本機器から抜き出した後でも SD メモリーカードの容量一杯まで書込みできます。
- ・ 容量一杯まで書込んだ場合は、PC でファイルを削除するかももう一度フォーマットし直すことで、さらに書込むことができます。その際 SD メモリーカード内の保存データは全て失われますので、大事なデータはパソコン等に保存してください。

画像データについて

- ・ 不適切な取扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 「しばらくお待ちください」が表示されているときは絶対に、SD メモリーカードを取出さないでください。データの破壊および、故障の原因になります。
- ・ 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。

● 電源を切る際の注意

- ・ 通常は、本機器の電源を切る必要はありませんが、輸送時など必要な場合には以下の手順でハードディスクを停止させてから切るようにしてください。
 - (1) ライブに戻る。
 - (2) 上下左右ボタンの上↑を押す。
 - (3) 2 秒以内に停止キーを押す。
 - (4) 画面下部の表示が「HDD 停止準備中」から「HDD 停止」となり、しばらくして表示が消えるまで待つ。
 - (5) 念のため、ディスク LED が点滅していないことを確認する。
 - (6) 電源を切る。
- ・ この手順を経ずに（特にライブに戻らずに）電源を切った場合、最悪の場合ハードディスクの記録内容が破壊されることがありますのでご注意ください。

● SD メモリーカード、SDHC メモリーカードの表記について

- ・ 本書説明内では「SD メモリーカード」に「SDHC メモリーカード」を含みます。

目次

はじめに.....	2
安全上のご注意.....	3
目次.....	8

準備

1 各部の名称.....	10
1-1 前面.....	10
1-2 内部.....	11
1-3 設置と接続.....	13
1-3-1 壁面への固定.....	13
1-3-2 カメラと外部モニターの接続.....	15
1-3-3 前面映像入力端子を使った外部モニターの接続.....	15
1-3-4 マイクの接続.....	16
1-3-5 スピーカーの接続.....	16
1-3-6 ネットワーク接続.....	16
1-3-7 端子カバーの取付け.....	17
1-3-8 電源ケーブルの接続.....	17
1-4 LED表示のみかた.....	18
1-5 液晶モニターについて.....	19
1-5-1 画面表示の種類.....	19
1-5-2 モニター設定の変更.....	20
2 録画方法と録画時間設定の説明.....	23
2-1 監視状態と録画時間設定.....	23
2-1-1 ライブ状態から監視状態への切替方法.....	23
2-1-2 監視開始遅延時間.....	23
2-1-3 画面とLEDの表示.....	23
2-1-4 録画時間設定.....	23
2-2 録画の種類.....	24
2-2-1 パニック録画.....	24
2-2-2 常時録画.....	24
2-2-3 アラーム / モーション録画.....	24
2-2-4 プリ録画.....	24

操作

3 カメラからの映像をライブ表示する.....	25
3-1 チャンネルを指定して表示する.....	25
3-2 分割表示する.....	26
3-3 シーケンス表示をする.....	26
4 監視状態に入り録画を開始する.....	27
5 再生する.....	29
5-1 チャンネルを指定して再生する.....	29
5-2 4分割表示で再生する.....	30
5-3 再生速度や方向を変える.....	31
5-4 一時停止とコマ送り.....	31
5-5 画像をSDメモリーカードにコピーする.....	32
5-6 しおりを付ける.....	34
5-7 静止画を拡大する.....	35
6 検索して再生する.....	36
7 パスワードについて.....	39
7-1 パスワードの入力方法.....	39
7-2 パスワード異常の復旧方法.....	39

設定

8 設定変更.....	40
8-1 セットアップメニューの表示と終了.....	40
8-2 時計設定.....	41
8-3 カメラ設定.....	41
8-4 ライブ設定.....	42
8-5 パニック録画設定.....	43
8-6 モード1(モード2) 常時録画設定.....	44
8-7 モード1(モード2) アラーム / モーション録画設定.....	44
8-8 モード1(モード2) プリ録画設定.....	46
8-9 音声記録設定.....	47
8-10 録画時間設定.....	48
8-11 ネットワーク設定.....	50
8-12 モーションセンサ設定.....	54
8-13 入力端子設定.....	56
8-14 出力端子設定.....	59
8-15 名称設定.....	61
8-16 システム設定.....	65
8-17 ディスク管理.....	75
8-18 その他の設定.....	77

その他

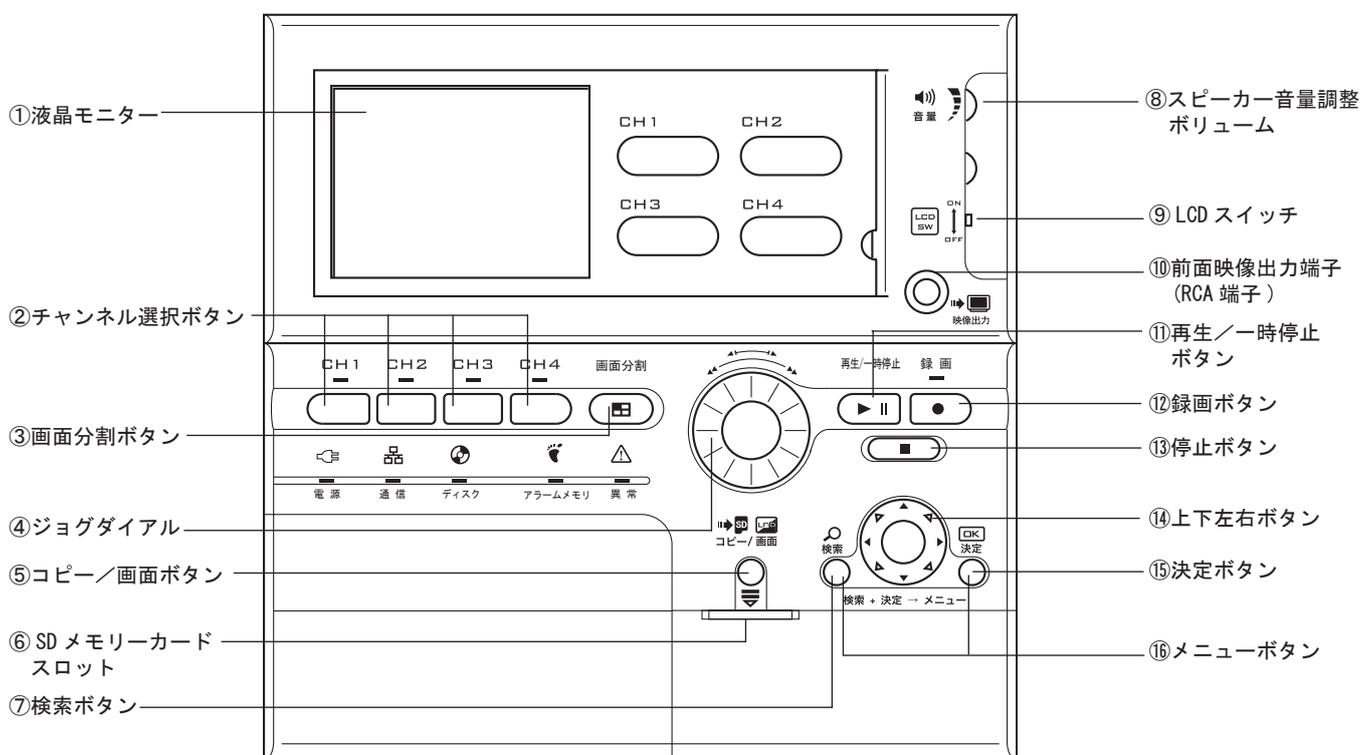
9 こんなときは (トラブルシューティング).....	81
10 仕様.....	85
■仕様.....	85
■セットアップ設定チェック表.....	86
■警告の種類.....	94
■致命的エラーの種類.....	95
■常時録画モードでの最小録画時間表 (日数+時間).....	96
■外形寸法図.....	98

ネットワーク

11 ネットワーク接続編.....	99
■ネットワーク機能の特長.....	99
■動作環境.....	99
11-1 本体とパソコンを接続する.....	100
11-2 ネットワーク接続を設定する.....	100
11-3 ログインする.....	103
11-4 ライブ画像を見る / 録画する.....	104
11-5 記録した画像を再生する / コピーする.....	105
11-6 記録した画像を検索する.....	106
11-7 設定を変更する.....	107
11-8 こんなときは (トラブルシューティング).....	110
保証書.....	112

1 各部の名称

1-1 前面



① 液晶モニター

カメラからの映像を表示します。また、記録された画像や各種設定画面を表示します。

② チャンネル選択ボタン

液晶モニターに映像を表示したいカメラを選択するときに使用します。

③ 画面分割ボタン

カメラ4チャンネル分の映像を液晶モニターに分割して表示します。

④ ジョグダイヤル

再生モードで、ジョグダイヤルを回すと、高速/低速で画像を正転/巻き戻しできます。一時停止モードで、ジョグダイヤルを回すと、1コマずつ画像を正転/巻き戻しできます。メニューモードでジョグダイヤルを回すと、カーソルを移動します。

⑤ コピー/画面ボタン

再生モード中：
画像再生時の一時停止中に押すと、画像をSDメモリーカード内にコピーします。
ライブ表示中または録画中：
モニター設定メニューに移ります。省エネモードの設定や、明るさ/コントラストの調整ができます。

⑥ SDメモリーカードスロット

SDメモリーカードを挿入します。ラベルを上向きにしてください。

⑦ 検索ボタン

このボタンを押すと、検索画面が表示されます。

⑧ スピーカー音量調整ボリューム

内臓スピーカーの音量を調整します。

⑨ LCDスイッチ

このスイッチを押すと、液晶モニターの表示をON/OFFできます。

⑩ 前面映像出力端子 (RCA端子)

テレビモニターやビデオデッキなどほかの機器に映像を出力するときに使用します。本機器の液晶モニターと同じ映像を表示します。

⑪ 再生/一時停止ボタン

1回押すと記録された画像を再生します。再生中にもう1回押すと一時停止します。

⑫ 録画ボタン

録画時間設定により録画または監視状態になります。

⑬ 停止ボタン

録画と再生を停止します。

⑭ 上下左右ボタン

メニューモードで押すとカーソルを移動します。また数値を変更します。

⑮ 決定ボタン

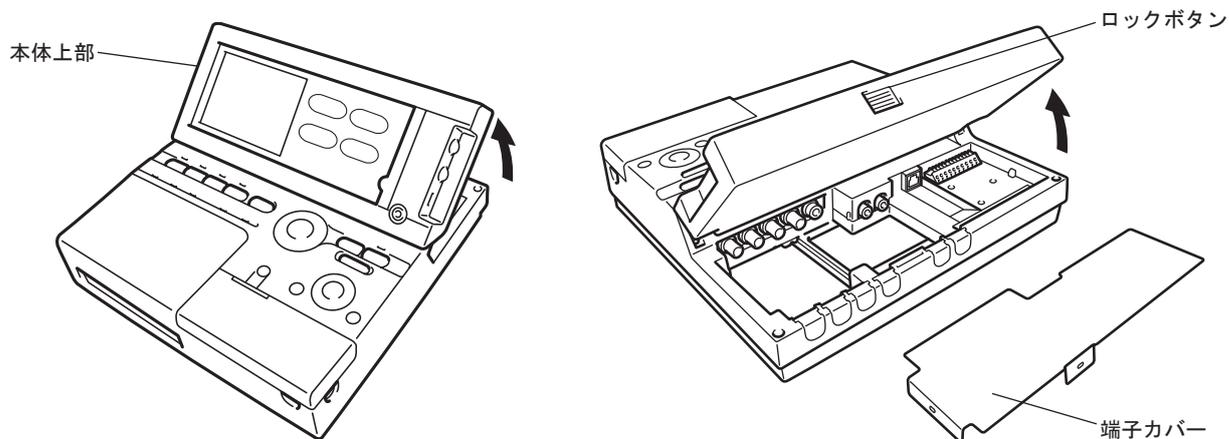
メニュー画面で選択している項目を確定します。

⑯ メニューボタン

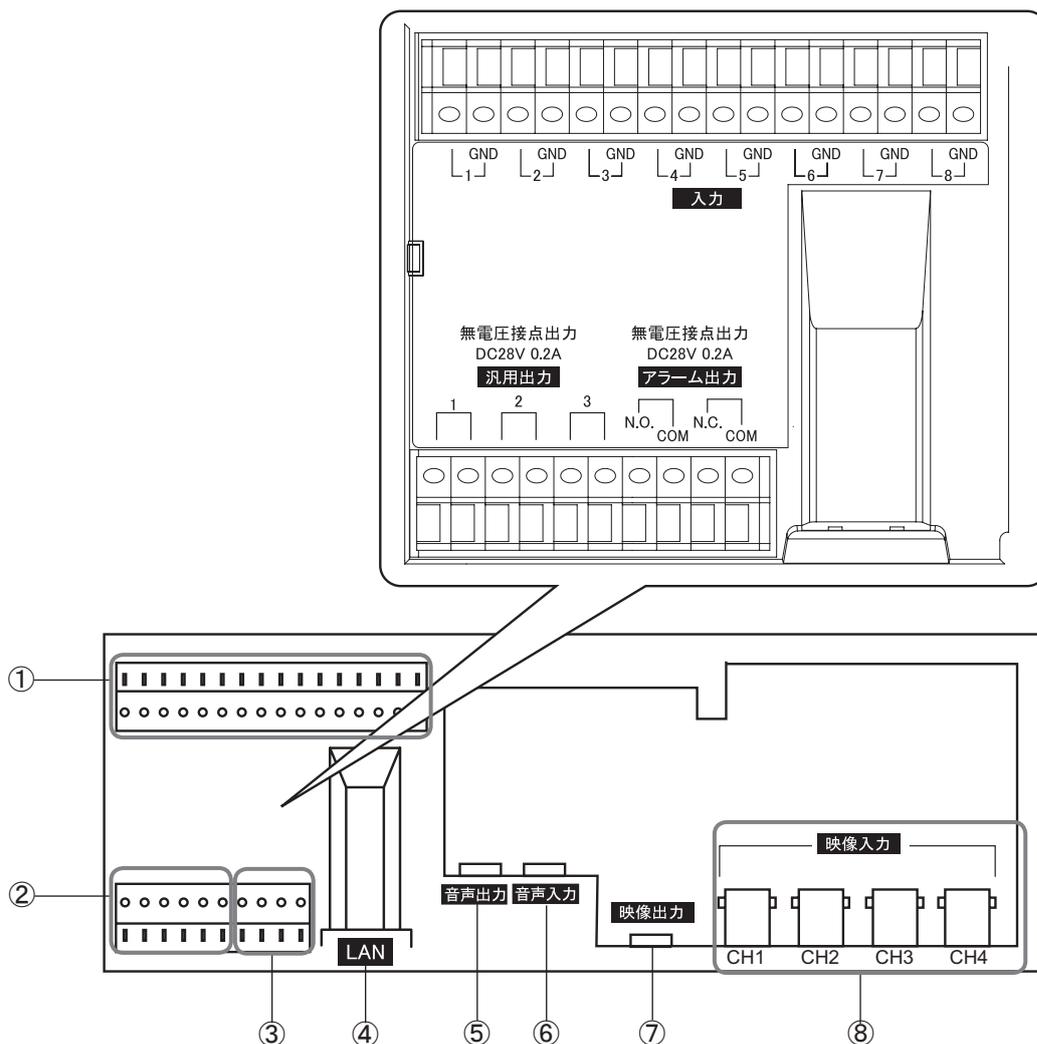
⑦と⑮のボタン2つを3秒程度同時に押すと、セットアップメニューに移ります。

1-2 内部

ロックボタンを押しながら本体上部を手前に開き、端子カバーを取外すと、内部に配線端子があります。



注意 本体上部は閉じた状態から約 95° まで起こすことができますが、約 95° 以上の角度に起こしたり、本体上部自体に無理な力を掛けないでください。本体の破損の原因となりますのでご注意ください。



内部配線端子図

① 入力端子

外部からの入力信号線を接続する端子です。入力の種類としては、アラーム入力 / パニック入力 / 警戒入力 / 分リセット入力 / 秒リセット入力 / マルチ入力 / 画面切替があります。詳しくは 54 ページの「8-13 入力端子設定」をご覧ください。

アラーム入力

センサなどのアラーム信号を入力として受け付けます。

パニック入力

ライブ / 録画 / 再生 / 検索モード時に、パニック入力として設定された入力端子にパニック入力信号が入ると、あらかじめ設定されたパニック録画パターンで録画します。

警戒入力

ライブ / 録画 / 再生 / 検索モード時に、警戒入力として設定された入力端子に警戒入力信号が入ると、強制的に監視状態に入ります。パニック録画中はこの警戒入力は受け付けません。

分リセット入力

設定 / ライブ / 録画 / 再生 / 検索モード時に、分リセット入力として設定された入力端子に分リセット入力信号が入ると、強制的に 00 分 00 秒に時計がリセットされます。30 分未満の場合は切り捨て、30 分以上の場合は切り上げされます。

秒リセット入力

設定 / ライブ / 録画 / 再生 / 検索モード時に、秒リセット入力として設定された入力端子に秒リセット入力信号が入ると、強制的に 00 秒に時計がリセットされます。30 秒未満の場合は切り捨て、30 秒以上の場合は切り上げされます。

マルチ入力

マルチ入力として設定された入力端子にマルチ入力が入ると、マルチ設定がされている全てのチャンネルでアラーム / モーション録画を行います。

画面切替入力

この信号が入る度に表示する CH と画面モードを切り替えます。

② 汎用出力端子

外部への出力信号線を接続する端子です。詳しくは 59 ページの「8-14 出力端子設定」をご覧ください。

③ アラーム出力端子

アラーム入力やモーションセンサの検知があったときに、この端子からアラーム信号を出力します。(エッジの場合アラーム入力直後約 2 秒間、レベルの場合アラーム終了直後約 2 秒間出力します)

詳しくは 59 ページの「8-14 出力端子設定」をご覧ください。

N. O. -COM . . . a 接点出力端子 (N. O. 端子と COM 端子に接続したとき)

N. C. -COM . . . b 接点出力端子 (N. C. 端子と COM 端子に接続したとき)

④ LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX・RJ45 端子)

LAN ケーブルを接続し、ネットワーク通信に使用します。

⑤ 音声出力端子 (RCA 端子)

スピーカー、モニターテレビなどへの音声出力端子です。出力レベルはラインレベルで、音量調整ができません。TV などアンプ付スピーカーと接続してお使いください。

⑥ 音声入力端子 (RCA 端子)

マイクなどからの音声入力端子です。入力レベルはラインレベルで、レベル調整ができません。マイクと本機器の間にマイクアンプを接続してお使いください。

⑦ 外部モニター映像出力端子 (RCA 端子)

外部モニターへの映像出力端子です。本機器の液晶モニターと同じ内容を表示したり、常にライブ映像を表示したり、ライブ時のみ本機器の液晶モニターと同じ内容を表示するなど、設定を選択することができます。(詳しくは 68 ページ「●外部モニターの設定」をご覧ください)

⑧ チャンネル 1 映像入力端子 (BNC 端子)

コンポジット信号の映像入力端子です。監視カメラからの画像を入力します。

チャンネル 2 映像入力端子 (BNC 端子)

チャンネル 1 と同様です。

チャンネル 3 映像入力端子 (BNC 端子)

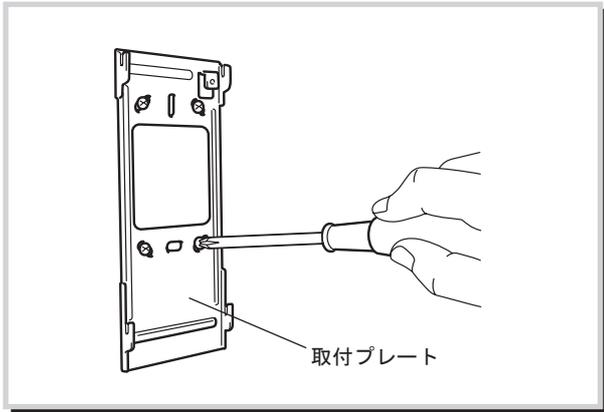
チャンネル 1 と同様です。

チャンネル 4 映像入力端子 (BNC 端子)

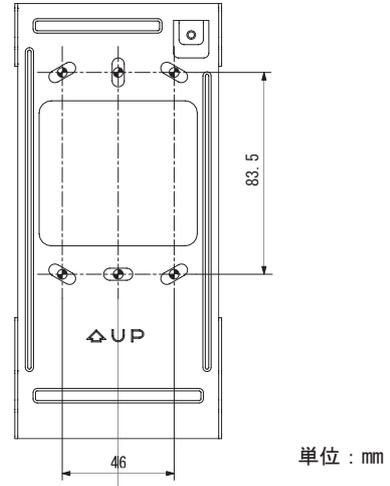
チャンネル 1 と同様です。

1-3 設置と接続

1-3-1 壁面への固定



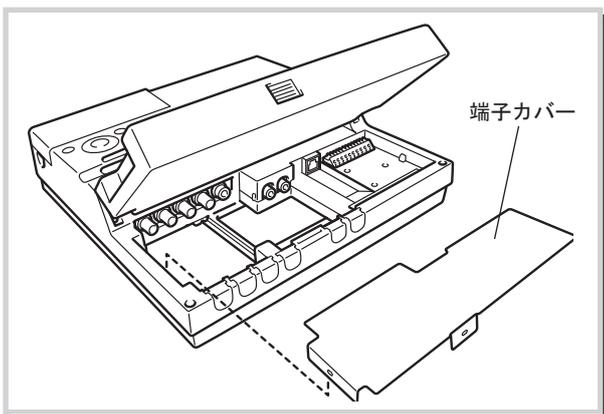
- 1 取付プレートを壁面にネジで固定します。
下記のネジの取付ピッチ図を参照してください。



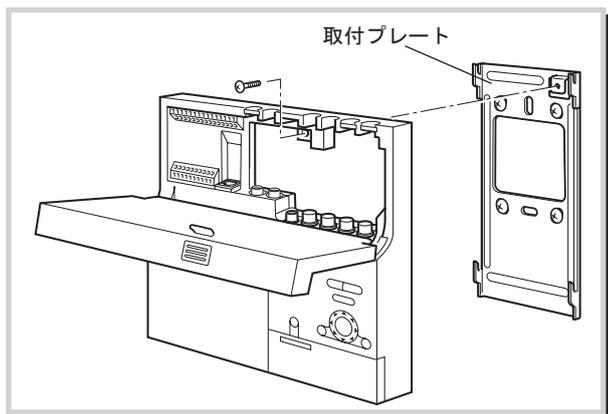
ネジの取付ピッチ図

注意 壁面への取付の際は、壁面に対して付属のネジでしっかりと固定してください。不十分な取付ですと、本体の落下による破損、及び周囲の人が傷害を負う可能性がありますので注意してください。

注意 本体は垂直の壁面に取付けるか、水平の台・机などの上に置いてご使用ください。下記の値を超えるような斜め角度の取付・設置はハードディスク故障の原因となりますので絶対におやめください。
水平角度（卓上設置）： $0 \pm 5^\circ$ （前後左右）
垂直角度（壁面設置）： $90 \pm 5^\circ$ （前後左右）
水平方向（卓上設置）の場合、本体前面（液晶モニター、操作スイッチのある面）が上を向くように設置してください。
垂直方向（壁面設置）の場合、液晶モニターが上側に位置するように設置してください。

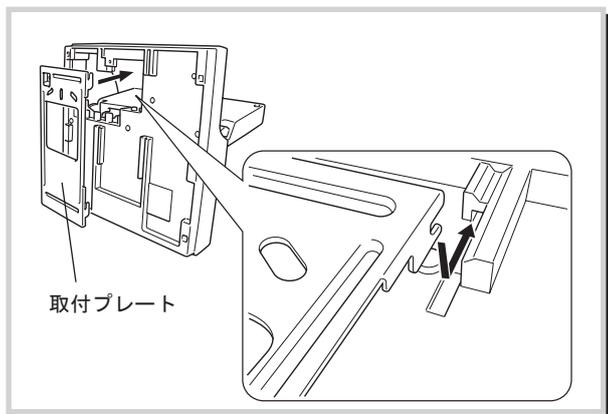


- 2 本体内部の端子カバーを取外します。

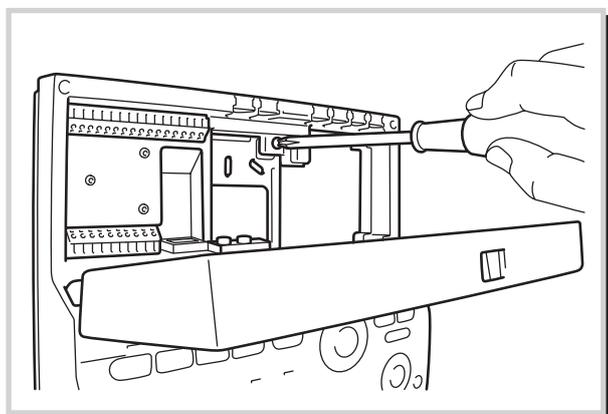


3 本体の上部を起こしてから、本体背面の凹部と取付プレートの凸部をかみ合わせます。

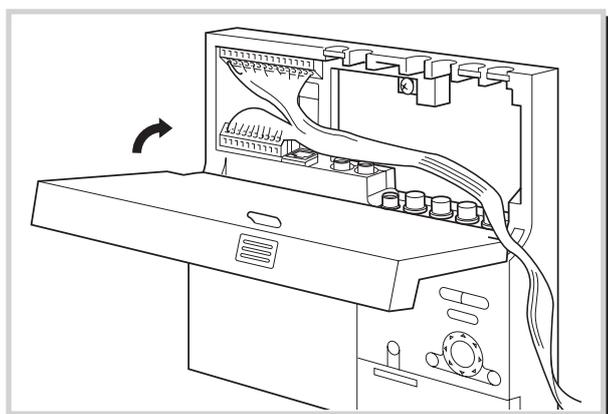
メモ 本体を壁面に取付ける時は、天井との間に20mm以上のクリアランスを確保してください。特に本体を設置した後、他の機器を本体の上方にクリアランスなく設置されると、本体の取外しができなくなりますのでご注意ください。



注意 本体上部は閉じた状態から約95°まで起こすことができますが、約95°以上の角度に起こしたり、本体上部自体に無理な力を掛けないでください。本体の破損の原因となりますのでご注意ください。

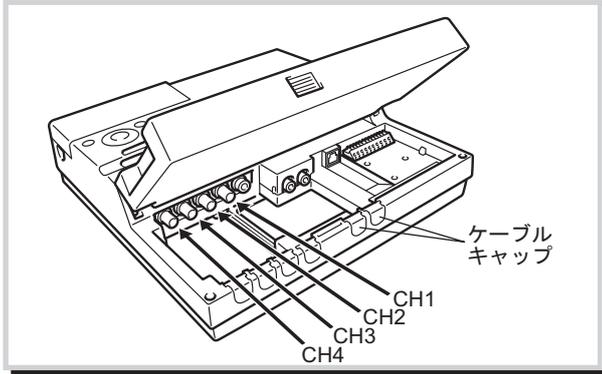


4 本体を取付プレートにネジ（付属）で固定します。



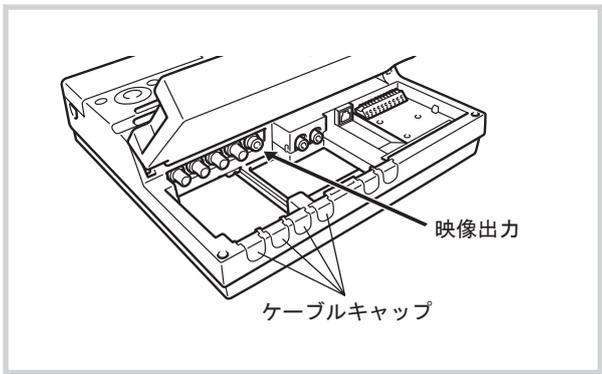
5 配線が完了したら、本体上部を閉めます。

1-3-2 カメラと外部モニターの接続



- 1 チャンネル1～4にカメラからの出力端子を差し込みます。必要によりケーブルキャップ（6箇所）を取外してください。

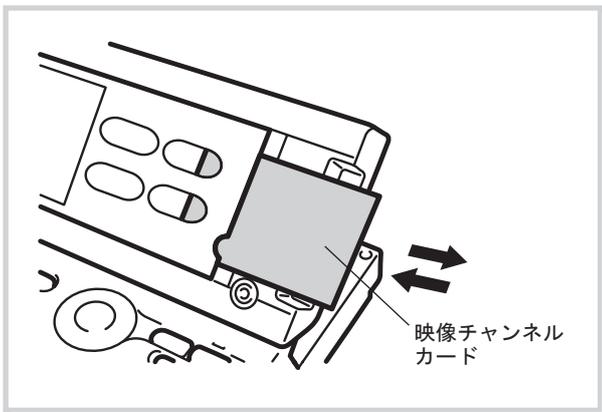
注意 本体上部は閉じた状態から約95°まで起こすことができますが、約95°以上の角度に起こしたり、本体上部自体に無理な力を掛けないでください。本体の破損の原因となりますのでご注意ください。



- 2 必要により、外部モニターを接続してください。

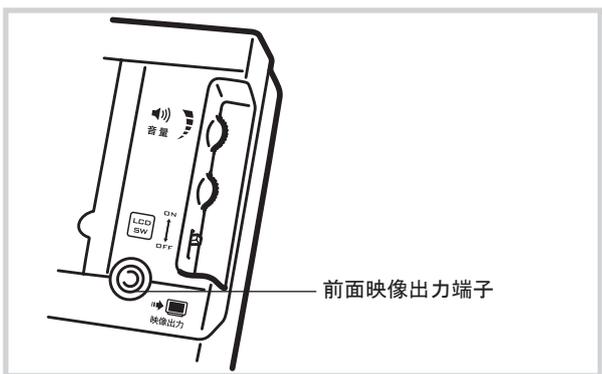
・設定により、以下の表示方法を選択できます。

1. 本機器の液晶モニターと同じ内容を表示
2. 常にライブ映像を表示
3. ライブ時のみ本機器の液晶モニターと同じ内容を表示



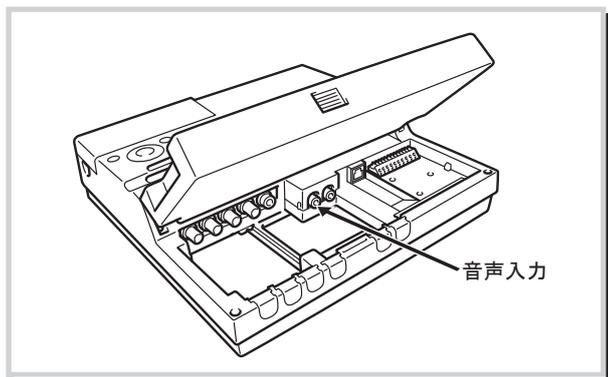
- 3 必要に応じて、チャンネル1～4にどこのカメラが接続されているかを映像チャンネルカードに記入してください。取出しと差し込みの位置は図を参考にしてください。

1-3-3 前面映像出力端子を使った外部モニターの接続



- 1 前面映像出力端子にビデオケーブルを差し込み、テレビモニターなど外部モニターと接続します。本機器の液晶モニターと同じ映像を表示します。

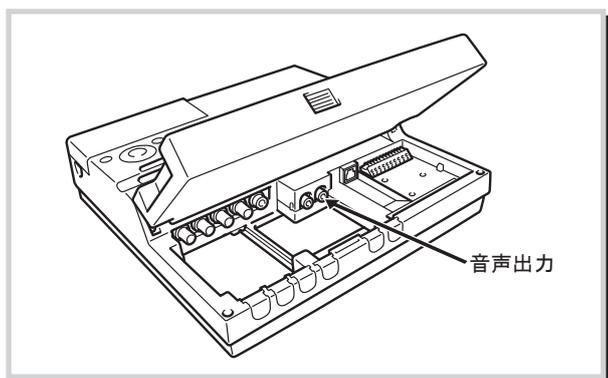
1-3-4 マイクの接続



- 1 録画時に音声も記録する場合は、音声入力端子にマイクを接続します。

メモ 音声入力端子の入力レベルはラインレベルで、レベル調整ができません。マイクと本機器の間にマイクアンプを接続してお使いください。

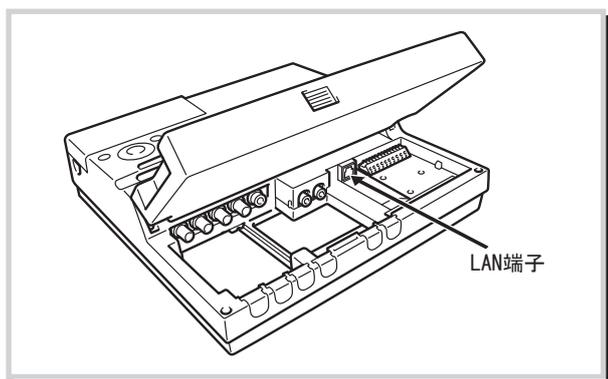
1-3-5 スピーカーの接続



- 1 必要により、音声出力端子にスピーカー、モニターテレビを接続します。

メモ 音声出力端子の出力レベルはラインレベルで、音量調整ができません。テレビなどアンプ付スピーカーと接続してお使いください。

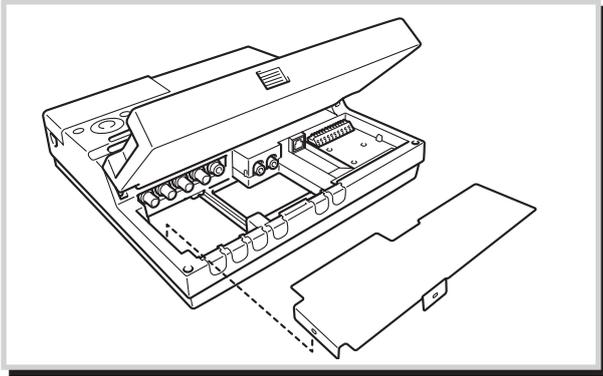
1-3-6 ネットワーク接続



- 1 ネットワーク機能を使用する場合は、LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX・RJ45 端子) に LAN ケーブルを差し込み、ルーターもしくはハブを介してパソコンと接続します。

メモ ネットワーク機能の設定方法については 50 ページ「8-11 ネットワーク設定」、使用方法については 99 ページ「11 ネットワーク接続編」をご覧ください。

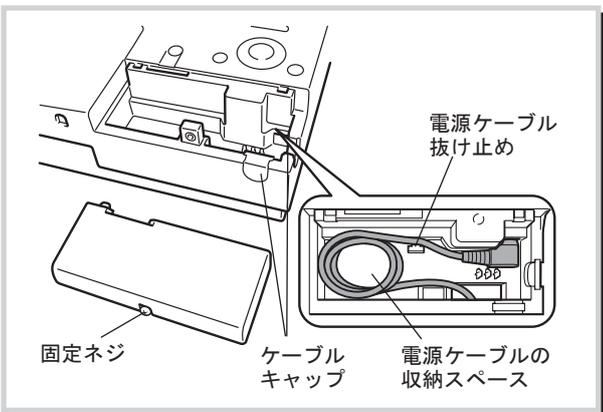
1-3-7 端子カバーの取付け



- 1 すべての接続が終了したら、端子カバーを取付けます。

1-3-8 電源ケーブルの接続

メモ 本体を壁面に取付ける時は、底面との間にカバー固定ネジにドライバーが入る程度のクリアランスを確保してください。特に本体を設置した後、他の機器を本体の下方にクリアランスなく設置されると、カバーの取外しができなくなりますのでご注意ください。



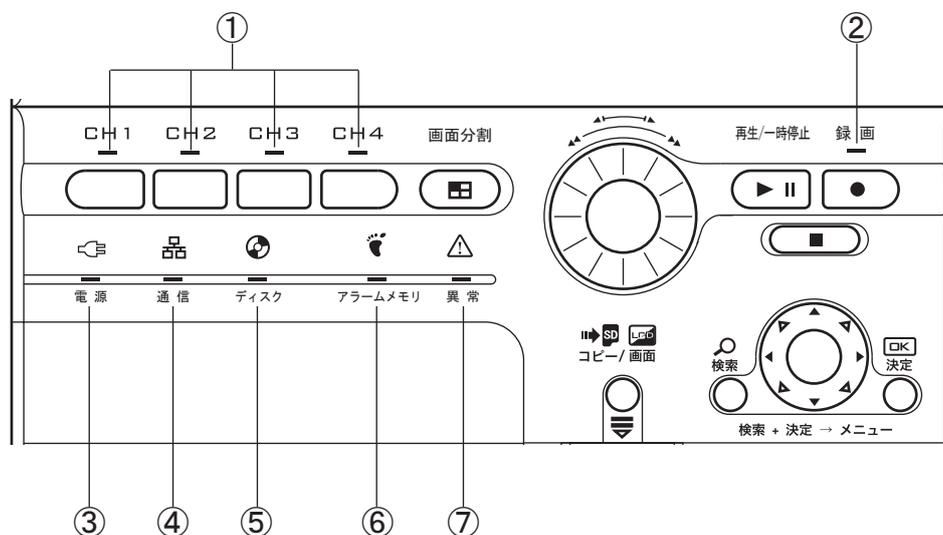
- 1 固定ネジを緩めて、カバーをスライドして外します。
- 2 ケーブルを出す方向に応じて、下側か右側のケーブルキャップを取外してください。または背面側にケーブルを通してください。
- 3 電源ケーブルを接続します。

メモ ・ 電源ケーブルを抜け止めに通します。
・ 電源ケーブルに余裕がある場合は、束ねて空きスペースに収納します。

- 4 電源が投入されます。
約 30 秒間起動画面が表示され、本体の LED（ディスク以外）が点灯します。
起動画面が終了するとライブ映像上にソフトウェアバージョンが表示され、しばらくすると起動完了です。

メモ 起動完了後は、前回電源オフ時の画面が表示されます。（工場出荷時はライブ表示の 4 分割画面）
また、録画中に再起動を実行した場合は録画状態で起動します。

1-4 LED表示のみかた



①カメラ CH

セットアップメニュー / カメラ設定でカメラありに設定されているカメラ CH の LED は緑色に点灯します。

またフル画面表示されているカメラ CH の LED は緑色に点滅します。

セットアップメニュー / カメラ信号なし時処理でエラーに設定し、カメラ信号なしエラーが発生したカメラ CH の LED は橙色に点滅します。

カメラなしで設定されたカメラ CH の LED は点灯しません。

②録画

録画及び監視状態の時は赤色に点灯し、監視開始遅延時間中は、赤色に点滅します。

③電源

電源が入っているとき、緑色に点灯します。

④通信

ネットワーク通信をしているとき、緑色に点灯します。

⑤ディスク

内蔵ハードディスクが動作しているとき、緑色に点滅します。

⑥アラームメモリ

アラームによる画像記録があったとき、橙色に点滅します。一旦、監視状態を停止し、再び監視状態に入ると消灯します。

⑦異常

本体に異常が発生したとき、赤色に点滅します。

1-5 液晶モニターについて

1-5-1 画面表示の種類

フル画面



チャンネル番号
表示中のチャンネル番号を表します。

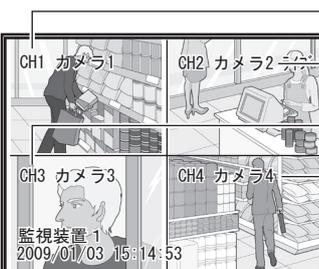
チャンネル名称
表示中のチャンネルに付けられた名称です。
セットアップメニューで変更できます。

モード
ライブ、再生、録画、タイマーのいずれかで現在のモードを表示します。

本体名称
本体に付けられた名称です。セットアップメニューで変更できます。

日付・時刻
現在の年/月/日、時:分:秒を表示します。時刻は24時間で表示します。

4分割画面



チャンネル1
チャンネル1のカメラの映像を表示します。

チャンネル2
チャンネル2のカメラの映像を表示します。

チャンネル3
チャンネル3のカメラの映像を表示します。

チャンネル4
チャンネル4のカメラの映像を表示します。

※モード、本体名称、日付・時刻はフル画面と同様です。
※4分割画面表示状態でアラーム入力やモーションセンサの検知があったときは、そのチャンネルがフル画面表示されます。(ただし、ライブ設定の画面保持時間が「なし」以外に設定されているチャンネルに限ります。詳しくは41ページ「8-4 ライブ設定」をご覧ください。)

再生画面



チャンネル番号
再生している画像を撮影したチャンネルの番号です。

チャンネル名称
再生中のチャンネルに付けられた名称です。
セットアップメニューで変更できます。

イベント
何によって記録された映像かを示します。
常時録画、アラームなどが表示されます。

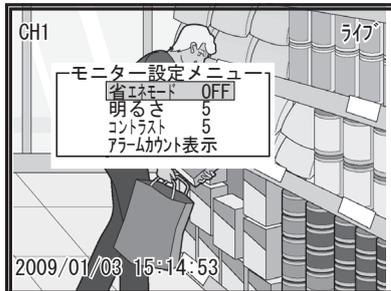
日付・時刻
記録された日付です。年/月/日、時:分:秒を表示します。
時刻は24時間で表示します。

再生方向
順方向 (▶) か逆方向 (◀) を表示します。
※次のイベントの表示に時間がかかる場合は、画像が停止しているように見えますが、正常な状態です。そのままお待ちください。

再生速度
最高速 (03000) から最低速 (00001) まで再生速度を数値で表示します。
標準の再生速度の場合は、「等倍」と表示されます。
※再生速度を表わす数値は、1秒あたりに表示する画像枚数を示します。

1-5-2 モニター設定の変更

一定時間操作をしなかった後に液晶モニターをOFFにするかどうかの設定（省エネモード）や、明るさ／コントラストの調整ができます。



ライブ表示中または録画中にコピー / 画面ボタンを押します。
モニター設定メニューが表示されます。

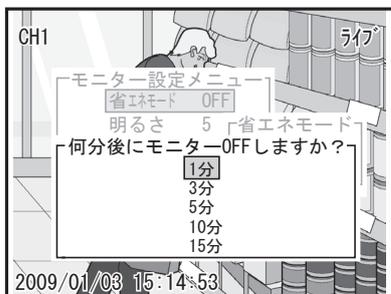
●省エネモードの設定



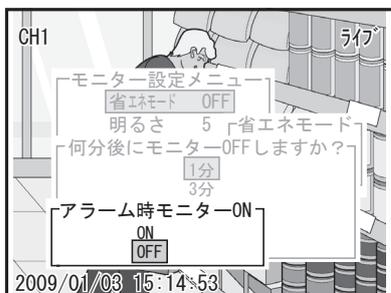
1 上下左右ボタンの上下で「省エネモード」を選び、決定ボタンを押します。
省エネモードポップアップが表示されます。

2 「ON」を選び、決定ボタンを押します。
モニターOFF時間設定のポップアップが表示されます。

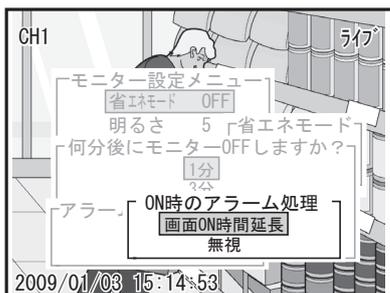
メモ 「OFF」を選択して決定ボタンを押すと、省エネモードはOFFになります。



3 モニターをOFFにする経過時間（分）を選び、決定ボタンを押します。
アラーム時モニターONポップアップが表示されます。



4 「ON」または「OFF」を選び、決定ボタンを押します。「ON」を選ぶと、アラーム入力やモーションセンサの検知があったときにモニターがONになります。
ON時のアラーム処理ポップアップが表示されます。



- 5 「画面ON時間延長」または「無視」を選び、決定ボタンを押します。

モニターがONの場合にアラーム入力やモーションセンサの検知があったときのモニターON時間の処理を選択します。

「画面ON時間延長」:

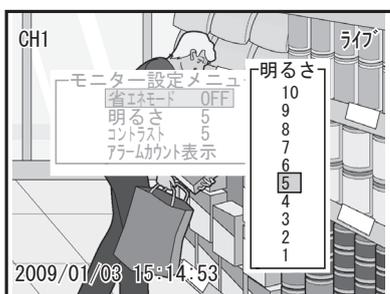
モニターがONの場合にアラーム入力やモーションセンサの検知があったときから手順3で設定した経過時間後にモニターがOFFになるように、モニターON時間が延長されます。

「無視」:

モニターがONの場合にアラーム入力やモーションセンサの検知があっても、モニターON時間は延長されません。

モニター設定メニューに戻ります。設定を終了する場合は、検索ボタンを押してください。

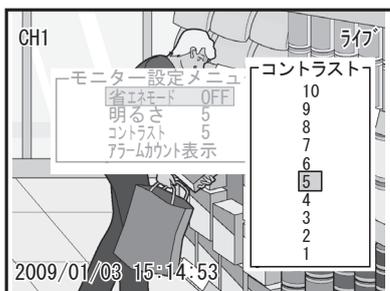
●明るさ設定



- 1 上下左右ボタンの上下で「明るさ」を選び、決定ボタンを押します。
明るさポップアップが表示されます。

- 2 好みの明るさを1～10で選び、決定ボタンを押します。
モニター設定メニューに戻ります。設定を終了する場合は、検索ボタンを押してください。

●コントラスト設定



- 1 上下左右ボタンの上下で「コントラスト」を選び、決定ボタンを押します。
コントラストポップアップが表示されます。

- 2 好みのコントラストを1～10で選び、決定ボタンを押します。
モニター設定メニューに戻ります。設定を終了する場合は、検索ボタンを押してください。

●アラームカウント表示

アラームの発報回数を日単位と時間単位で履歴を表示します。

簡易的な客数カウントやセンサの発報状況の確認などに利用できます。

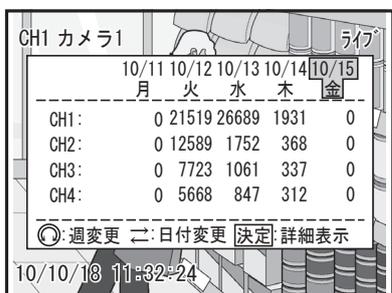
入力端子にセンサからのアラーム入力があった場合や、モーションセンサを設定している場合のみ有効です。



- 1 上下左右ボタンの上下で「アラームカウント表示」を選び、決定ボタンを押します。

1日単位のアラームカウント数が表示されます。

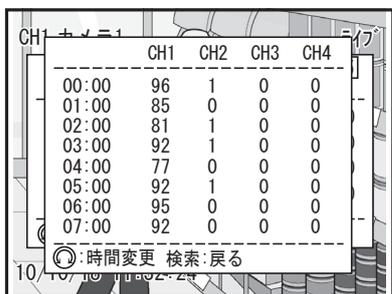
上下左右ボタンの左右ボタンを押すかジョグダイヤルを回すと日付表示をスクロールできます。



- 2 上下左右ボタンの左右を押すかジョグダイヤルを回して日付を選択し、決定ボタンを押します。

1時間単位のアラームカウント数が表示されます。

上下左右ボタンの上下ボタンを押すかジョグダイヤルを回すと時間表示をスクロールできます。



メモ アラームは本体起動中であれば、動作状態に関わらず、常にカウントします。モーションセンサと接点入力を両方使用していた場合、両方を合算した数字となります。表示できる最大時間数は、999 時間分（約 41 日）までです。

2-1 監視状態と録画時間設定

本体は監視状態で、設定された録画時間になると自動的に録画動作を開始します。

2-1-1 ライブ状態から監視状態への切替方法

ライブ状態から監視状態へは、次の2通りの方法で切替ができます。

- ①「録画」ボタンを押す
- ②「入力端子」に「警戒」入力がある

- メモ**
- ・キースイッチや警備システムと連動させてライブ状態と監視状態の切替を行うときには、「警戒」入力を利用します。
 - ・「パニック録画」はライブ状態、監視状態に関わらず、いつでも録画動作をします。

▶▶▶ 「8-13 入力端子設定」 P56

2-1-2 監視開始遅延時間

監視開始遅延時間が設定されている場合、2-1-1の監視状態への切替を行っても、すぐには監視状態に入りません。画面上に監視状態の開始時間が表示され、その時間になると監視状態へ自動的に変わります。

- メモ** 監視切替操作をした人自身が、監視区域から退出する余裕時間を与えるものです。

▶▶▶ 「8-16 システム設定」 ●監視開始遅延時間の設定 P65

2-1-3 画面とLEDの表示

ライブ状態から監視状態へ切替わったとき、次のように表示が変化します。

- ①画面右上の「ライブ」表示が、「録画」または「タイマー」の表示に変わります。
- ②「録画」LEDが赤色に点灯します。

その時間が「録画時間設定」で決められた録画時間であれば、直ちに「録画」を開始します。監視状態であれば「タイマー」が表示されます。

▶▶▶ 「8-10 録画時間設定」 P48

- メモ**
- ・「タイマー」の表示が出ているときは、監視状態ですから、「常時録画」「アラーム/モーション録画」「プリ録画」を行いません。設定された録画時間になると、自動的に「常時録画」、アラーム入力やモーションセンサの検知があれば「アラーム/モーション録画」「プリ録画」を開始します。
 - ・セットアップメニュー/パニック録画でパニック設定をしていればライブ状態および監視状態でも、「パニック録画」動作は行います。

2-1-4 録画時間設定

曜日、時間に応じて2種類の録画モード（モード1、モード2）に切替わるように設定することができます。モード1、モード2のいずれかに設定していない時間帯では、監視状態に切り替えても「常時録画」「アラーム/モーション録画」は行われず、「タイマー」という表示とともに監視状態になります。

▶▶▶ 「8-10 録画時間設定」 P48

2-2 録画の種類

録画には「パニック録画」「常時録画」「アラーム / モーション録画」の3種類があります。「アラーム / モーション録画」および「パニック録画」には、アラームおよびパニック入力直前の画像を録画する「プリ録画」を付加することもできます。

メモ 「常時録画」「アラーム / モーション録画」は、2-1の監視状態で「録画時間設定」の時間内のみ働きます。
「パニック録画」は、ライブ状態および監視状態に関わらず、入力端子に「パニック」入力があったときはいつでも働きます。
録画設定時間以外で緊急の録画が必要と想定される場合は、パニック録画の設定をお奨めします。

2-2-1 パニック録画

入力端子にパニック入力があった場合、自動的に録画します。
ライブ状態や監視状態に関わらず、いつでも録画します。

▶▶▶ 「8-5 パニック録画設定」 P43

2-2-2 常時録画

アラームやその他の入力の有無に関わらず、一定の速度と画質で録画し続けます。
録画速度と画質はチャンネルごとにセットアップメニューで設定します。

メモ 録画時間の設定で曜日、時間によって2種類の組合せを選択することができます。その2種類の組合せをモード1、モード2と呼んでいます。

▶▶▶ 「8-6 モード1(モード2)常時録画設定」 P44

2-2-3 アラーム / モーション録画

センサからアラーム入力があった場合、自動的に録画します。
アラーム録画は、入力端子からのアラーム入力での録画し、モーション録画は、モーションセンサからのアラーム入力での録画します。
録画速度と画質、アラームが起こってから録画時間(ポスト時間)などは、チャンネルごとにセットアップメニューで設定します。常時録画とは異なる設定も可能です。

▶▶▶ 「8-7 モード1(モード2)アラーム / モーション録画設定」 P44 ~ 45

メモ アラーム録画とモーション録画の画質や録画速度などは、共通の設定となります。
個別に設定することは出来ません。

2-2-4 プリ録画

アラームおよびパニックが起こる直前の画像を録画します。録画速度と画質、録画枚数はチャンネルごとにセットアップメニューで設定します。「アラーム / モーション録画」および「パニック録画」とは異なる設定も可能です。

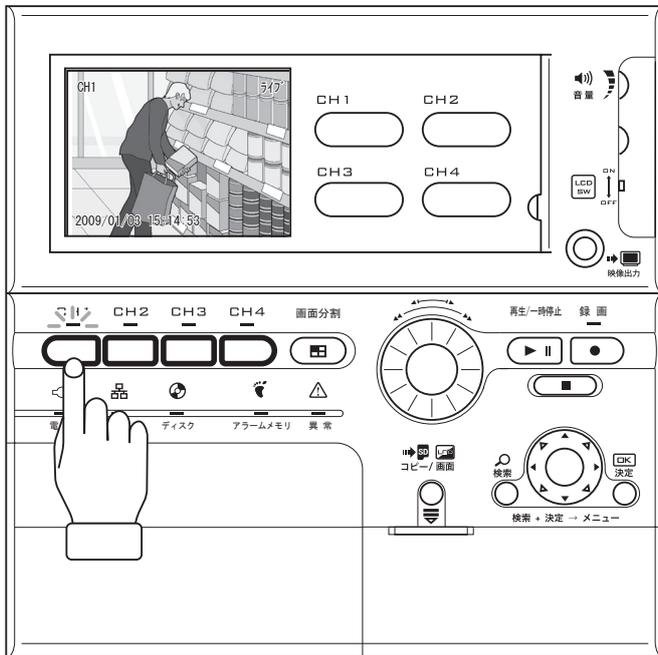
▶▶▶ 「8-8 モード1(モード2)プリ録画設定」 P46

3

カメラからの映像をライブ表示する

3-1

チャンネルを指定して表示する

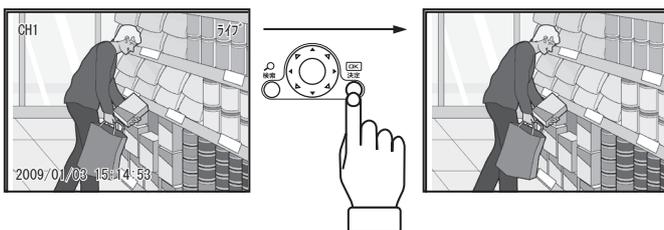


1～4のチャンネル選択ボタンをひとつ押します。

そのチャンネルに該当するカメラからの映像がモニターに表示されます。
また、押したチャンネル選択ボタンのLEDが緑色に点滅します。

- メモ**
- 映像が暗いときやはっきりしないときは、モニターの明るさやコントラストを変えてください。
 - ▶▶▶「1-5-2 モニター設定の変更」P20
 - 接続されていたカメラからの映像が途切れた場合は、モニターに”カメラ信号無し”とエラーメッセージが表示され、アラームが鳴ります。ただし、セットアップメニューのカメラ設定で「カメラ信号なし時処理」が「無視」になっているときは、エラー表示されません。
 - 不要な消耗を避けるため、液晶モニターを使用しないときはLCDスイッチをOFFにしてください。一定時間操作をしなかったときに自動で液晶モニターをOFFにすることもできます。
 - ▶▶▶「1-5-2 モニター設定の変更」P20
 - 液晶モニターを長時間表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。

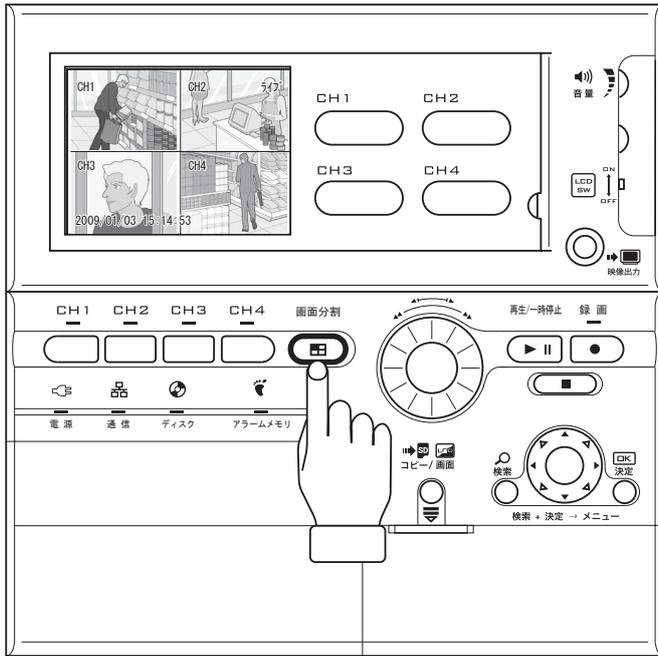
●画面の文字を消す



決定ボタンを3秒以上押し続けると、画面の日付、チャンネル、カメラ名称などの全ての文字が消えます。

もう一度決定ボタンを3秒以上押し続けると、元の表示に戻ります。

3-2 分割表示する

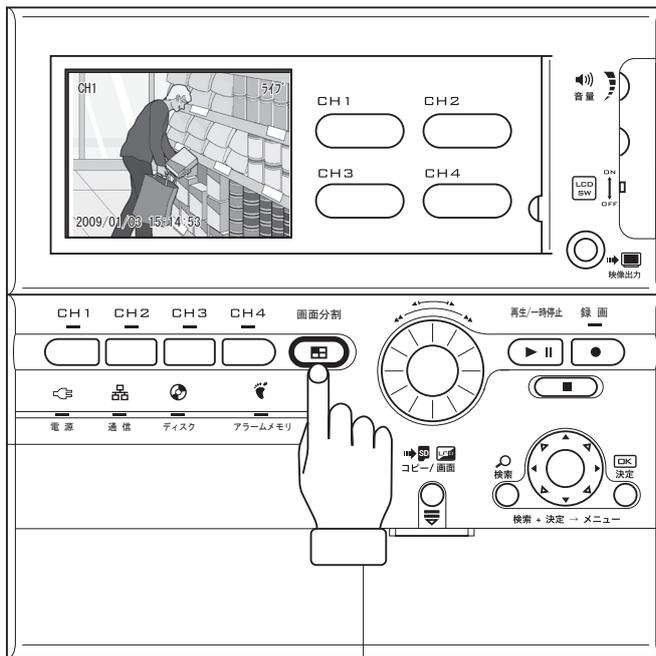


ひとつのカメラからの映像が表示されているときに、画面分割ボタンを押します。

モニターが4分割され、チャンネル1～4のカメラからの映像が表示されます。

メモ ライブ設定のアラーム動作時の画面保持時間を「なし」以外の値に設定したチャンネルにアラーム入力やモーションセンサの検知があると、自動的にそのチャンネルに切り替わり、あらかじめ設定した保持時間だけそのチャンネルの表示を保持します。その後、4分割画面に戻ります。

3-3 シーケンス表示をする



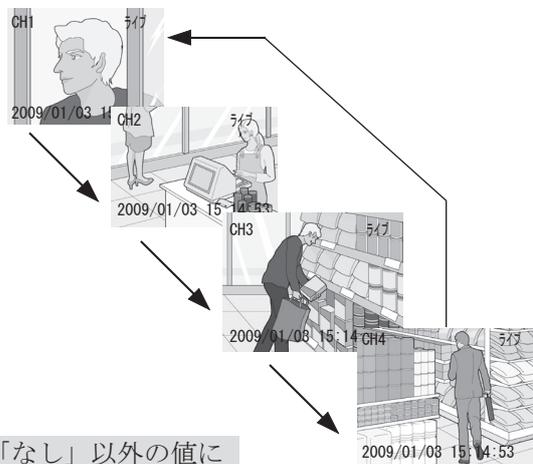
4分割表示されているときに、画面分割ボタンを押します。

シーケンス表示モードに入ります。

セットアップメニューのライブ設定の切替間隔で設定した時間がたつと、チャンネル1～4の順に自動的に表示が変わります。チャンネル4の次は、チャンネル1に戻ります。

シーケンス表示モードは、チャンネル選択ボタン1～4または画面分割ボタンを押すことで終了します。

メモ 「カメラなし」に設定されているチャンネルは表示されません。

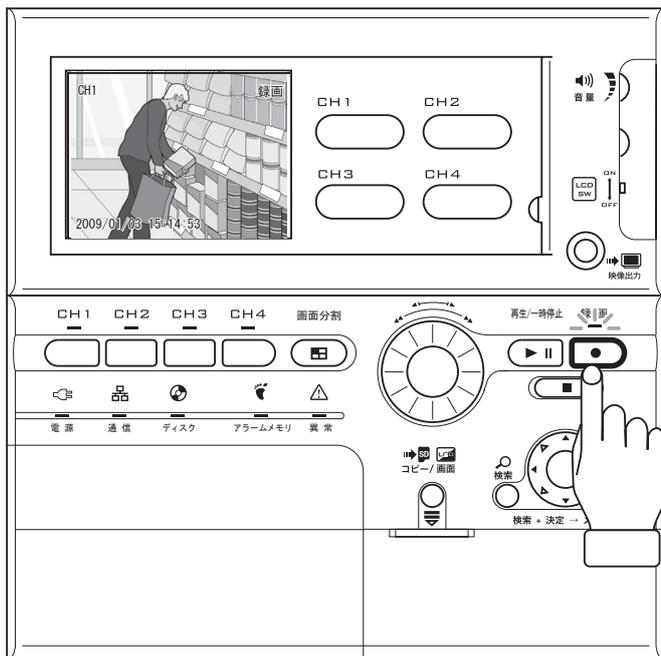


メモ ライブ設定のアラーム動作時の画面保持時間を「なし」以外の値に設定したチャンネルにアラーム入力やモーションセンサの検知があると、自動的にそのチャンネルに切り替わり、あらかじめ設定した保持時間だけそのチャンネルの表示を保持します。その後、切替わる直前のチャンネルより順番にチャンネルを切替えます。

4

監視状態に入り録画を開始する

監視状態から各種録画を開始します。



音声の録音/再生 (1ch) について

- ・ 音声記録設定メニューの「音声記録」を「ON」に設定すると、録画と同時に1CHの音声を録音することができます。(P47 参照)
- ・ 「音声記録」を「ON」に設定すると、OFFの場合に比べ録画時間が短くなることがあります。
- ・ 録画の切替時などに、一時的に音声途切れたりノイズが入ることがあります。
- ・ 音声の再生ができるのは、「等倍」の再生速度(録画速度と同じになる)のときだけです。早送り・巻き戻し・低速再生では音声の再生はできません。
- ・ マイクやスピーカーの接続については、P16をご参照ください。

1 録画ボタンを押すと監視状態に入ります。録画時間設定により次のいずれかの表示になります。

『録画』録画時間設定が「ON」の時間帯であればすぐに録画状態となり、常時録画またはセットアップメニューでアラーム/モーション録画設定を行いつつアラーム入力やモーションセンサの検知があれば、アラーム/モーション録画を開始します。『タイマー』録画時間設定が「OFF」の時間帯であれば、監視状態となります。録画時間になるまでは常時録画もアラーム/モーション録画も開始しません。

画面右上に録画中は「録画」、監視状態では「タイマー」と表示されます。

録画中および監視状態では録画のLEDが赤色に点灯します。

メモ ・ セットアップメニューで録画時間設定がオフになっていたり、モード1常時録画、モード2常時録画の設定がオフになっているときは、録画ボタンを押しても録画できません。設定を確認してください。

▶▶▶ 「モード1(モード2)常時録画設定」P44

- ・ 録画中にパニック入力があると、パニック録画を優先して実行します。パニック入力端子の配線とパニック録画の設定が必要です。同様に、アラーム入力やモーションセンサの検知があると、アラーム/モーション録画を優先して実行します。アラーム入力端子の配線とモード1(モード2)アラーム/モーション録画の設定が必要です。
- ・ 「常時録画」「アラーム/モーション録画」は、2-1の監視状態で「録画時間設定」の時間内のみ働きます。「パニック録画」は、ライブ状態および監視状態に関わらず、入力端子に「パニック」入力があったときはいつでも働きます。録画設定時間以外で緊急の録画が必要と想定される場合は、パニック録画の設定をお奨めします。

2 停止ボタンを押して監視状態を停止します。このとき録画中であれば録画を停止します。

画面右上に「ライブ」と表示され、ライブ表示状態に戻ります。

録画/監視状態では、他のボタンも使用できます。(例：チャンネル選択ボタン、画像分割ボタン、再生/一時停止など)

メモ ・ ハードディスクがいっぱいになると、録画は自動的に停止するか、またはハードディスクの設定によってはハードディスクの記録内容を最初から上書きします。セットアップメニューでハードディスク利用率を表示する設定になっているときは、録画中は画面右下に「HDD ■ %利用中」と表示されます。

■には利用率の数値が入ります。

▶▶▶ ●ハードディスクの利用率を表示する P75

ハードディスクの利用率が90%以上になると、「HDD ■ %利用中」の表示が反転します。また、上書きなし設定の時は100%になると、エラーメッセージが表示されます。

はじめに

準備

操作

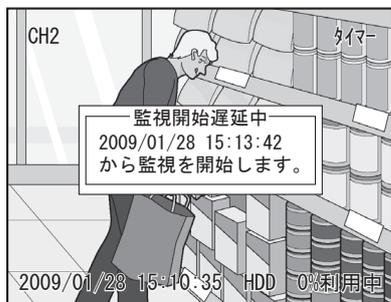
設定

その他

ネットワーク

メモ 停止ボタンを押してもハードディスクへのデータ書込みに時間がかかり、すぐに「ライブ」状態へ戻らない場合があります。約10秒間で「ライブ」状態に戻りますので、しばらく待ってから次の操作を行ってください。

●監視開始遅延時間が設定されている場合



セットアップメニューのシステムで監視開始遅延時間が設定されている場合は、その時間が過ぎてから監視を開始します。

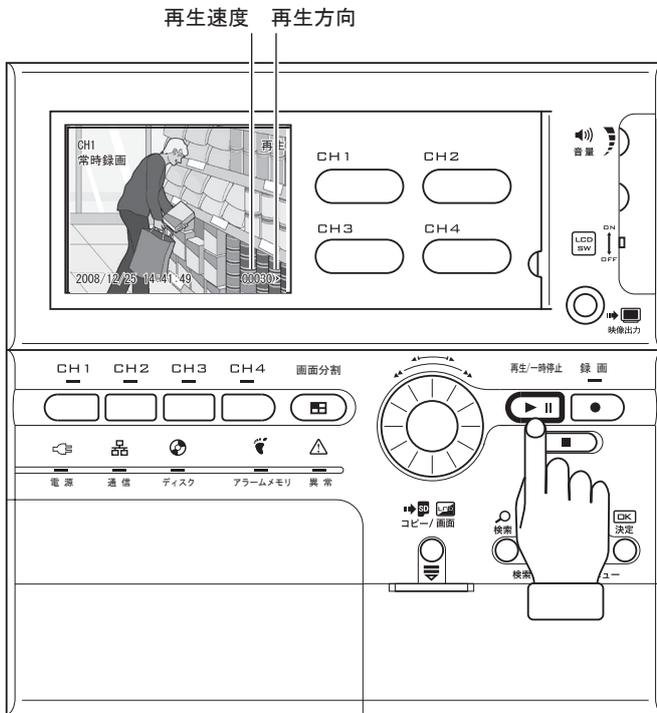
このとき、上記手順1.で録画ボタンを押すと、待機中を示すメッセージが表示され、録画のLEDが赤色に点滅します。

設定された監視開始遅延時間が過ぎると、メッセージは消去され、監視を開始します。

メモ 監視開始遅延時間を待たずにすぐに監視を開始する場合は、メッセージ表示中にもう一度録画ボタンを押してください。メッセージを消去して監視を開始します。

5-1 チャンネルを指定して再生する

本機器では、ライブ表示中／録画中にかかわらず再生を行うことができます。



1 チャンネル選択ボタンを押します。

2 再生／一時停止ボタンを押します。
 選択したチャンネルのカメラで録画した画像を再生します。
 モニターには再生方向と再生速度が表示されます。
 標準では「等倍 ▶」と表示されます。

メモ セットアップメニューのシステム「自動再生位置」によって、録画開始の位置から再生するか、最後のイベントから再生するかを変更できます。

3 再生中にチャンネル選択ボタンを押すと、指定したチャンネルのカメラで同時刻に録画した映像に変わり、再生されます。

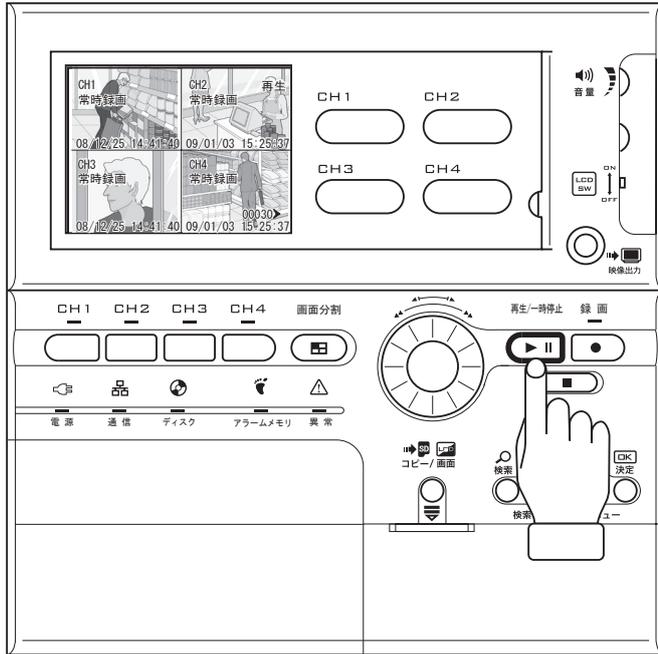
メモ

- 映像が記録されていない場合は、「録画データが存在しません」とメッセージが表示されます。また、最後の映像を再生したあとは、再生速度の上に「最新」と表示されます。
- 再生中に決定ボタンを3秒以上押し続けると、画面の日付、チャンネル、カメラ名称などの全ての文字が消えます。もう一度決定ボタンを3秒以上押し続けると、元の表示に戻ります。
- 音声の再生ができるのは、「等倍」の再生速度（録画速度と同じになる）ときだけです。早送り・巻き戻し・低速再生では音声の再生はできません。

4 停止するときは、停止ボタンを押します。
 再生状態が終了し、1つ前の状態（ライブ表示状態、録画状態または監視状態）に戻ります。

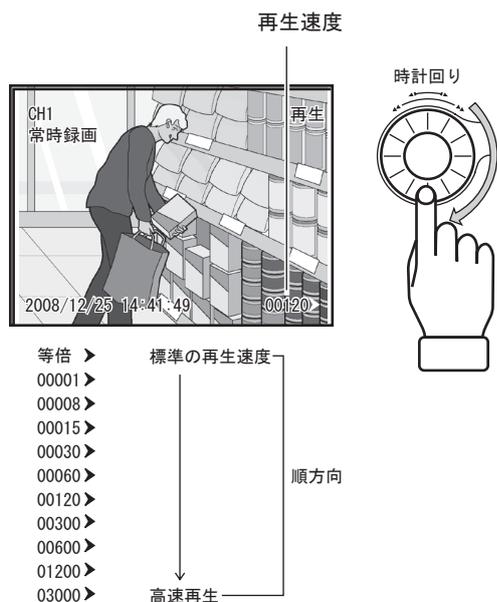
5-2

4 分割表示で再生する



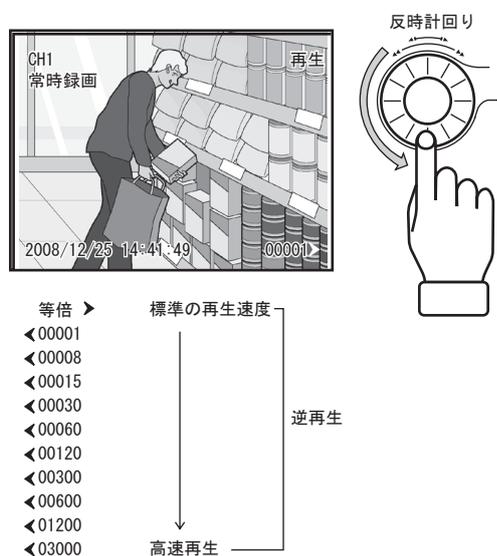
- 1 画面分割ボタンを押します。
4 分割表示に変わります。
- 2 再生/一時停止ボタンを押します。
チャンネル 1～4 のカメラからの映像でセットアップメニュー/システム/再生系設定/自動再生位置で設定した録画位置から再生されます。
- 3 停止するときには、停止ボタンを押します。
再生状態が終了し、1 つ前の状態 (ライブ表示状態、録画状態または監視状態) に戻ります。

5-3 再生速度や方向を変える



メモ 音声の再生ができるのは、「等倍」の再生速度（録画速度と同じになる）ときだけです。早送り・巻き戻し・低速再生では音声の再生はできません。

- 1 早送りをするときには、再生中にジョグダイヤルを時計回りに回します。再生速度が速くなります。引き続き時計回りに回すとさらに速くなります。画面上の再生速度の数値は図のように大きくなります。
- 2 再生速度を戻すときは、ジョグダイヤルを反時計回りに回します。



- 3 逆方向で再生するときは、ジョグダイヤルを反時計回りに回します。標準速度の順再生から逆再生（< 00001）になり、さらに高速の逆再生に変わります。

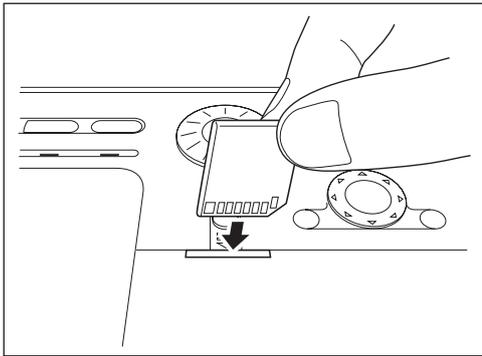
5-4 一時停止とコマ送り



- 1 再生中に、もう一度再生／一時停止ボタンを押すと、再生画像を一時停止します。再生速度は「00000」と表示されます。
- 2 一時停止中にジョグダイヤルを回すと、コマ送りができます。時計回りに回すと、1コマ後の静止画像を表示し、回すたびに次のコマを表示します。反時計回りに回すと、1コマ前の静止画像を表示し、回すたびに前のコマを表示します。ジョグダイヤルを速く回すと、コマ送り速度は速くなります。

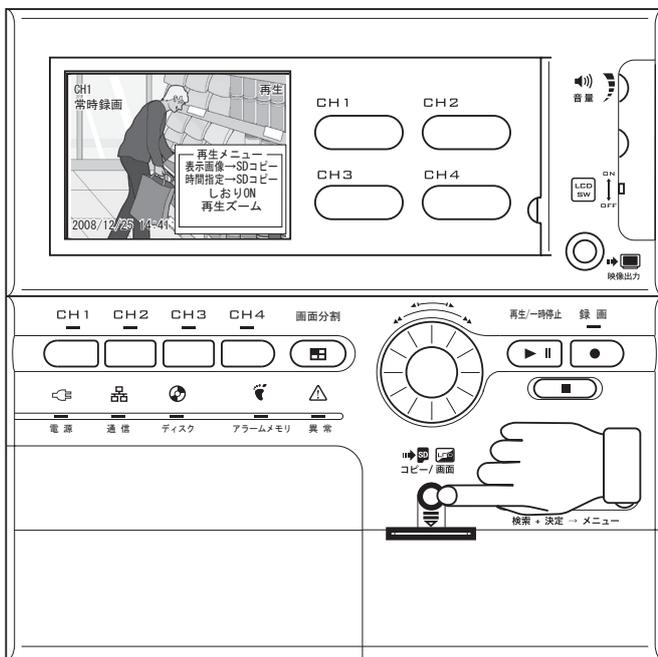
5-5 画像をSDメモリーカードにコピーする

再生画像の中で残しておきたい画像をSDメモリーカードにコピーすることができます。前面のSDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを奥まで挿入してください。取出すときは、コピーが終了したことを確認してから、SDメモリーカードを抜き取ってください。



SDメモリーカードを挿入する場合、挿入の方向が正確であることを確かめてください。SDメモリーカードのラベル部を上にしてSDメモリーカードスロットに挿入します。

●表示画像のコピー

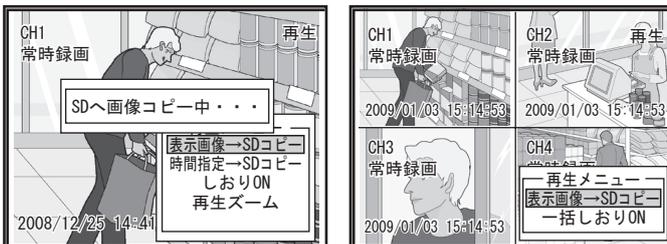


- 1 SDメモリーカードを挿入します。
- 2 再生中に再生/一時停止ボタンを押して一時停止します。
- 3 ジョグダイヤルを回して、コピーする静止画を選択します。
- 4 コピーする静止画が表示された状態で、コピー/画面ボタンを押します。再生メニューが表示されます。

メモ 再生メニューはもう一度コピー/画面ボタンを押すか、検索ボタンもしくは停止ボタンを押すと消去されます。

- 5 「表示画像→SDコピー」を選択して決定ボタンを押します。

表示している静止画がSDメモリーカードにコピーされます。コピー中はメッセージが表示されます。「SDに画像を保存しました」とポップアップ表示がされたら決定ボタンを押します。コピーの終了です。

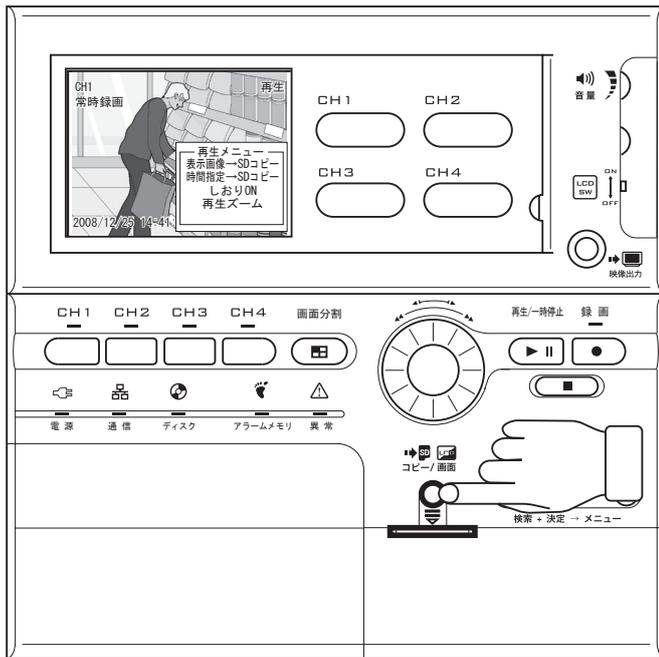


- メモ**
- ・ 静止画は1枚ずつコピーできます。コピーされたファイルはJPEG形式のファイルで保存されます。コピーされた静止画は、撮影日時などを含むExif形式に対応しています。
 - ・ 重要な画像などに「しおり」をつけておけば、後で検索する時の目印として便利です。

▶▶▶ 「5-6 しおりを付ける」P34

- ・ フル画面表示（1画面表示）と4分割表示では再生メニューが異なります。
- ・ フル画面表示では表示されているチャンネルのみの画像がコピーされます。4分割表示では表示されている全てのチャンネルの画像がコピーされます。

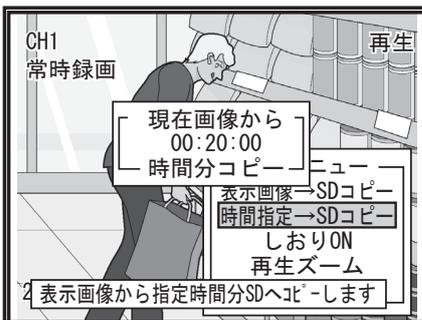
●時間指定によるコピー



- 1 SDメモリーカードを挿入します。
- 2 再生中に再生/一時停止ボタンを押して一時停止します。
- 3 上下左右ボタンを押すかジョグダイヤルを回して、コピーを開始する静止画を選択します。
- 4 コピーを開始する静止画が表示された状態で、コピー/画面ボタンを押します。再生メニューが表示されます。

メモ 再生メニューはもう一度コピー/画面ボタンを押すか、検索ボタンもしくは停止ボタンを押すと消去されます。

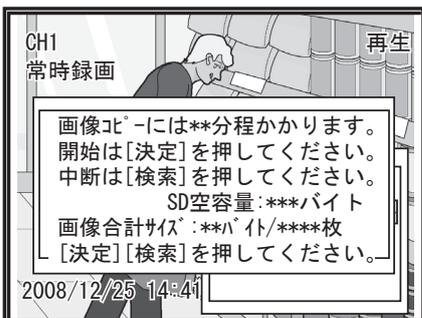
- 5 「時間指定→SDコピー」を選択して決定ボタンを押します。時間指定ポップアップが表示されます。



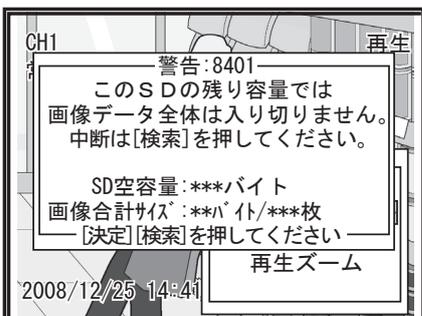
- 6 ジョグダイヤルを回して、コピーする範囲の時間を指定し、決定ボタンを押します。

メモ

- ・ SDメモリーカードへのコピー時間が約2分以上かかる場合は、目安のコピー時間が表示されます。
- ・ SDメモリーカードへのコピー中にコピーを中断する場合は、検索ボタンもしくは停止ボタンを押します。SDメモリーカードへは中断した時点までの画像がコピーされます。



時間指定された範囲の画像がSDメモリーカードにコピーされます。「処理が終了しました」とポップアップ表示がされたら決定ボタンを押します。コピーの終了です。

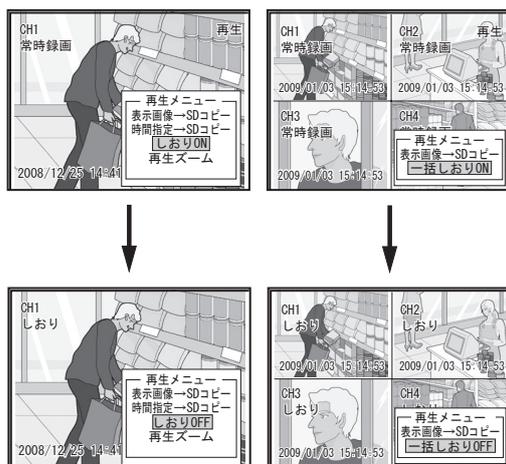


メモ

- ・ コピーする画像の容量に対して、SDメモリーカードの残り容量が不足する場合、画面にメッセージが表示されます。中断する場合は、検索ボタンもしくは停止ボタンを押します。
- ・ SDカードへ動画をコピーする際は、QuickTime形式の動画(.mov .qt)で出力されます。PCで動画再生するにはQuickTimeが必要です。

5-6 しおりを付ける

再生画像の中に検索に使うしおりを付けることができます。



▶▶▶ 「6 検索して再生する」 P36

- 1 再生中に再生／一時停止ボタンを押して一時停止します。
- 2 コピー／画面ボタンを押します。再生メニューが表示されます。
- 3 「しおり ON」を選択して決定ボタンを押します。

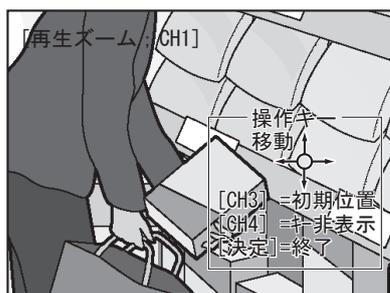
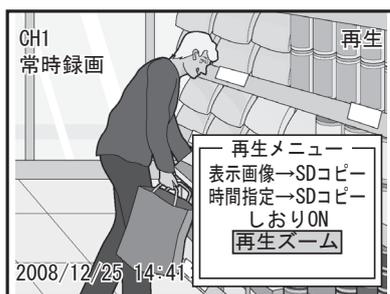
チャンネル表示の下に「しおり」の文字が追加されます。

しおりが付加されている場合は、再生メニューの表示が「しおり OFF」に変わり、選択して決定ボタンを押すとしおりを消すことができます。

メモ 分割画面表示のときには一括でしおりを付けることができます。

5-7 静止画を拡大する

再生画像を拡大して表示できます。



- 1 再生中に再生／一時停止ボタンを押して一時停止します。
- 2 コピー／画面ボタンを押します。再生メニューが表示されます。
- 3 「再生ズーム」を選択して決定ボタンを押します。

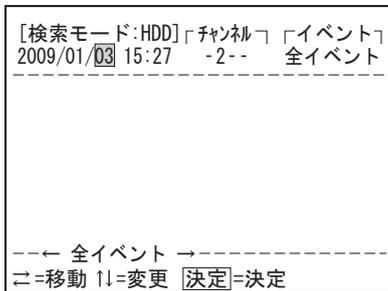
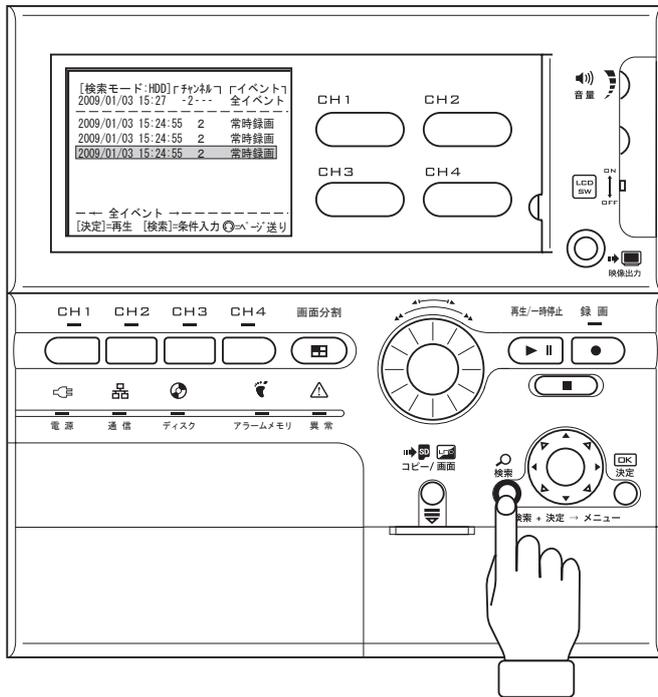
表示中の静止画を2倍に拡大して表示します。画面には拡大中の操作キーメニューの案内が表示されます。

- 4 上下左右ボタンを各方向に押すと、表示範囲を移動します。
- 5 チャンネル選択ボタン3を押すと、拡大範囲が初期位置に戻ります。
- 6 チャンネル選択ボタン4を押すと、操作キーメニューの案内表示を消します。再度チャンネル選択ボタン4を押すと元の表示に戻ります。
- 7 決定ボタン・停止ボタン・検索ボタンのいずれかを押すと、拡大表示を終了し、再生メニューに戻ります。

6

検索して再生する

録画された画像は日付、時刻、チャンネル、イベント種類を指定して検索できます。



1 検索ボタンを押します。

検索画面が表示されます。上段に表示されている検索条件に該当する記録内容が中段にリストで表示されています。

メモ 再生に移らずに検索画面を消去するときは、停止ボタンを押してください。ライブ表示に戻ります。

2 表示中のリストに見たい画像があるときは、上下左右ボタンを上下に押し、カーソルを移動し、決定ボタンを押します。検索画面を消去して、選択した記録内容の再生を開始します。

メモ リストを表示中にチャンネル選択ボタン1～4を押すと、検索条件のチャンネルのみ変更することができます。

3 検索条件を変更するときは、検索画面を表示中に検索ボタンを押すと、日付の欄にカーソルが移動します。手順4.～7.を行ってください。

4 検索する日付と時刻を選択します。

上下左右ボタンを左右に押し、項目を選び、上下に押し、数値を変更します。

メモ 西暦、月日、時刻のチャンネル名、イベント名の選択は上下左右ボタンの左右ボタンのみ有効で、各設定を変更するときは、上下左右ボタンの上下ボタンおよびジョグダイヤルが有効です。

5 チャンネルを選択します。

上下左右ボタンの上ボタンを押すたびに、「1---」から「---4」まで順番に変わったあと、「1234」に変わります。表示された番号のチャンネルが検索対象になります。

メモ ジョグダイヤルでの変更も可能です。
時計回り : 順
反時計回り : 逆

6 イベントを選択します。上下左右ボタンの上ボタンを押すたびに、「全イベント」「しおり」「パニック」「アラーム」「常時録画」「ジャンプ」の順に変わります。

メモ

- 条件が「全イベント」のとき、常時録画は設定されたリストアップ間隔の時刻しかリスト表示されません。条件が「ジャンプ」のとき、常時録画の範囲の中でも最も近い時刻がリスト表示されます。
- ジョグダイヤルでの変更も可能です。
時計回り : 順
反時計回り : 逆

- 7 条件の変更が終わったら決定ボタンを押します。
指定した条件で記録画像が検索され、中段にリストが表示されます。手順 2. と同様に、見たい画像を選び、決定ボタンを押してください。

メモ

- 検索条件に該当する記録内容がないときは、中段に「一致する画像がありません」とメッセージが表示されます。条件を変更して再度検索してください。
- 再生して一時停止した後、コピー／画面ボタンを押すことにより SD メモリーカードへコピーすることができます。

●イベントごとのコピー（ジャンプ検索時以外）

検索画面では、SD メモリーカードを使ってイベントごとのコピーやリストのコピーができます。

[検索モード:HDD]	[チャンネル:1]	[イベント:全イベント]
2009/01/03 15:27	1---	全イベント
2009/01/03 12:00:03	1	常時録画
2009/01/03 12:00:40	1	常時録画
2009/01/03 12:10:03	1	常時録画
2009/01/03 12:30:40	1	常時録画
2009/01/03 14:16:13	1	常時録画
2009/01/03 14:29:20	1	しおり
2009/01/03 14:50:55	1	常時録画
2009/01/03 14:50:55	1	しおり
←全イベント→		
[決定]=再生 [検索]=条件入力 [C]=ページ送り		

[検索モード:HDD]	[チャンネル:1]	[イベント:全イベント]
2009/01/03 15:27	1---	全イベント
2009/01/03 12:00:03	1	常時録画
2009/01/03 12:00:40	1	常時録画
2009/01/03 12:10:03	1	常時録画
2009/01/03 12:30:40	1	常時録画
2009/01/03 14:16:13	1	常時録画
2009/01/03 14:29:20	1	しおり
2009/01/03 14:50:55	1	常時録画
2009/01/03 14:50:55	1	しおり
←全イベント→		
[決定]=再生 [検索]=条件入力 [C]=ページ送り		

検索メニュー

指定イベント画像→SD

表示検索リスト→SD

1日分検索リスト→SD

指定時間検索リスト→SD

ここでは SD カードへ記録するデータを選択します。

- SD メモリーカードを挿入します。
- 検索ボタンを押すと検索画面が表示されるので、コピーするイベントを選択します。
- コピーするイベントが表示された状態で、コピー／画面ボタンを押します。検索画面が表示されます。コピーする対象を選びます。

・指定イベント画像→SD

選択したリスト分の画像を SD へ出力します。

・表示検索リスト→SD

現在画面上に表示している検索リストそのもの（最大 8 件）を SD へテキストファイルとして出力します。ファイル名は以下のようになります。
SCH<CHリスト1~4の数字又はall>.txt

- 1日分検索リスト→SD / 指定時間検索リスト→SD
検索日時から 1 日または指定時間分の検索リストを SD へテキストファイルとして出力します。ファイル名は以下のようになります。
SCH_<CHリスト1~4の数字又はall>CAPME_<出力時間>.txt

● ジャンプ検索時

[検索モード:HDD] [チャンネル] [イベント]		
2009/01/03 15:27	1---	ジャンプ
2009/01/03 12:00:03	1	常時録画
2009/01/03 12:00:40	1	常時録画
2009/01/03 12:10:03	1	常時録画
2009/01/03 12:30:40	1	常時録画
2009/01/03 14:16:13	1	常時録画
2009/01/03 14:29:20	1	常時録画
2009/01/03 14:50:55	1	常時録画
2009/01/03 14:50:55	1	常時録画
← ジャンプ →		
[決定]=再生 [検索]=条件入力 [C]=ページ送り		

[検索モード:HDD] [チャンネル] [イベント]		
2009/01/03 15:27	1---	ジャンプ
2009/01/03 12:00:03	1	常時録画
2009/01/03 12:00:40	1	常時録画
2009/01/03 12:10:03	1	常時録画
2009/01/03 12:30:40	1	常時録画
2009/01/03 14:00:00		検索メニュー
2009/01/03 14:00:00		表示検索リスト→SD
2009/01/03 14:00:00		検索リスト→SD
← ジャンプ →		
[決定]=再生 [検索]=条件入力 [C]=ページ送り		

ここではSDカードへ記録するデータを選択します。

- 1 SDメモリーカードを挿入します。
- 2 検索ボタンを押すと検索画面が表示され、もう一度検索ボタンを押すと条件入力ができます。全イベントを上下左右ボタンの上下でジャンプにし、決定ボタンを押します。
- 3 コピーするイベントを選び、表示された状態で、コピー／画面ボタンを押します。検索メニューが表示されます。コピーする対象を選びます。

・表示検索リスト→SD

現在画面上に表示している検索リストそのもの(最大8件)をSDへテキストファイルとして出力します。ファイル名/ファイル内容はイベント検索時のそれと同じです。

・検索リスト→SD

検索日時から1分間の検索リストをSDへテキストファイルとして出力します。ファイル名は以下のようになります。
SCH_<CHリスト1~4の数字又はall>_<リストの件数>.txt

- メモ**
- ・SDメモリーカードへのコピー時間が2分以上かかる場合は、目安のコピー時間が表示されます。
 - ・SDメモリーカードへのコピー中にコピーを中断する場合は、検索ボタンまたは停止ボタンを押します。

7-1 パスワードの入力方法

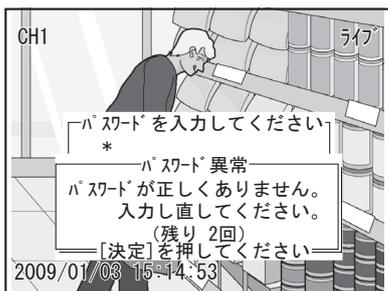


セットアップメニュー / システムでパスワードを設定してある場合は、録画の開始、停止などの動作の前にパスワード入力ポップアップが表示されます。チャンネル選択ボタン1~4を使って利用者パスワード（または管理者パスワード）を入力し、決定ボタンを押してください。パスワードが正しければ、動作します。

▶▶▶ 「●パスワードの設定」 P74

7-2 パスワード異常の復旧方法

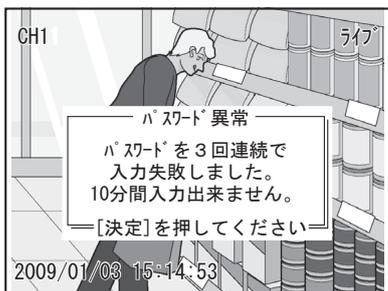
●パスワード異常について



パスワードが間違っているときや、パスワードを時間内に入力しなかったときはエラーメッセージが表示され、異常LEDが点滅します。また、エラー信号が出力されます。決定ボタンを押してパスワードを入力しなおしてください。

パスワード入力ミスかパスワード入力時間オーバーを3回連続すると、パスワード入力不可ポップアップが表示され、10分間入力ができなくなります。

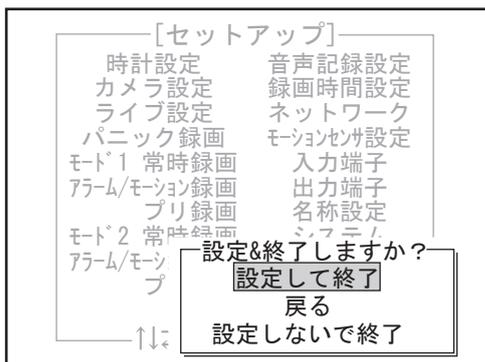
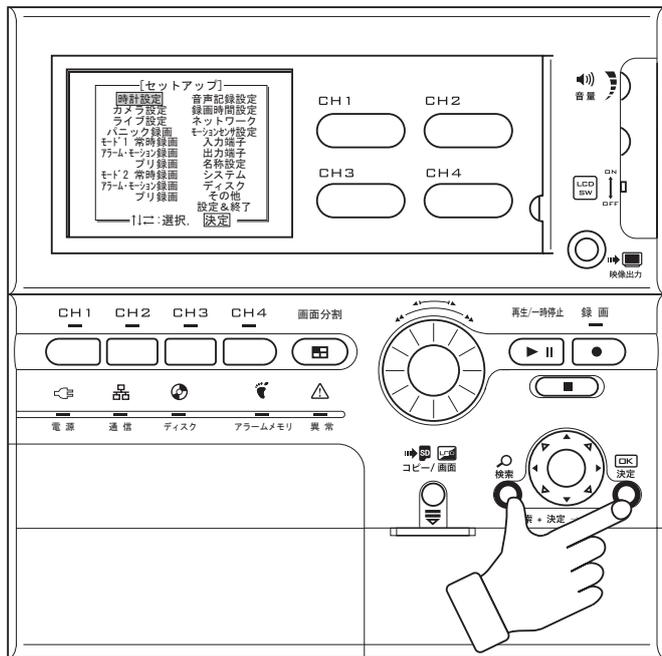
●パスワードの復旧方法



10分間待つてから正しいパスワードを入力してください。

- メモ**
- ・ 10分間入力不可の間、パスワードを入力しようとする、あと何分で入力可能かを表示します。
 - ・ 管理者パスワードを入力することにより、すべての操作を行うことができます。利用者パスワードでは、セットアップメニューに入ることができませんが、それ以外の操作は行うことができます。

8-1 セットアップメニューの表示と終了



- 1 検索ボタンと決定ボタンを3秒程度同時に押します。セットアップメニューが表示されます。

- メモ**
- 録画中および再生中はセットアップメニューには入れません。
 - 管理者パスワードが設定されているときは、管理者パスワードを入力してください。
注意：利用者パスワードだけ設定されているときは、利用者パスワードを入力しないとセットアップメニューに入れません。
- ▶▶▶ 「7 パスワードについて」 P39
- 検索ボタンが先に押されると検索メニューが表示されることがありますが、そのまま検索ボタンと決定ボタンを同時に押し続けると、セットアップメニューが表示されます。同様に、決定ボタンが先に押されると画面文字消去になりますが、そのまま検索ボタンと決定ボタンを同時に押し続けると、セットアップメニューが表示されます。
 - セットアップ中はアラーム、モーション、パニック、マルチ、警戒、画面切替、分/秒リセットは受け付けません。

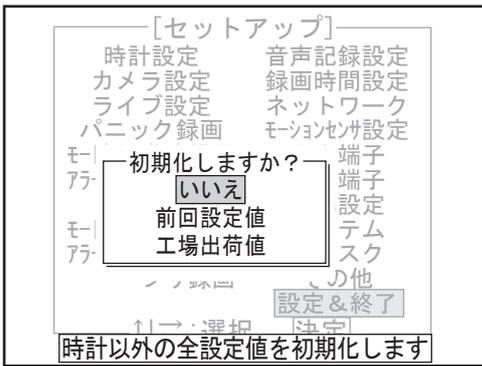
- 2 上下左右ボタンを上下左右に押すか、ジョグダイヤルを回すと、カーソルが移動します。決定ボタンを押すと選択した設定項目について、詳細を設定するポップアップが表示されます。

- メモ**
- セットアップメニューから何か項目を選択することにより、新たなメニュー画面が現れます。このメニュー画面をポップアップと呼びます。
 - 項目中、文字がグレーになっている部分は選択/設定できません。

- 3 ポップアップに表示された選択肢を順番に設定します。終了後、セットアップメニューに戻るには、停止ボタンもしくは検索ボタンを押します。
- 4 設定が終わったら「設定&終了」を選び、決定ボタンを押します。設定&終了選択ポップアップが表示されます。
- 5 「設定して終了」を選び、決定ボタンを押します。操作した設定内容を保存して、セットアップメニューを終了し、ライブ表示に戻ります。

- メモ**
- 「戻る」を選び、決定ボタンを押すと、セットアップメニューに戻ります。
 - 「設定しないで終了」を選び、決定ボタンを押すと、操作した設定内容を保存せずにセットアップメニューを終了し、ライブ表示に戻ります。
 - セットアップメニュー表示中は、カメラの映像入力の配線を抜かないでください。エラーが起これば、カメラ設定の内容が保存されなくなります。
 - セットアップを抜けると、設定内容に問題がある場合は警告が出ます。その場合はメッセージに従って設定を見直すか、問題がない場合は「はい」で進めてください。

●セットアップメニューの内容を初期化する



セットアップメニューの全設定または個別の設定を工場出荷時の状態または前回設定した状態に戻すことができます。

・全項目（時計設定を除く）を初期化する

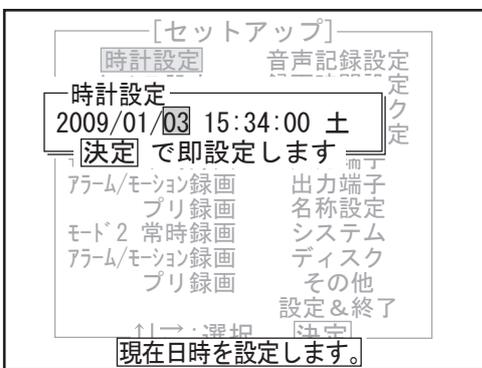
- 1 セットアップメニューが表示された状態で画面分割ボタンを押します。初期化メニューが表示されます。
- 2 「前回設定値」または「工場出荷時」を選び、決定ボタンを押します。選択した内容に初期化されます。

・個別の設定を初期化する

- 1 個別のメニュー上で画面分割ボタンを押します。初期化メニューが表示されます。
- 2 「前回設定値」または「工場出荷時」を選び、決定ボタンを押します。選択した内容に初期化されます。

8-2 時計設定

メモ ・ 外部警報システムの時刻に本体の時刻を合わせるときは、入力端子の「分リセット」「秒リセット」の機能をご利用ください。
 ・ ネットワーク機能を使用している場合は、ネットワーク経由で接続しているNTPサーバーの時刻に本体の時刻を合わせることができます。ネットワーク設定の「時計自動補正 (NTP)」の機能をご利用ください。



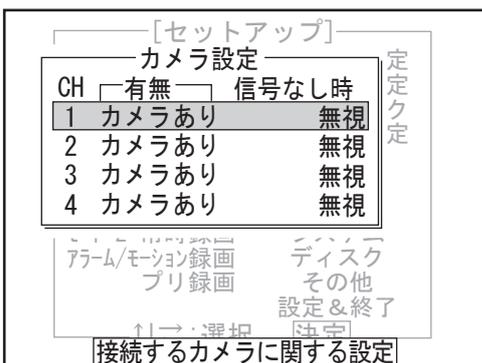
- 1 セットアップメニューで「時計設定」を選び、決定ボタンを押します。時計設定ポップアップが表示されます。
- 2 上下左右ボタンを左右に押し項目を選び、上下に押し数値を変更します。数値はジョグダイヤルでも変更できます。

メモ 時刻は「時：分：秒」で表示されています。曜日は年月日に連動して自動選択されます。

- 3 数値変更が終わったら、決定ボタンを押します。セットアップメニューに戻ります。

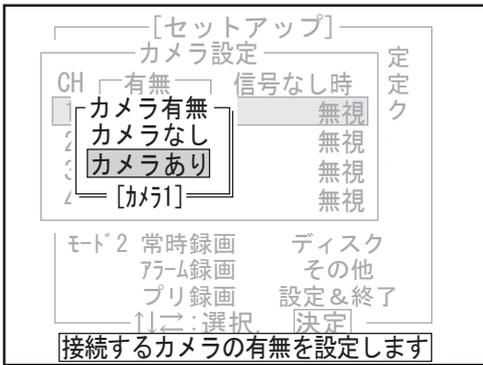
8-3 カメラ設定

映像入力端子にカメラが接続され、電源が入っていることを確認してから操作してください。



- 1 セットアップメニューで「カメラ設定」を選び、決定ボタンを押します。カメラ設定ポップアップが表示されます。本体の映像入力端子に接続されるカメラ4台分の設定がリスト表示されています。

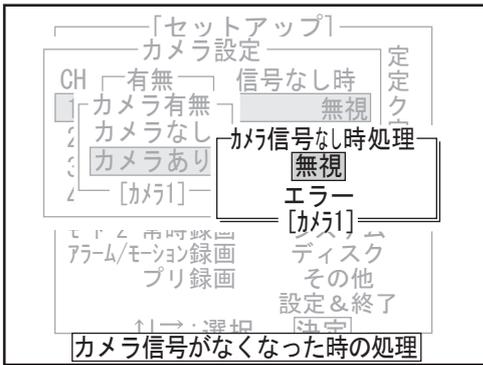
- 2 チャンネル番号を選び、決定ボタンを押します。



カメラ有無ポップアップが表示されます。

- 接続していないときは「カメラなし」、接続しているときは「カメラあり」を選び、決定ボタンを押します。

メモ ポップアップ下部には現在選択しているカメラ番号が表示されています。

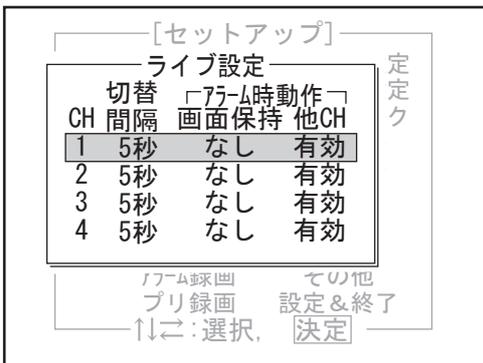


「カメラあり」を指定したときは、カメラ信号なし時処理ポップアップが表示されます。

- カメラからの信号が途切れたときエラー出力を出すときは「エラー」、何もしないときは「無視」を選び、決定ボタンを押します。

カメラ設定ポップアップに戻ります。すべてのチャンネル番号について設定が終わったら、検索ボタンあるいは停止ボタンを押してください。セットアップメニューに戻ります。

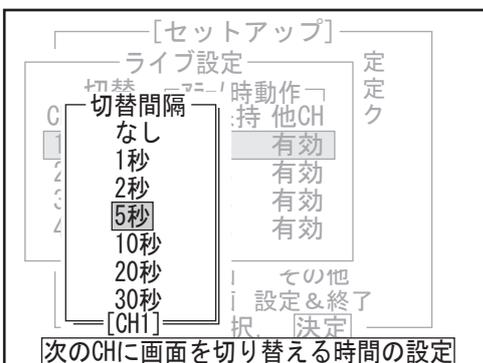
8-4 ライブ設定



- セットアップメニューで「ライブ設定」を選び、決定ボタンを押します。ライブ設定ポップアップが表示されます。

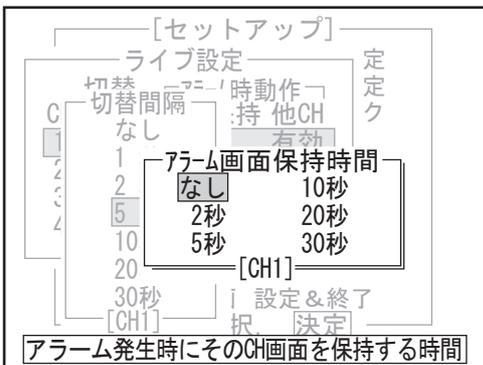
- チャンネル番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ チャンネル1～4のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号は選択できません。



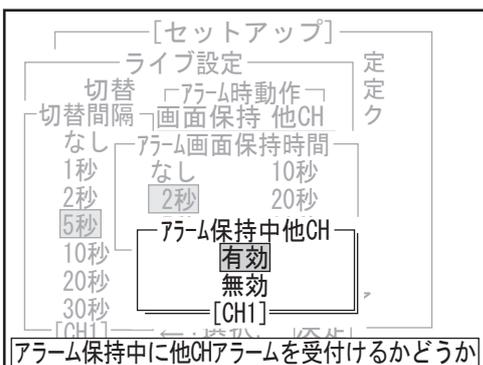
切替間隔ポップアップが表示されます。

- ライブ表示中のシーケンス切替で指定チャンネルの映像を表示し続ける秒数を選び、決定ボタンを押します。



アラーム画面保持時間ポップアップが表示されます。

- アラーム発生時にアラーム発生チャンネルの映像に切り替わったあと表示し続ける秒数を選び、決定ボタンを押します。

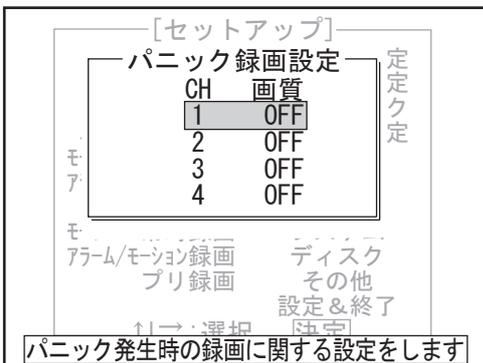


アラーム保持中他 CH ポップアップが表示されます。

- アラーム保持中に別のアラーム発生チャンネルを画面保持するかどうかを選び、決定ボタンを押します。最新のアラーム発生チャンネルに表示を切り替える場合は「有効」、切り替えをしない場合は「無効」を選択します。

ライブ設定ポップアップに戻ります。

8-5 パニック録画設定

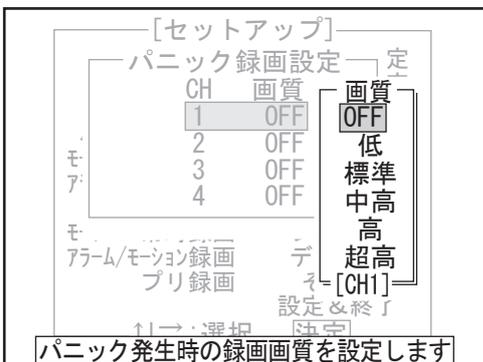


- セットアップメニューで「パニック録画」を選び、決定ボタンを押します。パニック録画設定ポップアップが表示されます。

- チャンネル番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ チャンネル1～4のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」に設定したカメラ番号は選択できません。

パニック画質ポップアップが表示されます。



- 画質を選び、決定ボタンを押します。「OFF」を選ぶとパニック録画をしません。パニック設定ポップアップに戻ります。

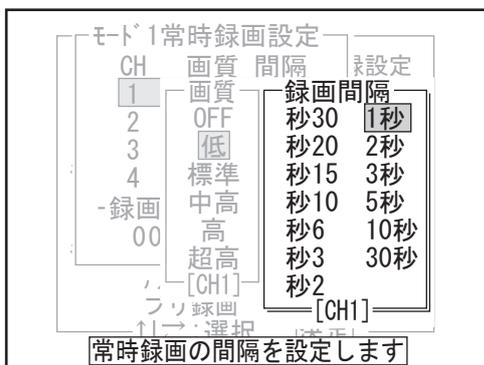
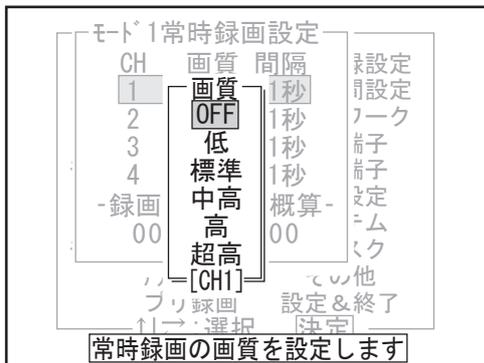
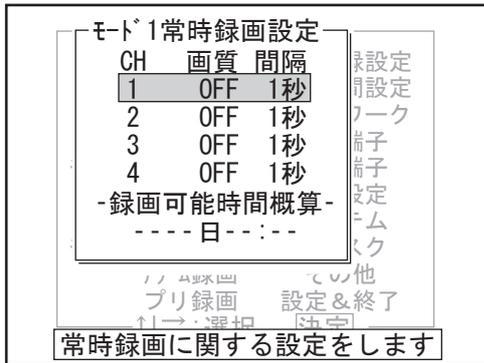
メモ パニック録画を設定すると、アラーム/モーション録画を設定していなくてもプリ録画を設定できます。

8-6

モード1(モード2) 常時録画設定

録画ボタンを押して映像を記録するときの画質・録画間隔を設定します。

録画時の設定は常時録画、アラーム/モーション録画、プリ録画の3通りで別々の画質・録画間隔を設定することができます。また、その3通りの設定をセットにしてモード1とモード2の2種類で保存できます。ここで設定したモードは録画時間設定で使用します。



1 セットアップメニューで「モード1(モード2) 常時録画」を選び、決定ボタンを押します。

モード1(モード2) 常時録画設定ポップアップが表示されます。

2 チャンネル番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ チャンネル1~4のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」に設定したカメラ番号は選択できません。

画質ポップアップが表示されます。

3 画質を選び、決定ボタンを押します。「OFF」を選ぶと常時録画をしません。モード1(モード2) 常時録画設定ポップアップに戻ります。

メモ 画質を高く設定したり、録画間隔を短く設定すると、ハードディスクに保存できる時間が短くなります。ポップアップの下段に常時録画で記録できる目安の時間が表示されます。

録画間隔ポップアップが表示されます。

4 録画間隔を選び、決定ボタンを押します。モード1(モード2) 常時録画設定ポップアップに戻ります。

メモ

- 録画間隔ポップアップ中の秒30、秒20~秒2とは、1秒以下の間隔を表します。例えば、秒30とは「1/30秒」のことを表します。
- 常時録画が設定されているチャンネルにはプリ録画は設定できません。
- アラーム/モーション録画やプリ録画を含むすべての録画について、録画間隔の設定は全チャンネル合計で秒60枚までとなります。全チャンネルの合計が秒60枚を超える設定をすると、合計が秒60枚になるように自動的に録画間隔が調整されます。

8-7

モード1(モード2) アラーム/モーション録画

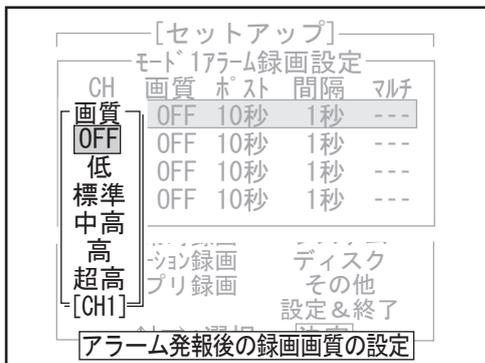
モーションセンサやアラーム信号の入力により映像を記録するときの画質・録画間隔を設定します。



1 セットアップメニューで「モード1(モード2) アラーム/モーション録画」を選び、決定ボタンを押します。モード1(モード2) アラーム/モーション録画設定ポップアップが表示されます。

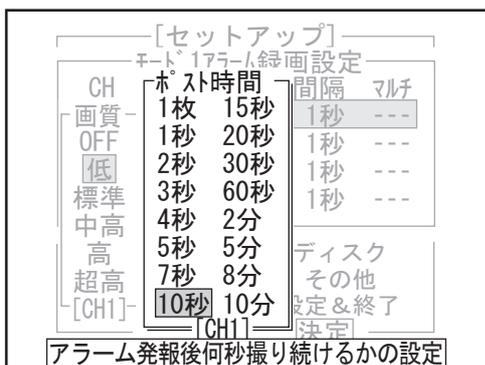
2 チャンネルの番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ チャンネル1~4のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号は選択できません。



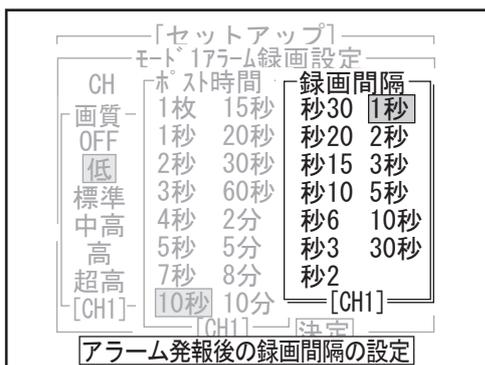
画質ポップアップが表示されます。

- 画質を選び、決定ボタンを押します。「OFF」を選ぶとアラーム / モーション録画をしません。



ポスト時間ポップアップが表示されます。

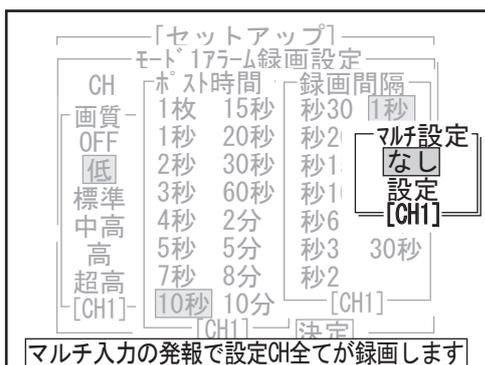
- モーションセンサの検知やアラーム信号入力からの録画持続時間（ポスト時間）を選び、決定ボタンを押します。



録画間隔ポップアップが表示されます。

- 録画間隔を選び、決定ボタンを押します。

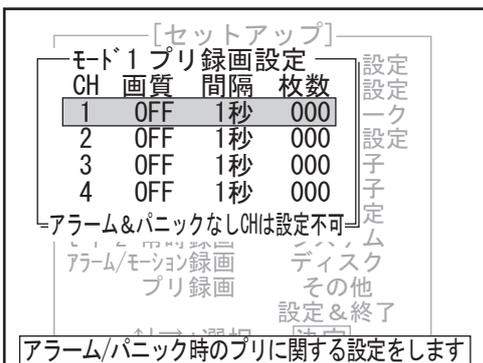
メモ 録画間隔ポップアップ中の秒30、秒20～秒2とは、1秒以下の間隔を表します。例えば、秒30とは「1 / 30秒」のことを表します。



マルチ設定ポップアップが表示されます。

- マルチ設定の有無を選び、決定ボタンを押します。モード1(モード2)アラーム / モーション録画設定ポップアップに戻ります。

モーションセンサやアラーム信号、パニック信号の入力直前のプリアラーム映像を記録するときの画質・録画間隔を設定します。

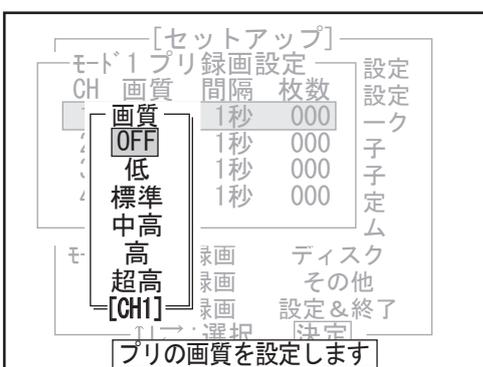


メモ パニック録画にプリ録画が付加するのは、録画状態でパニックが発生した場合のみです。

- 1 セットアップメニューで「モード1(モード2)プリ録画」を選び、決定ボタンを押します。
モード1(モード2)プリ録画設定ポップアップが表示されます。
- 2 チャンネル番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ チャンネル1~4のリストが表示されますが、アラーム/モーション録画設定で「OFF」にしたチャンネル番号やカメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号は選択できません。(パニック録画設定を「ON」にしたチャンネル番号は除きます)

画質ポップアップが表示されます。



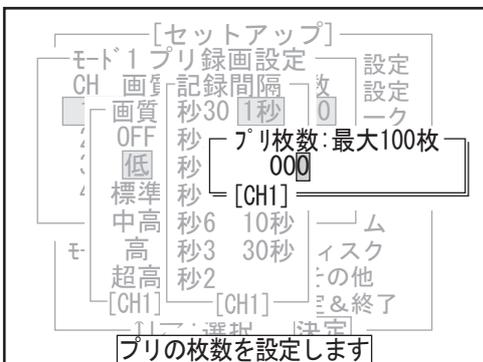
- 3 画質を選び、決定ボタンを押します。
「OFF」を選ぶとプリ録画をしません。

記録間隔ポップアップが表示されます。



- 4 記録間隔を選び、決定ボタンを押します。

プリ枚数ポップアップが表示されます。



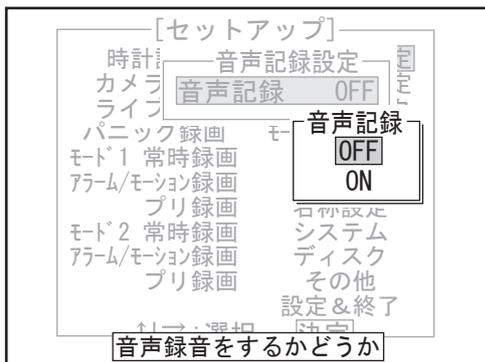
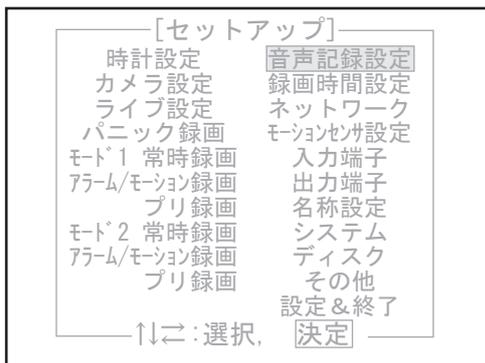
- 5 プリ録画として記録する枚数を数値で指定して、決定ボタンを押します。

メモ

- プリ録画の録画可能枚数は、各チャンネル100枚までです。
- アラームまたはパニックの設定を行っていないCHにはプリは設定できません。(設定しても使われないため。)
- プリ録画の記録可能枚数を0枚に設定すると、プリ録画を行いません。手順3の画質は「OFF」になります。
- ネットワーク機能を使用している場合、プリ録画枚数が設定より少なくなる場合があります。

モード1(モード2)プリ録画設定ポップアップに戻ります。

録画時に音声も記録するかどうかを設定します。



1 セットアップメニューで「音声記録設定」を選び、決定ボタンを押します。
音声記録設定ポップアップが表示されます。

2 設定を変更する場合は、決定ボタンを押します。
音声記録ポップアップが表示されます。
設定を変更しない場合は、検索ボタンを押します。
セットアップメニューに戻ります。

3 音声を記録するときは「ON」、記録しないときは「OFF」を選び、決定ボタンを押します。
音声記録設定ポップアップに戻ります。

- メモ**
- ・「音声記録」を「ON」に設定すると、OFFの場合に比べ録画時間が短くなることがあります。
 - ・録画の切替時などに、一時的に音声途切れたりノイズが入ることがあります。
 - ・マイクやスピーカーの接続については、P16をご参照ください。

8-10 録画時間設定

曜日ごとに監視状態に切り替える時間帯を設定します。タイマーは6本あり重複設定も可能ですが、曜日が重なる場合は、設定番号が大きいほうの時間帯が優先的に適用されます。
録画ボタンを押すと監視状態になり、設定した録画時間になると常時録画を開始します。

録画時間設定

開始 終了 モード 曜日設定

1	24:00~00:00	2	日月火水木金土-
2	00:00~00:00		-----
3	00:00~00:00		-----
4	00:00~00:00		-----
5	00:00~00:00		-----
6	00:00~00:00		-----

開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表

録画する時間帯を設定します

録画時間設定

開始 終了 モード 曜日設定

1	24:00~00:00	2	日月火水木金土-
2	00:00~00:00		-----

開始終了時間

24:00~00:00

[タイマー2]

6 00:00~00:00

開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表

[現在時刻=17:20:24]

録画開始~終了時間の設定(24:00=24時間)

録画時間設定

開始 終了 モード 曜日設定

1	24:00~00:00	2	日月火水木金土-
2	00:00~00:00		-----

開始終了時間 録画パターン

00:00~00:00 モード1

[タイマー2] モード2

6 00:00~00:00 [タイマー2]

開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表

録画パターンを選択します

録画時間設定

開始 終了 モード 曜日設定

1	24:00~00:00	2	日月火水木金土-
2	00:00~00:00		-----

開始終了時間 録画パターン

00:00~00:00 モード1

[タイマー2] モード2

6 00:00~00:00

開始24:00=24時

曜日設定

日月火水木金土-

[タイマー2]

この録画時間で動作させる曜日を設定します

メモ 「常時録画」「アラーム/モーション録画」は、2-1の監視状態で「録画時間設定」の時間内のみ働きます。
「パニック録画」は、ライブ状態および監視状態に関わらず、入力端子に「パニック」入力があったときはいつでも働きます。
録画設定時間以外で緊急の録画が必要と想定される場合は、パニック録画の設定をお奨めします。

- 1 セットアップメニューで「録画時間設定」を選び、決定ボタンを押します。
録画時間設定ポップアップが表示されます。
- 2 設定番号を選び、決定ボタンを押します。
開始終了時間ポップアップが表示されます。
- 3 開始時間と終了時間の数値を指定し、決定ボタンを押します。

メモ 「00:00 ~ 00:00」は録画時間設定なしのため監視状態になりません。
「24:00 ~ 00:00」は24時間、監視状態となります。

録画パターンポップアップが表示されます。

- 4 モードを選び、決定ボタンを押します。

曜日設定ポップアップが表示されます。

- 5 時間帯を設定する曜日を選びます。左から順に「日・月・火・水・木・金・土・休」となっています。上下左右ボタンを左右に押しして曜日を選び、上下に押しして切り替えます。録画時間を適用しない曜日には「-」を表示させます。
決定ボタンを押すと、表示された曜日に録画時間を適用します。

メモ 「休」に含める日付は、システム設定の「休日表」で設定してください。

時間設定状態表	
時	000000000011111111112222
日	012345678901234567890123
1 月	222222222222222222222222
2 火	222222222222222222222222
3 水	222222222222222222222222
4 木	222222222222222222222222
5 金	222222222222222222222222
6 土	222222222222222222222222
休	222222222222222222222222
1:モード1, 2:モード2, -:OFF, >:今日	
決定を押して下さい	
録画時間設定状況を表示します	

時間設定状態表が表示されます。

- 6 時間設定状態表は、録画時間設定の結果を簡易的に表示したものです。これにより、曜日の時間帯別にどちらのモードで録画されるかが解ります。

決定ボタンを押すと録画時間設定ポップアップに戻ります。

●録画時間設定例

- (1) 開始時間が終了時間より遅い場合（日またぎ設定）

録画時間設定			
開始	終了	モード	曜日設定
1 24:00~00:00	1 日	---	---
2 20:00~08:00	1	-	月火水-金--
3 00:00~00:00	---	---	---
4 00:00~00:00	---	---	---
5 00:00~00:00	---	---	---
6 00:00~00:00	---	---	---
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表			
録画する時間帯を設定します			

	0時	4時	8時	12時	16時	20時	24時
日	モード1						
月	モード1						モード1
火	モード1						モード1
水	モード1						モード1
木	モード1						
金	モード1						モード1
土	モード1						

水曜日を日またぎ設定した場合、木曜日の0時から8時の間もモード1で録画します。

- (2) 同じ時間帯に複数の設定をした場合

録画時間設定			
開始	終了	モード	曜日設定
1 24:00~00:00	1	日	月火水木金土-
2 08:00~20:00	2	-	月火水木金--
3 00:00~00:00	---	---	---
4 00:00~00:00	---	---	---
5 00:00~00:00	---	---	---
6 00:00~00:00	---	---	---
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表			
録画する時間帯を設定します			

	0時	4時	8時	12時	16時	20時	24時
日	モード1						
月	モード1			モード2			モード1
火	モード1			モード2			モード1
水	モード1			モード2			モード1
木	モード1			モード2			モード1
金	モード1			モード2			モード1
土	モード1						

同じ時間帯に複数の設定を行った場合、設定番号の大きいほうが優先されます。この場合1より2の設定が優先されます。

- (3) 同じ曜日に同じモードを複数設定した場合

録画時間設定			
開始	終了	モード	曜日設定
1 24:00~00:00	1	日	月火水木金土-
2 08:00~12:00	2	-	月火水木金--
3 16:00~20:00	2	-	月火水木金--
4 00:00~00:00	---	---	---
5 00:00~00:00	---	---	---
6 00:00~00:00	---	---	---
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表			
録画する時間帯を設定します			

	0時	4時	8時	12時	16時	20時	24時
日	モード1						
月	モード1		モード2	モード1	モード2		モード1
火	モード1		モード2	モード1	モード2		モード1
水	モード1		モード2	モード1	モード2		モード1
木	モード1		モード2	モード1	モード2		モード1
金	モード1		モード2	モード1	モード2		モード1
土	モード1						

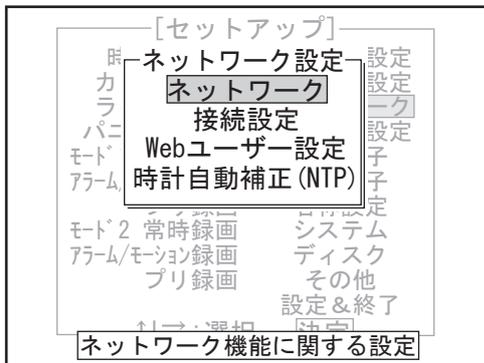
時間帯が重なっていない場合、それぞれの設定が有効です。

8-11 ネットワーク設定

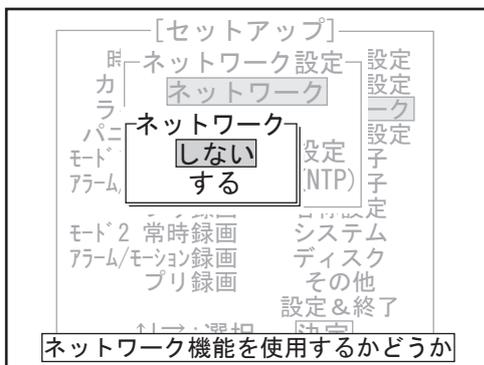
ネットワークで接続したパソコンから本機器の遠隔監視を行うために必要です。

●ネットワーク

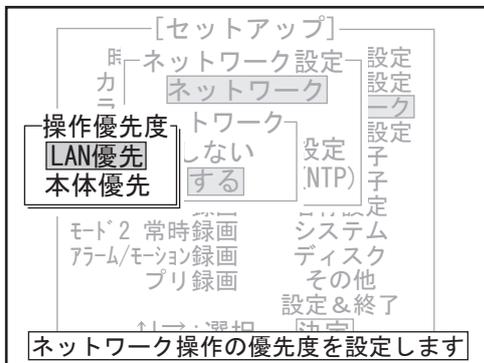
ネットワーク機能を使用するかどうかを設定します。



ネットワーク機能に関する設定



ネットワーク機能を使用するかどうか



ネットワーク操作の優先度を設定します

- 1 セットアップメニューで「ネットワーク」を選び、決定ボタンを押します。

ネットワーク設定ポップアップが表示されます。

メモ 「ネットワーク」を「する」に設定していないと、「接続設定」、「Webユーザー設定」、「時計自動機能 (NTP)」は選択できません。

- 2 「ネットワーク」を選び、決定ボタンを押します。

ネットワークポップアップが表示されます。

- 3 「する」を選び、決定ボタンを押します。

操作優先度ポップアップが表示されます。

メモ 「しない」を選択して決定ボタンを押すと、ネットワークを行いません。ネットワーク設定ポップアップに戻ります。

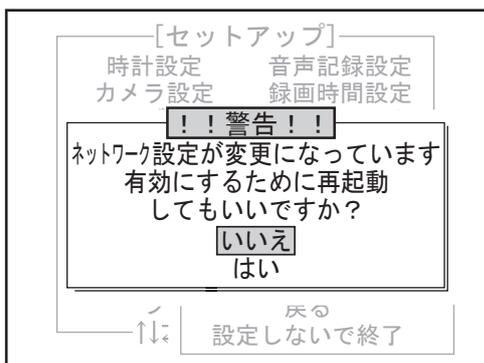
- 4 「LAN優先」または「本体優先」を選び、決定ボタンを押します。

本機器では、ネットワーク機能と本体での再生を同時に使用することはできません。

「LAN優先」を選ぶと、ネットワーク機能使用中は本体で再生をすることができません。「本体優先」を選ぶと、本体で再生できますが、ネットワーク機能での再生、検索機能は使用できなくなります。

ネットワーク設定ポップアップに戻ります。

●ネットワーク設定を変更してセットアップを終了する場合



設定しないで終了

ネットワーク設定を変更して「設定&終了」の「設定して終了」を選択すると、警告メッセージが表示されます。

ネットワーク設定の変更を有効にするには、再起動させる必要がありますので、「はい」を選び、決定ボタンを押してください。

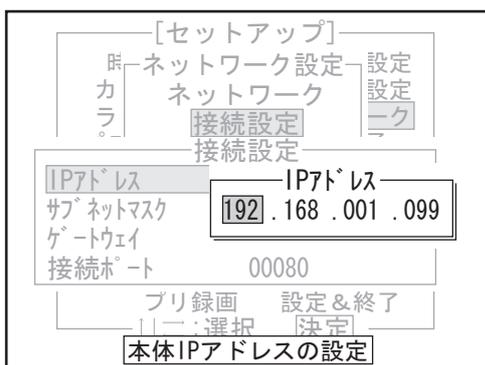
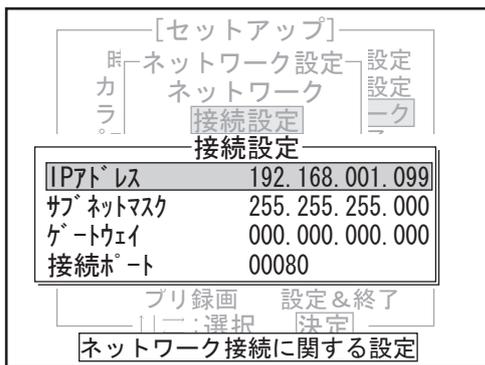
再起動が始まります。

「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと、そのネットワーク設定は有効にならずにセットアップを終了します。

メモ 「ネットワーク」を「しない」に変更した場合以外は、警告メッセージを表示する前に IP アドレスの重複チェックを行います。

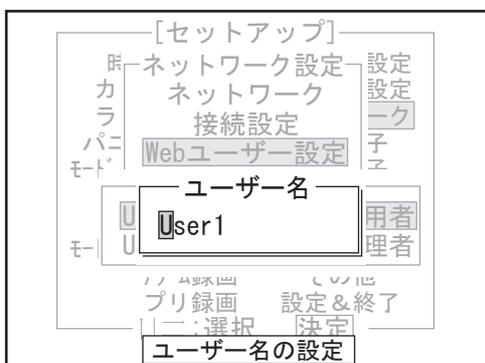
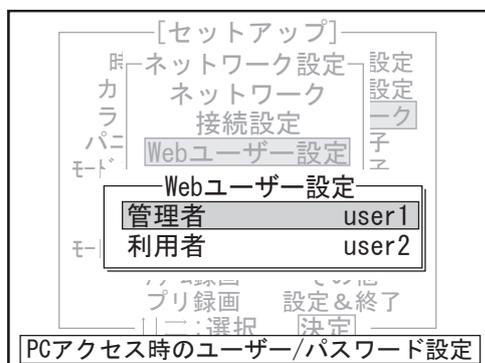
● 接続設定

ネットワーク機能の接続設定をします。



● Web ユーザー設定

ネットワーク機能のユーザー名とパスワードを設定します。

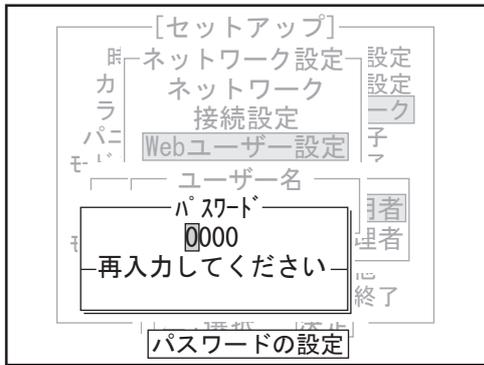


メモ 「ネットワーク」を「する」に設定していないと、「接続設定」、「Web ユーザー設定」、「時計自動機能 (NTP)」は選択できません。

- 1 ネットワーク設定ポップアップで「接続設定」を選び、決定ボタンを押します。接続設定ポップアップが表示されます。
- 2 使用する IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、接続ポートを割り当てます。設定したい項目を選択し、決定ボタンを押してください。
- 3 数値を変更し、決定ボタンを押します。接続設定ポップアップに戻ります。すべての設定が終わったら、検索ボタンあるいは停止ボタンを押します。ネットワーク設定ポップアップに戻ります。

メモ 「ネットワーク」を「する」に設定していないと、「接続設定」、「Web ユーザー設定」、「時計自動機能 (NTP)」は選択できません。

- 1 ネットワーク設定ポップアップで「Web ユーザー設定」を選び、決定ボタンを押します。Web ユーザー設定ポップアップが表示されます。
- 2 ユーザーを選び、決定ボタンを押します。ユーザー名ポップアップが表示されます。



- 3 ユーザー名を設定し、決定ボタンを押します。
パスワードポップアップが表示されます。
- 4 パスワードを設定し、決定ボタンを押します。
Webユーザー設定ポップアップに戻ります。
- 5 設定が終わったら、検索ボタンあるいは停止ボタンを押します。
ネットワーク設定ポップアップに戻ります。

●ユーザーの種類と権限について

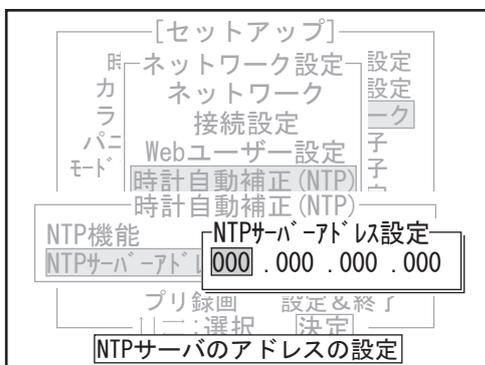
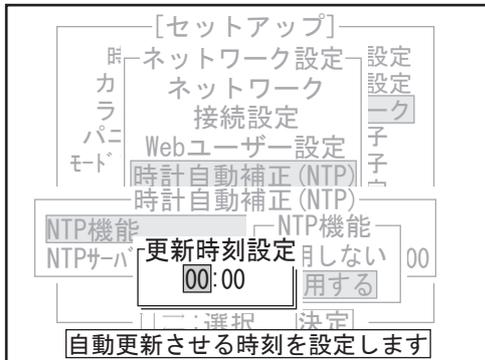
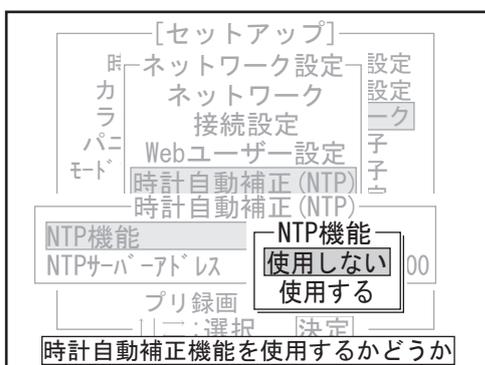
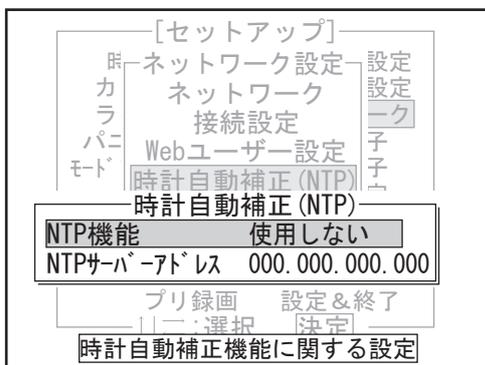
ユーザーには「管理者」と「利用者」の2種類があります。利用者でログインすると設定メニューには入れません。また、管理者は同時に1台のパソコンからしか入れません。

●時計自動補正 (NTP)

時計自動補正 (NTP) 機能の設定をします。

時計自動補正 (NTP) 機能を使用すると、ネットワーク経由で接続した NTP サーバーの時刻に従って毎日 1 度、自動で時計を更新します。

時計自動補正 (NTP) 機能を使用する場合は、時計を更新する時刻と NTP サーバーアドレスも設定してください。



メモ 「ネットワーク」を「する」に設定していないと、「接続設定」、「Web ユーザー設定」、「時計自動機能 (NTP)」は選択できません。

- 1 ネットワーク設定ポップアップで「時計自動補正 (NTP)」を選び、決定ボタンを押します。時計自動補正 (NTP) ポップアップが表示されます。

- 2 「NTP 機能」を選び、決定ボタンを押します。NTP 機能ポップアップが表示されます。

- 3 「使用する」を選び、決定ボタンを押します。更新時刻設定ポップアップが表示されます。

メモ 「使用しない」を選択して決定ボタンを押すと、時計自動補正 (NTP) 機能を使用しません。時計自動補正 (NTP) ポップアップに戻ります。

- 4 数値を変更し、決定ボタンを押します。時計自動補正 (NTP) ポップアップに戻ります。

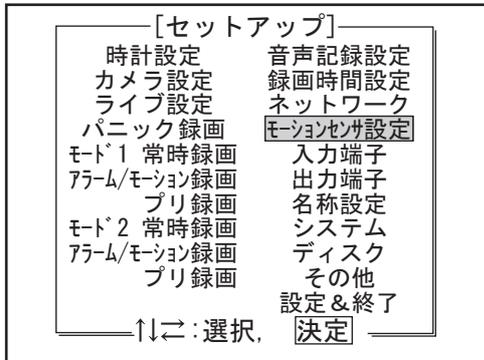
- 5 「NTP サーバーアドレス」を選び、決定ボタンを押します。NTP サーバーアドレス設定ポップアップが表示されます。

- 6 数値を変更し、決定ボタンを押します。時計自動補正 (NTP) ポップアップに戻ります。すべての設定が終わったら、検索ボタンあるいは停止ボタンを押します。ネットワーク設定ポップアップに戻ります。

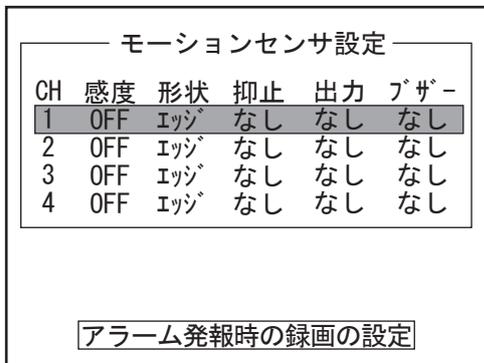
8-12 モーションセンサ設定

この設定では、モーション録画を行うかどうかの判定をする「センサ」の範囲（検知エリア）や感度を設定することができます。モーション録画時の画質や録画間隔の設定は行いません。

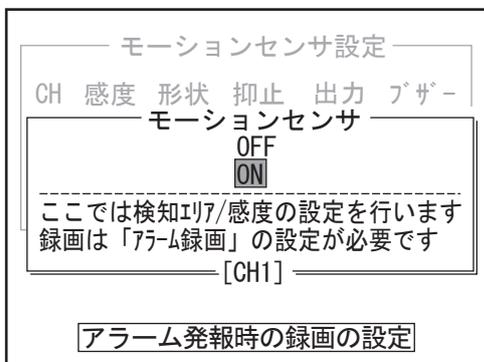
モーション録画時の画質や録画間隔の設定をするときは、44 ページ「モード1（モード2）アラーム / モーション録画設定」をご覧ください。



- 1 セットアップメニューで「モーションセンサ設定」を選び、決定ボタンを押します。モーションセンサ設定ポップアップが表示されます。

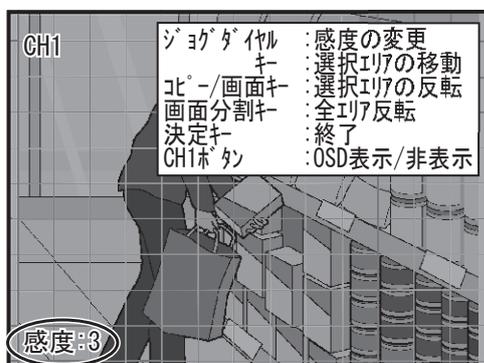


- 2 チャンネル番号を選び、決定ボタンを押します。モーションセンサポップアップが表示されます。



- 3 「ON」を選び、決定ボタンを押します。カメラ映像が表示されます。モーションセンサの感度とエリアを設定します。

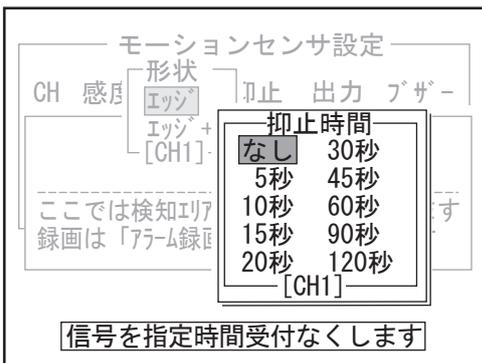
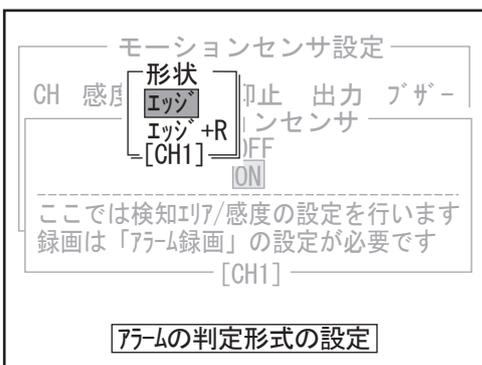
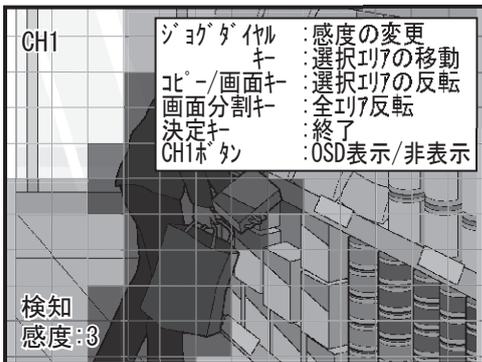
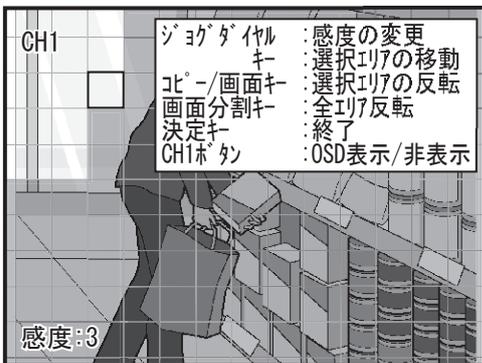
メモ 「OFF」を選択して決定ボタンを押すと、モーションセンサ設定はOFFになります。



検知感度

- 4 ジョグダイヤルを回して検知感度を設定します。感度は1（低感度）～ 5（高感度）の5段階で設定できます。

メモ モーションセンサは、物体や人体の動きを検知します。ただし、センサの範囲（検知エリア）内で極端な輝度（明るさ）変化があったりすると誤検知する可能性があります。また、検知対象物の大きさによっても検知感度が変化することがありますので、周囲の環境や対象物に合わせた感度設定を行ってください。



- 5 モーションセンサの検知エリアを設定します。上下左右ボタンでカーソルを移動させ、コピー/画面ボタンを押すと、カーソルで選択したエリアの検知（緑色表示）/非検知（通常表示）を入れ替えることができます。初期状態では、全エリアが検知エリア（緑色表示）となっています。画面分割ボタンを押すと、全エリアの検知/非検知を入れ替えることができます。

メモ 手順4と5を行っている間、検知エリア（緑色表示）に動くものがあるとそのエリアが青色に変わり、検知すると「検知」と表示され、ブザーが鳴ります。上記で検知エリアや感度を確認し、必要に応じて手順4と5を再度行ってください。

- 6 決定ボタンを押します。形状ポップアップが表示されます。

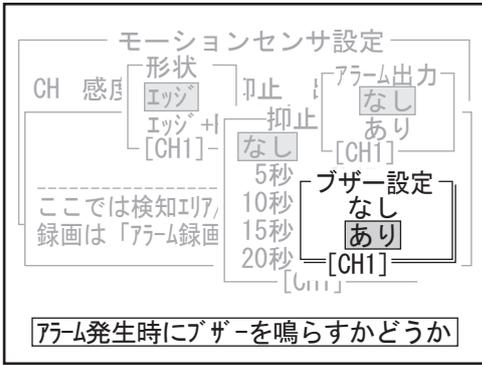
- 7 「エッジ」または「エッジ+R」を選び、決定ボタンを押します。

メモ 「エッジ」「エッジ+R」については、58ページ「●入力端子の形式について」をご覧ください。

抑止時間ポップアップが表示されます。

- 8 時間を選び、決定ボタンを押します。

メモ 抑止時間とは、一度信号を受付けた後、一定時間その信号を受付けなくする機能です。例えば、そのまま受けるとアラームが頻発してしまう現場において、一度受けたいらしばらくは受けさせたくない場合に設定します。



- 9 「アラーム出力」のなし、ありを選択します。続いて「ブザー設定」のなし、ありを選択します。決定後、モーショセンサ設定画面に戻ります。

メモ ・ アラーム出力

モーショセンサが検知したときにアラーム出力を出すかどうかです。

・ ブザー設定

その信号入力があったときにブザーを鳴らすかどうかです。

全ての入力ですべての設定が出来るわけではありません。

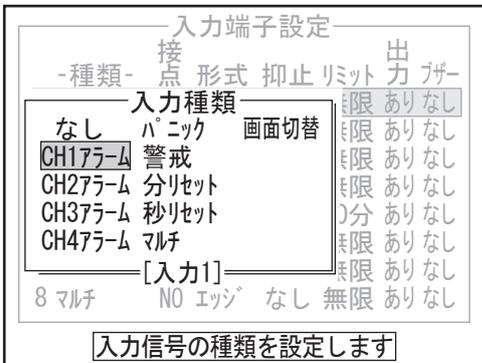
可能な設定については設定可能表 (P58) を参照してください。

8-13 入力端子設定

接続した機器から入力する信号の内容や方式について設定します。入力端子への配線が必要です。8個の端子に接続できます。



- 1 セットアップメニューで「入力端子」を選び、決定ボタンを押します。入力端子設定ポップアップが表示されます。
- 2 端子の番号を選び、決定ボタンを押します。



入力種類ポップアップが表示されます。

- 3 信号の種類を選び、決定ボタンを押します。

メモ ・ パニック、警戒、分リセット、秒リセット、画面切替の5項目は、それぞれ入力端子1つのみ使用できます。すでに使用されているときは、選択できません。

・ 分リセット

この信号が入ったとき、時計を以下のように合わせます。

00 ~ 29分 → 同時間 00分 00秒にする

「例」 07:23:10 → 07:00:00

30 ~ 59分 → +1時間 00分 00秒にする

「例」 08:31:45 → 09:00:00, 23:45:50 → 00:00:00

・ 秒リセット

この信号が入ったとき、時計を以下のように合わせます。

00 ~ 29秒 → 同分 00秒にする

「例」 07:23:10 → 07:23:00

30 ~ 59秒 → +1分 00秒にする

「例」 08:31:45 → 08:32:00, 23:45:50 → 23:46:00

・ 画面切替

この信号が入る度に表示するチャンネルを切り替えます。

入力端子設定

-種類-	接点	出力	リミット	プー
	N.O.	あり	あり	なし
	N.C.	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
8 マルチ	NO エッジ	なし	無限	あり

入力信号の接点状態を設定します

接点ポップアップが表示されます。

4 接点方式を選び、決定ボタンを押します。

入力端子設定

-種類-	接点	出力	リミット	プー
	N.O.	あり	あり	なし
	N.C.	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
8 マルチ	なし	無限	あり	なし

入力信号の判定形式の設定

形式ポップアップが表示されます。

5 形式を選び、決定ボタンを押します。

メモ 同一種類の設定を複数設定した場合、形式は後優先で同一に設定されます。

入力端子設定

-種類-	接点	出力	リミット	プー
	N.O.	あり	あり	なし
	N.C.	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
8 マルチ	なし	無限	あり	なし

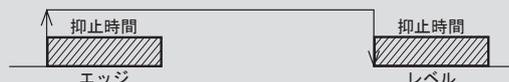
信号を指定時間受付なくします

抑止時間ポップアップが表示されます。

6 時間を選び、決定ボタンを押します。

メモ

- 抑止時間とは、一度信号を受付けた後、一定時間その信号を受付けなくする機能です。例えば、そのまま受けるとアラームが頻発してしまう現場において、一度受けたいらしばらくは受けさせたくない場合に設定します。
- 抑止は信号の形式によって開始タイミングが変わります。



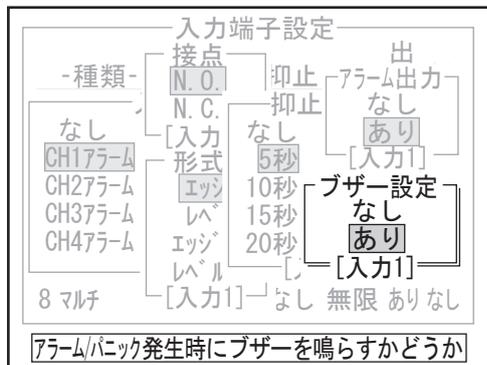
「レベル」または「レベル+R」のときは、リミット時間ポップアップが表示されます。

7 リミット時間を選び、決定ボタンを押します。アラーム出力ポップアップが表示されます。

入力端子設定

-種類-	接点	出力	リミット	プー
	N.O.	あり	あり	なし
	N.C.	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
	[入力1]	あり	あり	なし
	[入力1]	なし	なし	なし
8 マルチ	なし	無限	あり	なし

信号入力を強制的にOFFとみなすまでの時間



8 「アラーム出力」のなし、ありを選択します。続いて「ブザー設定」のなし、ありを選択します。決定後、入力端子設定画面に戻ります。

メモ アラーム出力

アラーム入力設定の場合、その入力があった場合にアラーム出力も出すかどうかです。

ブザー設定

その信号入力があったときにブザーを鳴らすかどうかです。

全ての入力ですべての設定が出来るわけではありません。

可能な設定については設定可能表 (P58) を参照してください。

設定可能表

	接点	形式	抑止	レベル時のみリミット	出力	ブザー
CH1 アラーム	○	○	○	○	○	○
CH2 アラーム	○	○	○	○	○	○
CH3 アラーム	○	○	○	○	○	○
CH4 アラーム	○	○	○	○	○	○
パニック	○	レベル	×	○	×	○
警戒	○	レベル	×	×	×	×
分りセット	○	エッジ	×	×	×	×
秒りセット	○	エッジ	×	×	×	×
マルチ	○	○	○	○	×	○
画面切替	○	エッジ	×	×	×	×

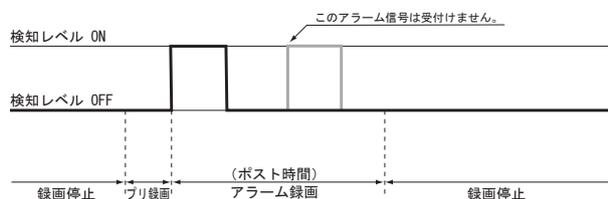
×の所は飛ばされる(後ろ全部×の場合はそれ以降なし)

リミットはレベル時のみ設定可能

●入力端子の形式について

アラーム入力1～4の設定を行うと、それぞれの入力端子に接続したセンサのアラーム信号が検知レベルになったときに、アラーム入力を受付けたことになり、アラーム録画を行います。形式は4種類あり、アラーム録画を続ける時間が次のように変わります。

(1) 「エッジ」



アラーム信号の検知レベルがONになった時点でアラーム録画を開始し、ポスト時間が過ぎると録画を停止します。

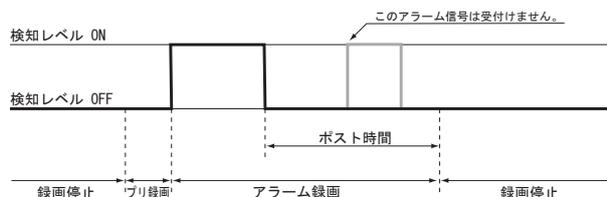
防犯センサ (パッシブインフラレッドディテクタ) などに使用します。

「エッジ」の場合、ポスト時間中(録画中)に、再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力としては受け付けません。ポスト時間中のアラーム入力を受け付ける場合は「エッジ+R」を使用してください。

なお、ポスト時間終了後(録画停止後)に検知レベルがオンになったときは、アラーム入力を受け付けて録画を開始します。

メモ ポスト時間はセットアップメニューの「モード1(モード2) アラーム録画」の中で設定します。

(2) 「レベル」



アラーム信号が検知レベルになった時点でアラーム録画を開始し、検知レベルがオンになっている間は録画を継続します。検知レベルがオフになってから、さらにポスト時間が過ぎると録画を停止します。

マグネットスイッチなどに使用します。

「レベル」の場合、ポスト時間中（録画中）に、再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力としては受け付けません。ポスト時間中のアラーム入力を受け付ける場合は「レベル+R」を使用してください。

なお、ポスト時間終了後（録画停止後）に検知レベルがオンになったときは、アラーム入力を受け付けて録画を開始します。

(3) 「エッジ+R」



「エッジ」と同様に、アラーム信号が検知レベルになった時点でアラーム録画を開始し、ポスト時間が過ぎると録画を停止します。

「エッジ+R」の場合、ポスト時間中（録画中）に再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力として受け付け、その時点からあらたにポスト時間を開始します。

(4) 「レベル+R」



「レベル」と同様に、アラーム信号が検知レベルになった時点でアラーム録画を開始し、検知レベルがオンになっている間は録画を継続します。検知レベルがオフになってから、さらにポスト時間が過ぎると録画を停止します。

「レベル+R」の場合、ポスト時間中（録画中）に再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力として受け付け、その信号がオフになった時点からあらたにポスト時間を開始します。

8-14 出力端子設定

接続した機器に出力する装置の状態を示す信号の種類を設定します。出力端子への配線が必要です。3個の端子に接続できます。

各端子について以下の出力種類より選択することができます。

出力形式は、イベント発生中出力と、それ以外出力より選択することができます。

- ・「使わない」に設定すると、何も出力しません。
- ・「警告」に設定すると、警告が発生している間出力します。

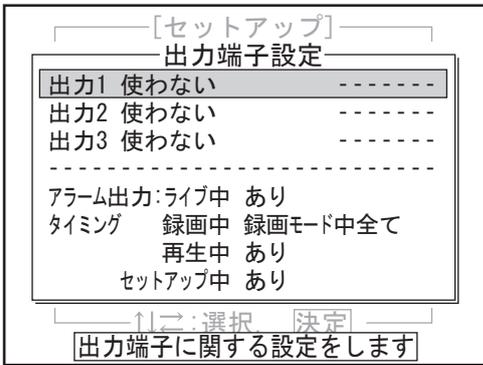
▶▶▶ 「警告の種類」 P94

- ・「致命的エラー」に設定すると、致命的エラーが発生している間出力します。

▶▶▶ 「致命的エラーの種類」 P95

- ・「全エラー」に設定すると、警告・致命的エラーが発生している間出力します。
- ・「録画モード」に設定すると、録画／監視状態に入っている間（タイマー待ちも含む）出力します。（パニック中は除きます）
- ・「再生モード」に設定すると、本体が実再生、検索中の間出力します。
- ・「通電」に設定すると、本体が通電中に出力します。
通電を選択した場合、タイミングは指定できません。（非通電時には制御できないため。）
- ・「録画忘れ」に設定すると、録画モードに入っていないとき出力します。
このときは、録画モードが解除された後どれだけ経ってから出力を開始するのかも設定します。
- ・「実録画」に設定すると、モード1または2で録画中の間出力します。（パニック中／タイマー中は除く）

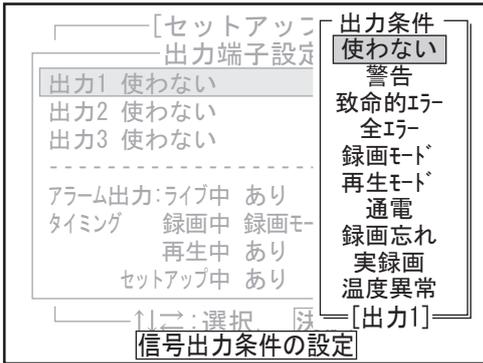
メモ 工場出荷状態ではすべての端子の出力種類は「使わない」に設定されています。



- 1 セットアップメニューで「出力端子」を選び、決定ボタンを押します。
出力端子設定ポップアップが表示されます。
- 2 端子の番号を選び、決定ボタンを押します。

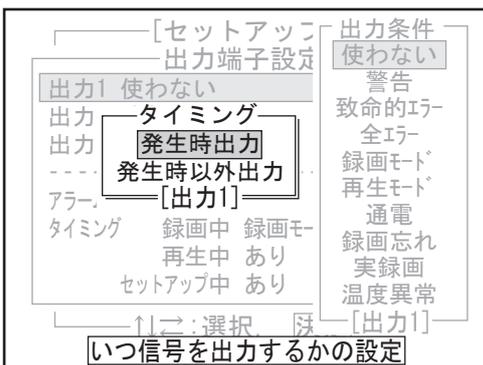
メモ 「使わない」に設定すると出力端子設定ポップアップに戻ります。「使わない」以外に設定するとタイミングポップアップに移行します。

出力条件ポップアップが表示されます。



- 3 信号出力する装置の状態を選び、決定ボタンを押します。接続されていない出力端子は「使わない」に設定します。

タイミングポップアップが表示されます。



- 4 タイミングを選び、決定ボタンを押します。「発生時出力」にするとイベントが起きているとき（手順3で指定した状態になったとき）「オン」状態となります（接点が閉じます）。「発生時以外出力」にするとイベントが起きているとき（手順3で指定した状態以外のとき）「オン」状態となります（接点が閉じます）。イベントが起っていないときを「ノーマル」と定義した場合、「発生時出力」では「ノーマリーオープン (N.O.)」、「発生時以外出力」では「ノーマリークローズ (N.C.)」となります。出力端子設定ポップアップに戻ります。

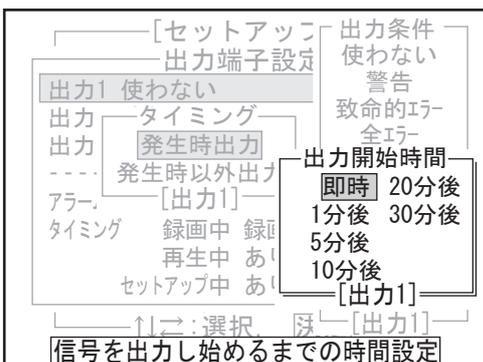
メモ 接点の「オン」状態とは、接点が閉じている状態を意味します。

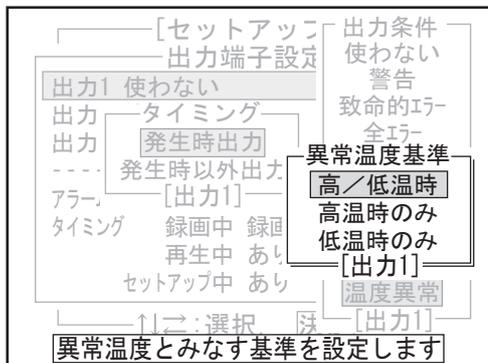


接点の「オフ」状態とは、接点が開いている状態を意味します。



- 5 出力条件で「録画忘れ」を選んだ場合、タイミングポップアップの次に出力開始時間ポップアップが表示されます。出力開始時間を選び決定ボタンを押すと、出力端子設定ポップアップに戻ります。

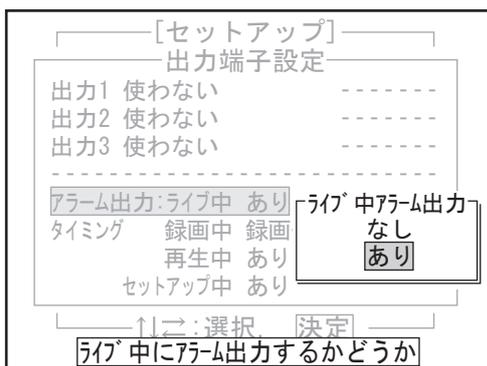




- 6 出力条件で「温度異常」を選んだ場合、タイミングポップアップの次に異常温度基準ポップアップが表示されます。異常温度基準を選び決定ボタンを押すと、出力端子設定ポップアップに戻ります。

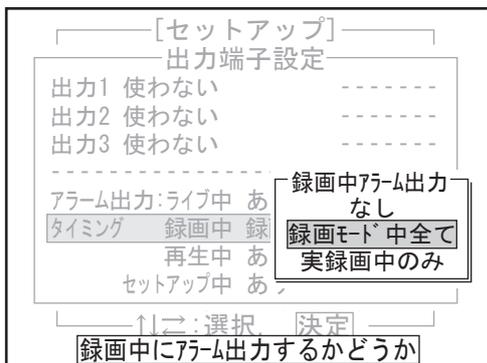
メモ 温度異常とは製品使用温度範囲を超えた場合に信号を出力します。一応異常と見なす温度の基準を設定できますが、通常は「高/低温時」のまま変更しないで下さい。

●アラーム出力タイミングの設定



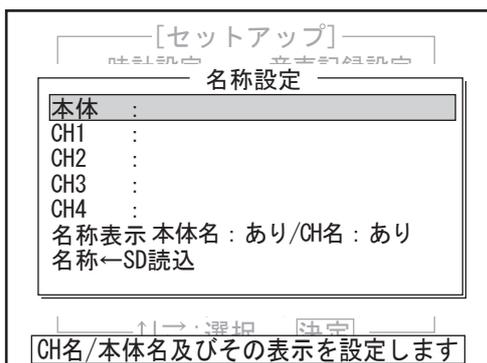
出力端子設定で「アラーム出力タイミング」を選んだ場合、アラーム出力のポップアップが表示されます。なし/ありを選び決定ボタンを押すと、出力端子設定ポップアップに戻ります。

メモ アラーム出力タイミングは、アラームが入力されたときにアラーム出力を出力するかどうかをモード別に設定します。(入力端子設定でアラーム出力をありに設定しておかなければ無効です。) ライブ中/再生中/セットアップ中はあり/なしですが、録画中のみ、モード中全てなのか、実録画をしているとき (=監視状態では出力しない) かを設定できます。



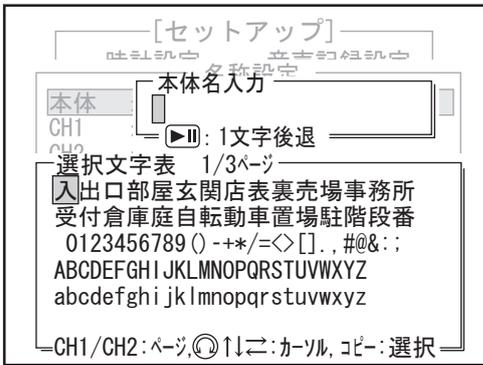
8-15 名称設定

本体とチャンネル1～4のそれぞれに名前を設定します。名前を設定するとライブ表示や再生表示で画面に表示されます。また、本体名とチャンネル名を表示しない設定もできます。



- 1 セットアップメニューで「名称設定」を選び、決定ボタンを押します。名称設定ポップアップが表示されます。
- 2 本体か、名称を付けるチャンネルを選び、決定ボタンを押します。

メモ 本体およびチャンネル1～4のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号は選択できません。



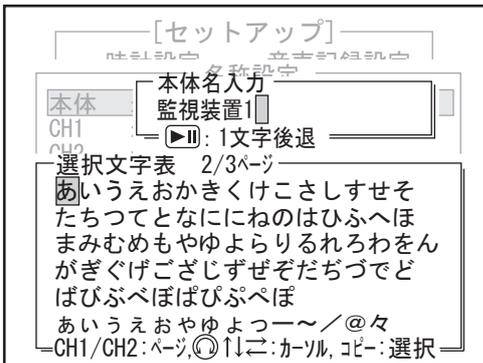
入力ポップアップが表示されます。ここでは本体を選んだときの画面例を示します。上段が入力欄で下段は入力する文字の選択欄です。1ページ目には、よく使うことが想定される漢字と、英数字、記号が表示されています。

- 1 ページ目表示の中に使用する文字があれば上下左右ボタンやジョグダイヤルで選び、コピー／画面ボタンを押します。入力欄の1桁目に指定した文字が入力されます。



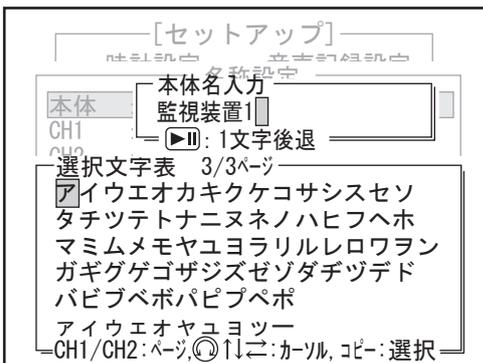
続けて文字を選び、コピー／画面ボタンを押すと、2桁目に入力されます。ここでは「監視装置1」と入力した場合の画面例を示します。

メモ 入力した文字を消去するときは、再生／一時停止ボタンを押します。1回押すとカーソルの直前の文字が1桁消去されます。

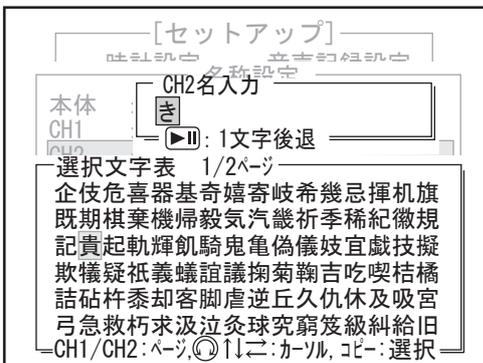


- 4 ひらがなを入力するときは、チャンネル選択ボタン1を押します。選択文字表の2ページ目が表示されます。

メモ 選択文字表の1ページ目に戻るには、チャンネル選択ボタン2を押します。



- 5 カタカナを入力するときは、もう一度チャンネル選択ボタン1を押します。選択文字表の3ページ目が表示されます。

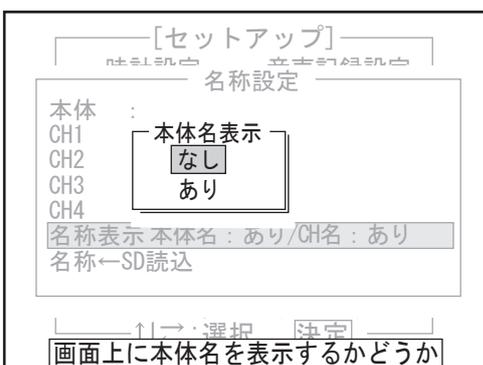


6 漢字を入力するときは、ひらがなのページで音読みの最初の1文字をコピー／画面ボタンで入力してから、録画ボタンを押します。該当する音読みの漢字一覧表が表示されます。
例えばチャンネル名に「貴重品」と入力するときには次のように操作します。

- (1) 「き」を入力してから録画ボタンを押すと、漢字一覧表が表示されます。
- (2) 「貴」を選び、コピー／画面ボタンまたは決定ボタンを押します。入力欄の「き」が「貴」に変わります。
- (3) 「し」を入力して録画ボタンを押し、漢字一覧表から「重」を選び、コピー／画面ボタンまたは決定ボタンを押します。漢字一覧表のページ切り替えが必要なときは、チャンネル選択ボタン1/2を押します。
- (4) 「ひ」を入力して録画ボタンを押し、漢字一覧表から「品」を選び、コピー／画面ボタンまたは決定ボタンを押します。

7 名称の入力が終わったら、決定ボタンを押します。名称設定ポップアップに戻ります。

メモ 入力した内容を適用せず元に戻すときは、入力ポップアップで検索ボタンまたは停止ボタンを押してください。

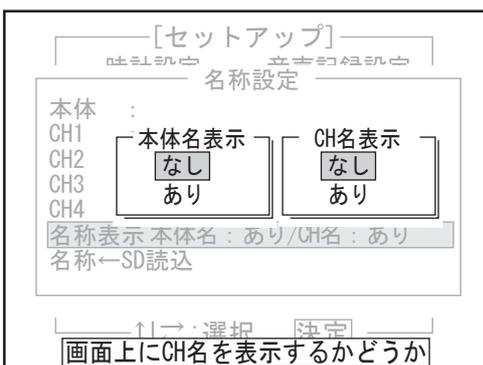


8 本体の名称は、初期設定値では画面に表示させる設定になっています。
表示させない設定に変えるときは、「名称表示」を選び、決定ボタンを押します。
本体名表示ポップアップが表示されます。

9 「なし」を選び、決定ボタンを押します。

メモ 表示させる設定に戻すときは、「あり」を選び、決定ボタンを押します。

CH名表示ポップアップが表示されます。



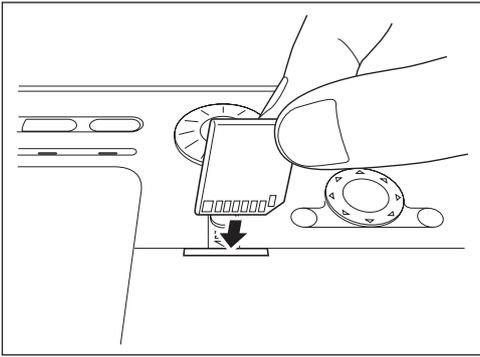
10 チャンネルの名称は、初期設定値では画面に表示させる設定になっています。
表示させない設定に変えるときは、「なし」を選び、決定ボタンを押します。

メモ 表示させる設定に戻すときは、「あり」を選び、決定ボタンを押します。

11 名称設定が終わったら検索ボタンまたは停止ボタンを押します。
セットアップメニューに戻ります。

● SD メモリーカードからの読み込みによる名称設定

パソコンで編集したファイルをSDメモリーカードから読み込み、名称を設定します。ファイルはパソコン(Windows)のメモ帳(Notepad)などで作成します。

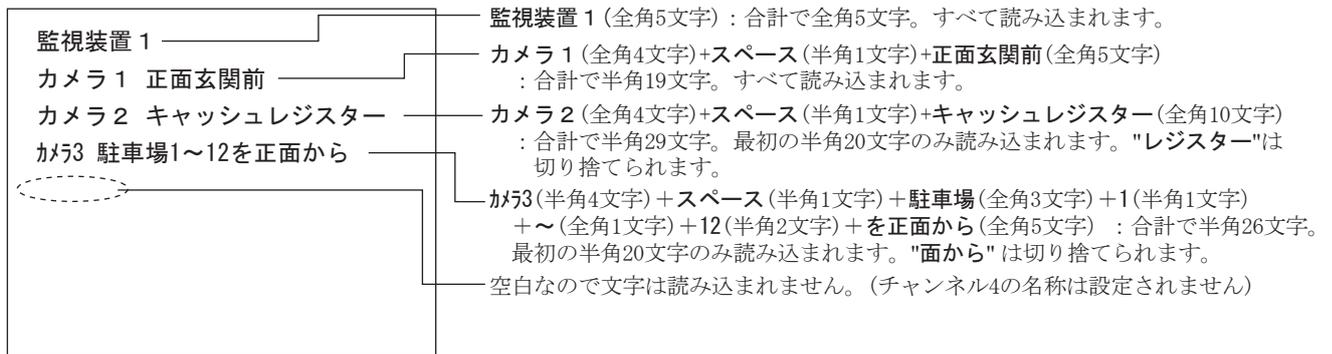


SDメモリーカードを挿入する場合、挿入の方向が正確であることを確かめてください。
SDメモリーカードのラベル部を上にしてSDメモリーカードスロットに挿入します。

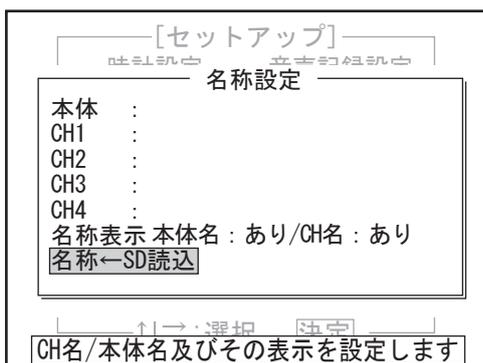
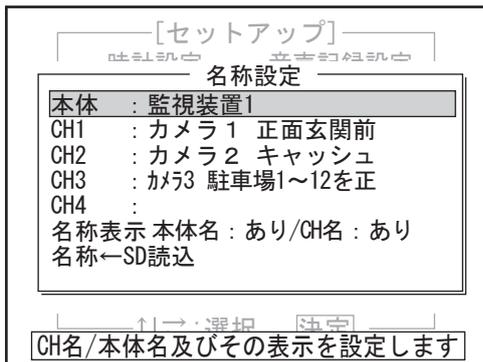
<SDメモリーカードから正常に読み込むための条件>

- ・ファイル名「NAME.TXT」のファイルのみ読み込むことができます。
- ・1行につき全角文字のみ10文字以内。(半角文字のみは20文字以内) 字数を越えた文字は切り捨てられます。
- ・全角文字と半角文字は混在可能。(この場合、全角文字1文字は半角文字2文字分に相当します)
- ・使用できない文字は読み飛ばされる。
- ・1行目：本体名、2行目～5行目：チャンネル名として読み込まれる。
- ・ファイルの保存場所：SDメモリーカード内にフォルダを作らず、ルート上に保存する。

<作成例>



<表示結果>



1 SDメモリーカードを挿入します。

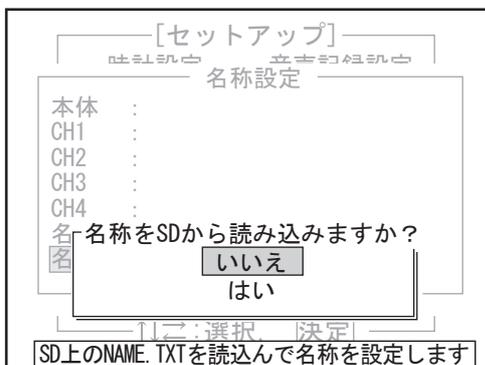
メモ ファイル名「NAME.TXT」のファイルのみSDメモリーカードから本体に読み込むことができます。

2 セットアップメニューで「名称設定」を選び、決定ボタンを押します。

名称設定ポップアップが表示されます。

3 「名称←SD読込」を選び、決定ボタンを押します。

SDポップアップが表示されます。



4 「はい」を選び、決定ボタンをおします。

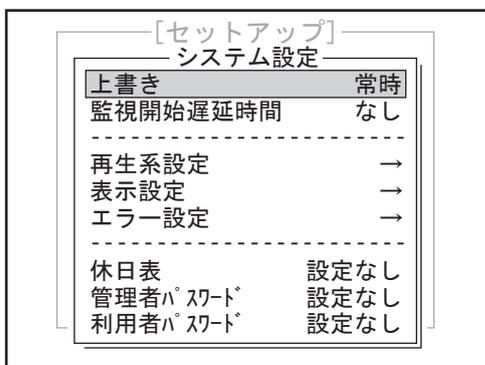
5 名称設定が終わったら、検索ボタンを押します。
セッアップメニューに戻ります。

8-16 システム設定

●上書きの設定

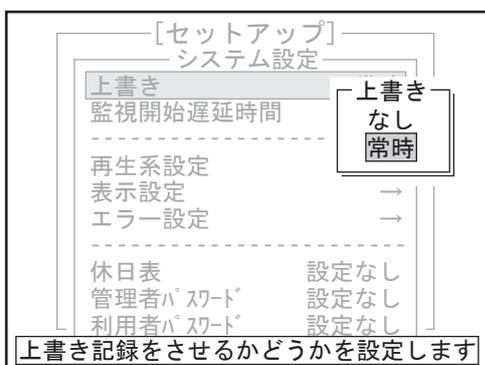
本体のハードディスクに記録した映像の上書きを設定します。

- ・「なし」に設定すると、記録された映像は上書きされません。ハードディスクが一杯になるとエラーを表示して記録できなくなります。
- ・「常時」に設定すると、記録された映像は常に上書きされます。ハードディスクが一杯になると最も古い映像から順に最新の映像に上書きされていきます。



1 セッアップメニューで「システム」を選び、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップが表示されます。

2 「上書き」を選び、決定ボタンを押します。



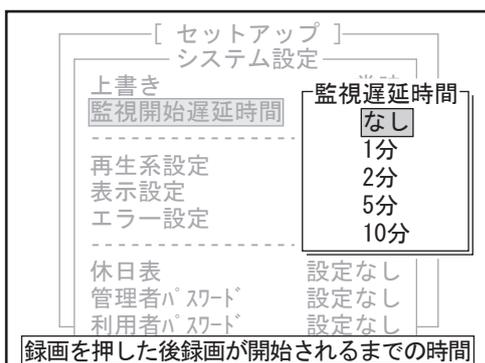
上書きポップアップが表示されます。

3 「なし」または「常時」のどちらかを選び、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●監視開始遅延時間の設定

録画ボタンを押してから監視状態を開始するまでの時間を設定します。作業者が退出するまでセンサ検知があっても記録されないようにするための機能です。

「なし」に設定すると即時監視状態を開始します。

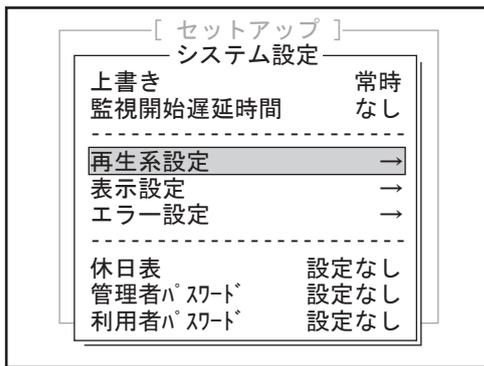


1 システム設定ポップアップで「監視開始遅延時間」を選び、決定ボタンを押します。
監視遅延時間ポップアップが表示されます。

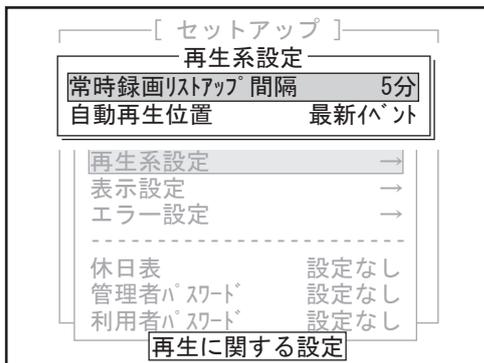
2 時間を選び、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●常時録画リストアップ間隔の設定

常時録画を検索するとき画面のリストに録画開始の時間から何分（何時間）おきの検索リストを作成するかを設定します。



- 1 システム設定ポップアップで「再生系設定」を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップが表示されます。



- 2 「常時録画リストアップ間隔」を選び、決定ボタンを押します。
常時録画リストアップ間隔ポップアップが表示されます。

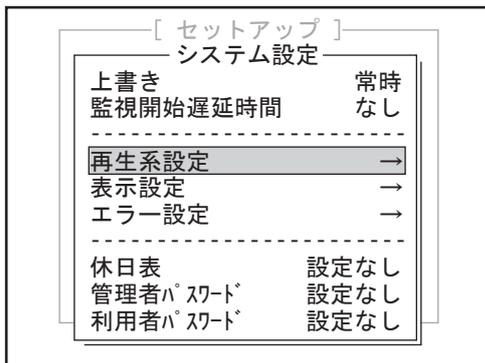


- 3 時間を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップに戻ります。
再生系設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

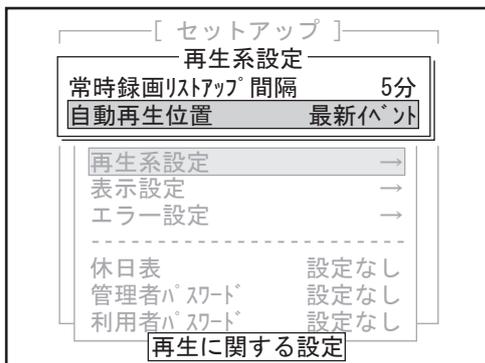
●自動再生位置の設定

再生ボタンを押したとき最初に再生する映像を設定します。

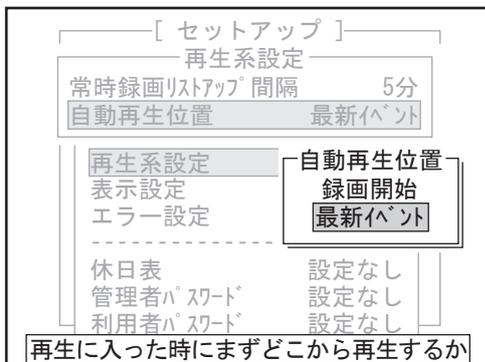
- ・「録画開始」に設定すると、録画モードに切り替わって最初に記録された映像から再生します。
- ・「最新イベント」に設定すると、録画モードが終了する直前の最新のイベント映像から再生します。



- 1 システム設定ポップアップで「再生系設定」を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップが表示されます。



- 2 「自動再生位置」を選び、決定ボタンを押します。
自動再生位置ポップアップが表示されます。

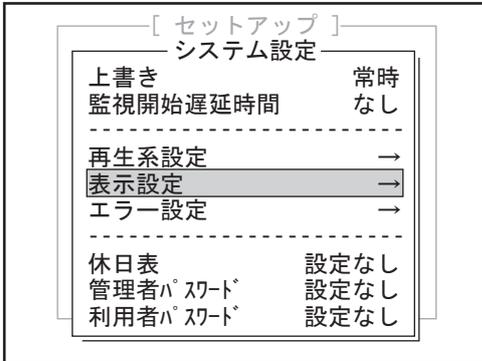


- 3 再生位置を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップに戻ります。
再生系設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

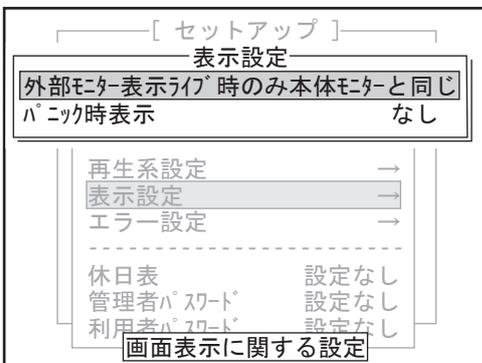
●外部モニターの設定

外部モニターの表示方法を設定します。

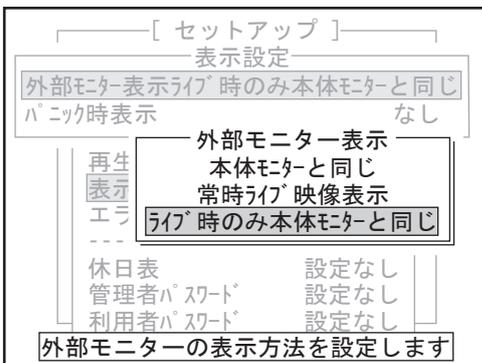
- ・「本体モニターと同じ」に設定すると、常に本体モニターと同じ表示をします。
- ・「常時ライブ映像表示」に設定すると、本体がどのモードにあっても常にライブ画像を切り替え表示します。（文字表示なし）
- ・「ライブ時のみ本体モニターと同じ」に設定すると、再生 / 検索 / セットアップ中の時はフル画面でライブ画像を切り替え表示します。
- ・なお、設定はセットアップを終了して初めて有効になります。



- 1 システム設定ポップアップで「表示設定」を選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップが表示されます。

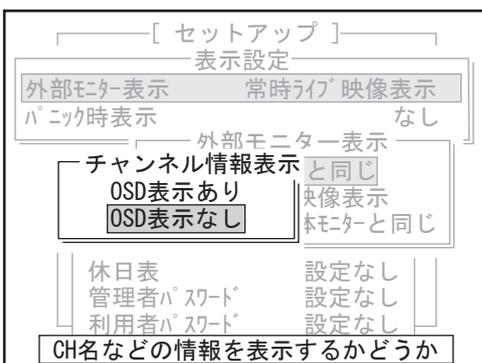


- 2 「外部モニター表示」を選び、決定ボタンを押します。
外部モニター表示ポップアップが表示されます。



- 3 表示種類を選び、決定ボタンを押します。
「本体モニターと同じ」、「ライブ時のみ本体モニターと同じ」を選んだ場合、チャンネル情報表示ポップアップが表示されます。「常時ライブ映像表示」を選んだ場合、表示設定ポップアップに戻ります。

メモ 「常時ライブ映像表示」の設定ではライブ表示のみの映像をモニターに表示しますので、店舗内などの威嚇監視用としてお使いください。文字情報はモニターに表示されません。



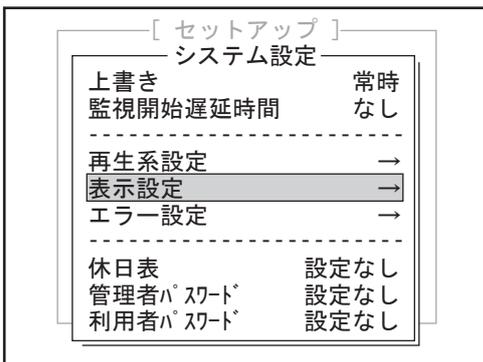
- 4 文字情報をモニターに表示する場合は、「OSD 表示あり」、表示しない場合は、「OSD 表示なし」を選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップに戻ります。
表示設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

メモ 前面入力端子からの映像は、「外部モニター表示」の設定にかかわらず本体モニターと同じ映像を表示しますが、ここで「OSD なし」を選ぶと、文字情報をモニターに表示しないようにすることができます。

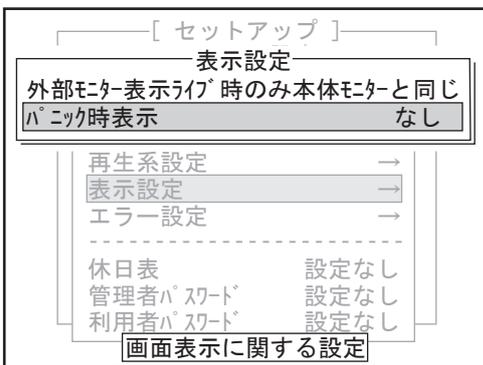
●パニック時表示の設定

パニック入力があったときに本体に表示をするかを設定します。

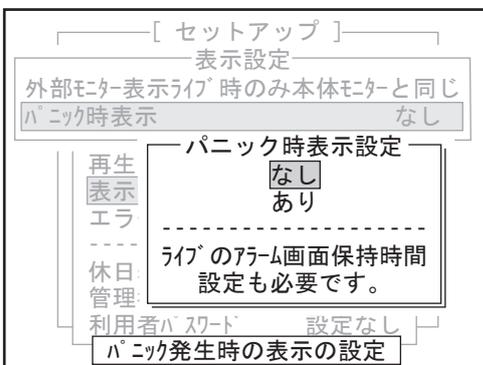
- ・「なし」に設定すると、表示しません。
- ・「あり」に設定すると、パニック入力を表示します。



- 1 システム設定ポップアップで「表示設定」を選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップが表示されます。



- 2 「パニック時表示」を選び、決定ボタンを押します。
パニック時表示設定ポップアップが表示されます。

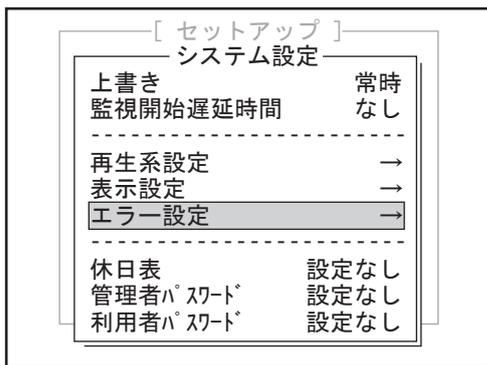


- 3 なし／ありを選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップに戻ります。
表示設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

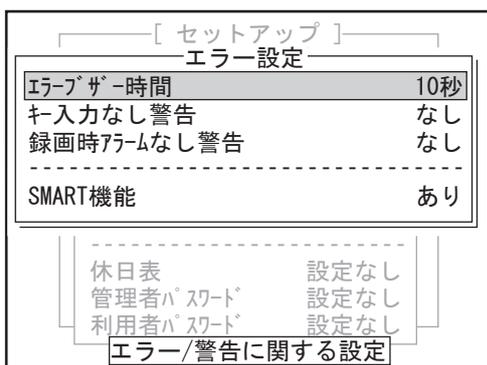
メモ 「パニック時表示設定」を「あり」に設定すると、「ライブ設定」の「アラーム画面保持時間」で設定された秒数だけフル画面で映像が表示されます。

●エラー設定

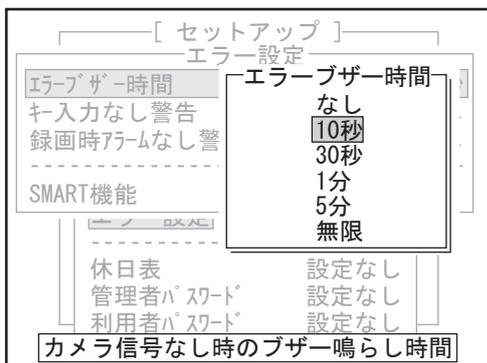
機器に異常（エラー）が発生したときに、本体のブザーを何秒間または何分間鳴らすかを設定します。



- 1 システム設定ポップアップで「エラー設定」を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップが表示されます。



- 2 「エラーブザー時間」を選び、決定ボタンを押します。
エラーブザー時間ポップアップが表示されます。



- 3 時間を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップに戻ります。
エラー設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

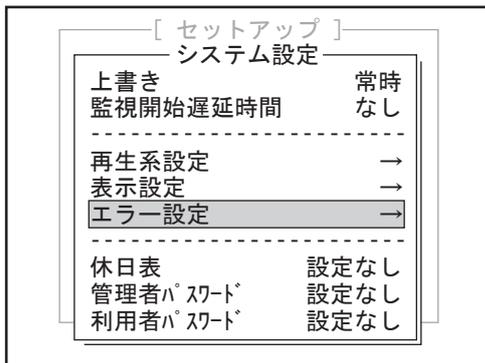
メモ カメラ信号なし時のブザー鳴らし時間の設定です。
エラー音無しを選択した場合は、異常LEDや画面表示はされますが、エラー発生時も音がなりません。

●キー入力なし警告の設定

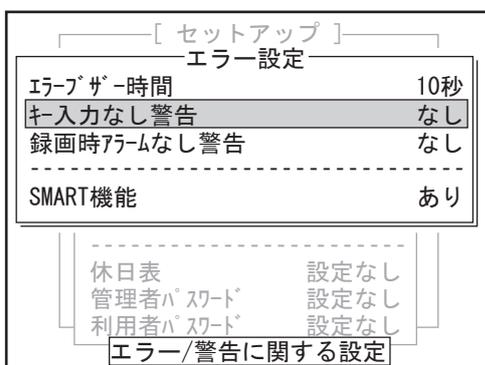
再生した後など再び録画モードへの入れ忘れを防止するために、一定時間キー入力がない場合に本体のブザーを鳴らし注意を促すことができます。

何分間以上キー入力がない場合にブザーを鳴らすかを設定します。

「なし」に設定すると、ブザーは鳴りません。

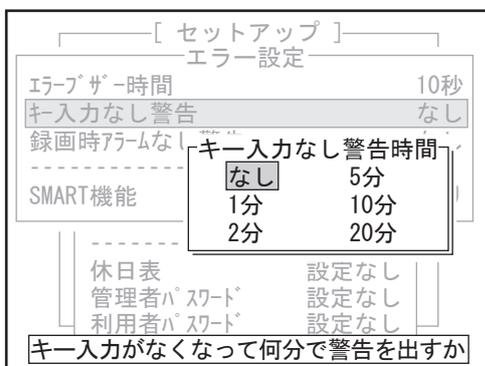


- 1 システム設定ポップアップで「エラー設定」を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップが表示されます。



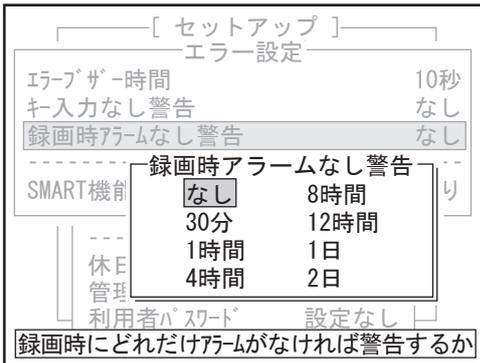
- 2 「キー入力なし警告」を選び、決定ボタンを押します。
キー入力なし警告ポップアップが表示されます。

メモ キー入力がなくなって何分で警告を出すかの設定です。
人が操作の途中で席を外し、そのまま放置された場合を警告する機能です。



- 3 時間を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップに戻ります。
エラー設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

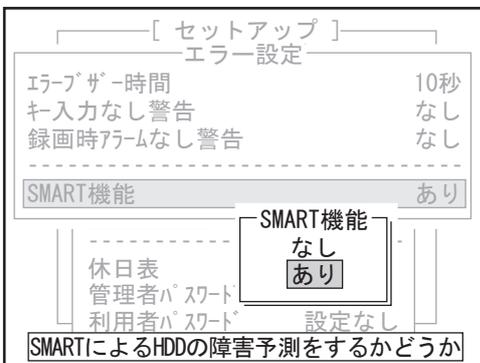
● 録画時アラームなし警告設定



エラー設定ポップアップで「録画時アラームなし警告」を選んだ場合、録画時アラームなし警告ポップアップが表示されます。時間を選び決定ボタンを押すと、エラー設定ポップアップに戻ります。

メモ 録画中（タイマー待ち中を除く）に、どれだけの期間アラームが発報しなければ警告を出すかの設定です。アラーム機器が壊れてアラーム信号が来なくなったことが解るようになりますが、アラームがまれにしか発生しない現場では誤った警告を出す可能性がありますので、考えられる適当な時間を設定してください。

● SMART 機能の設定

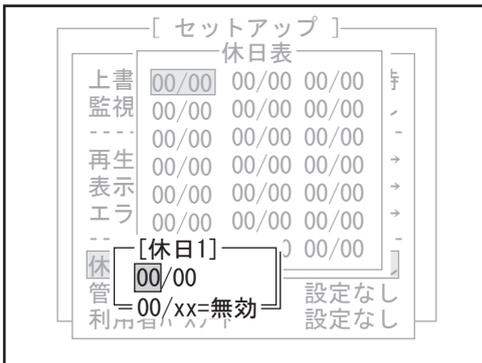
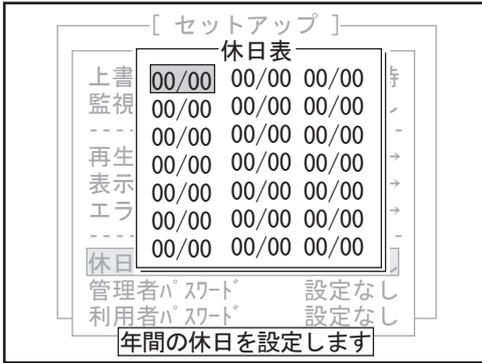


エラー設定ポップアップで「SMART 機能」を選んだ場合、SMART 機能ポップアップが表示されます。なし / ありを選び決定ボタンを押すと、エラー設定ポップアップに戻ります。

メモ SMART 機能はハードディスクの持つ障害予測機能です。これを「あり」にすることでハードディスクが劣化した場合に警告を出すようになります。警告が出た場合に速やかに対処することで、ハードディスクが完全に破壊されて読めなくなる（画像が取出せなくなる）という状況になる可能性を減らせます。（ハードディスクは突然壊れることもあるので、SMART が有効でも 100%破壊の危険を検出できるわけではありません）。なお、「なし」にしてもハードディスクの寿命が延びるわけではありません。

●休日表の設定

休日を設定します。21日分入力できます。録画時間設定の曜日指定で「休日」に含める日付です。



1 システム設定ポップアップで「休日表」を選び、決定ボタンを押します。
休日表ポップアップが表示されます。

2 上下左右ボタンまたはジョグダイヤルで日付を入力する位置にカーソルを移動し、決定ボタンを押します。

メモ 設定する際にはその年度の休日を確認の上、設定してください。

日付入力ポップアップが表示されます。

3 カーソルの位置を月、日の欄に上下左右ボタンの左右ボタンで合せます。
月と日の設定は、上下左右ボタンの上下ボタンかジョグダイヤルで行います。
決定ボタンを押します。
休日表ポップアップに戻ります。

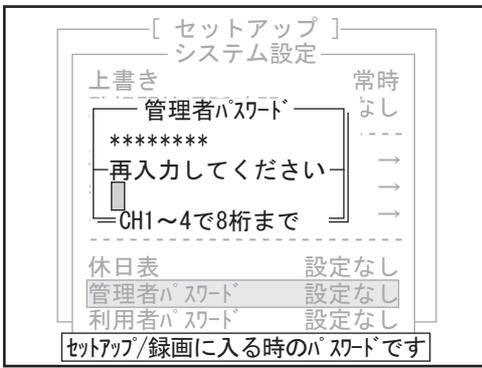
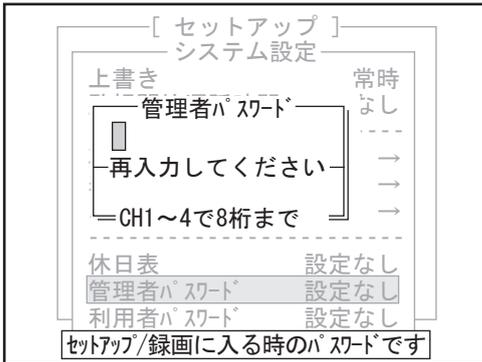
メモ 一度入力した日付を消去するときは、月の欄を「00」にして決定ボタンを押して下さい。

4 すべての休日が入力できたら、検索ボタンまたは停止ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

メモ 日付が重複した場合、メッセージが表示されます。

●パスワードの設定

管理者および利用者のパスワードを設定します。セットアップメニューを表示させるときや、監視開始遅延時間の開始、停止および監視状態の開始、停止メニューを表示させるときにパスワード入力が必要になり、部外者による操作をふせぎます。



- 1 システム設定ポップアップで「管理者パスワード」を選び、決定ボタンを押します。
管理者パスワードポップアップが表示されます。
- 2 チャンネル選択ボタンの1～4を使って、8桁までのパスワードを入力し、決定ボタンを押します。
 - ・ 管理者パスワード
録画開始・終了/セットアップ用（管理者、利用者パスワードを分ける必要がない場合は管理者パスワードのみ設定してください。）

メモ パスワードは1～4の数字を組合わせてください。1桁でも可能です。（最大8桁）

カーソルが下の段に移動します。入力したパスワードは「*」で表示されます。

- 3 確認用にもう一度パスワードを入力して、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。
- 4 「利用者パスワード」も同様に入力します。
 - ・ 利用者パスワード
録画開始・終了用（セットアップには入れません。）

メモ

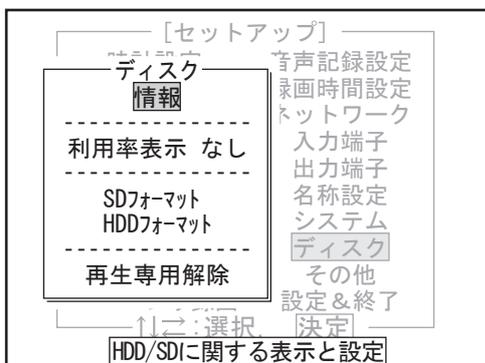
- ・ 一度設定したパスワードを解除するときは、手順2、3で何も入力せずに決定ボタンを押してください。
- ・ パスワードが不一致の場合は、パスワード異常の画面が表示されます。決定ボタンを押して、もう一度入力を行ってください。

管理者、利用者パスワードが設定されるとシステム設定ポップアップの管理者、利用者パスワードの項目の”設定なし”が”設定あり”に表示が変わります。

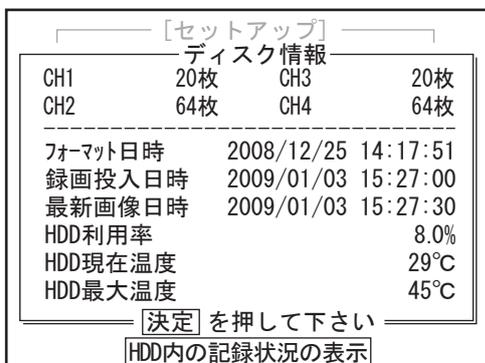
8-17 ディスク管理

●ハードディスクの情報を見る

チャンネル別の録画枚数、ハードディスクのフォーマット日時、最新の録画モード切り替え日時、最新の画像日時、ハードディスクの利用率を表示します。



- 1 セットアップメニューで「ディスク」を選び、決定ボタンを押します。
ディスクポップアップが表示されます。
- 2 「情報」を選び、決定ボタンを押します。

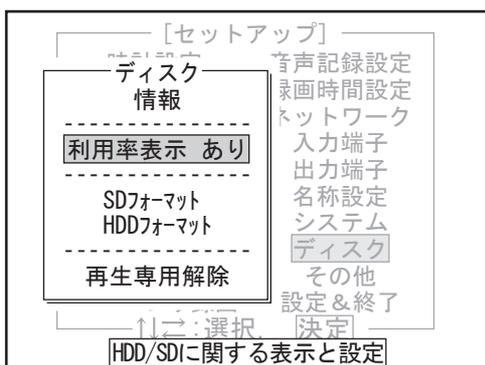


ディスク情報ポップアップが表示されます。

- 3 決定ボタンまたは停止ボタンを押します。
ディスクポップアップに戻ります。

●ハードディスクの利用率を表示する

ハードディスクの利用率を表示します。

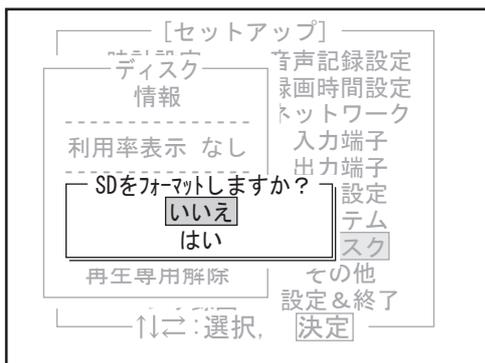


- 1 ディスクポップアップで「利用率表示」を選び、決定ボタンを押します。
- 2 HDD 利用率表示ポップアップが表示され、「あり」を選択すると、監視状態や録画時の画面右下にハードディスク利用率が表示されます。

● SD メモリーカードをフォーマットする

SD メモリーカードをフォーマットします。

SD メモリーカードにコピーされた画像などのデータはすべて消去されます。

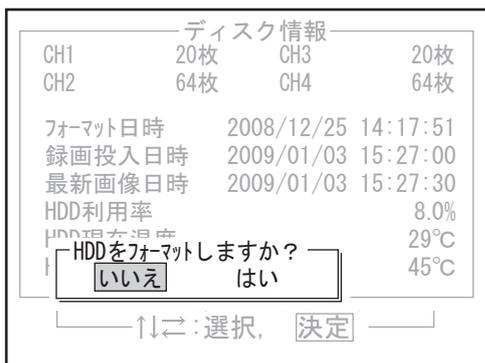


- 1 SD メモリーカードを本体に挿入します。
- 2 ディスクポップアップで「SD フォーマット」を選び、決定ボタンを押します。確認メッセージが表示されます。
- 3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。SD メモリーカードをフォーマットします。終了するとディスクポップアップに戻ります。

メモ 「いいえ」を選び決定ボタンを押すと、フォーマットせずにディスクポップアップに戻ります。

●ハードディスクをフォーマットする

ハードディスクに保存された録画データをすべて消去します。



- 1 ディスクポップアップで「HDD フォーマット」を選び、決定ボタンを押します。ハードディスク情報とともに、確認メッセージが表示されます。
- 2 「はい」を選び、決定ボタンを押します。もう一度確認メッセージが現れ、ここで「はい」を押すとハードディスクフォーマットが始まります。ハードディスクをフォーマットします。終了すると「正常に終了しました」と表示されます。決定ボタンを押すとディスクポップアップに戻ります。

メモ 「いいえ」を選び決定ボタンを押すと、フォーマットせずにディスクポップアップに戻ります。

8-18 その他の設定

●操作ログの表示

操作内容の履歴を表示します。

セットアップメニューの表示、ライブ表示、再生、検索などの画面操作のほか、常時録画、監視開始遅延時間(ExitDelay)、監視状態などの開始の日時、およびSDフォーマット、HDDフォーマットの日時が表示されます。



- 1 セットアップメニューで「その他」を選び、決定ボタンを押します。
その他ポップアップが表示されます。

- 2 「操作ログ」を選び、決定ボタンを押します。

操作ログポップアップが表示されます。
上下左右ボタンの上下ボタンを押すかジョグダイヤルを回すと表示をスクロールできます。

- 3 決定ボタンまたは検索ボタンを押します。
その他ポップアップに戻ります。

メモ 操作ログの登録件数は最大 1000 件です。1001 件以上になると古いログから順次消えます。



●エラーログの表示

エラー発生の履歴を表示します。

プログラム更新エラー、録画中のエラーなどの発生日時が表示されます。



- 1 その他ポップアップで「エラーログ」を選び、決定ボタンを押します。
エラーログポップアップが表示されます。

- 2 決定ボタンまたは検索ボタンを押します。
その他ポップアップに戻ります。

メモ エラーログの登録件数は最大 1000 件です。1001 件以上になると古いログから順次消えます。

●停電ログの表示

停電発生の履歴を表示します。停電発生時のモードと日時が表示されます。



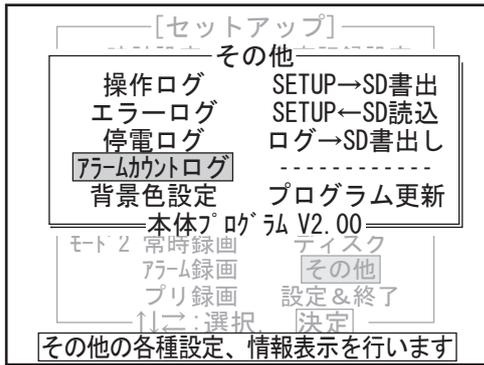
- 1 その他ポップアップで「停電ログ」を選び、決定ボタンを押します。
停電・起動ログポップアップが表示されます。

- 2 決定ボタンまたは検索ボタンを押します。
その他ポップアップに戻ります。

メモ 停電ログの登録件数は最大 1000 件です。1001 件以上になると古いログから順次消えます。

●アラームカウントログの表示

チャンネルごとの1時間単位のアラーム発生件数の履歴が表示されます。



- 1 その他ポップアップで「アラームカウントログ」を選び、決定ボタンを押します。アラームカウントログポップアップが表示されず。



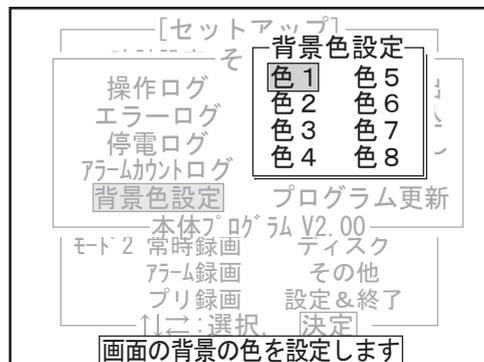
- 2 決定ボタンまたは検索ボタンを押します。その他ポップアップに戻ります。

メモ

- ・1時間ごとのアラームの総数をカウントしています。
- ・アラームは本体起動中であれば、動作状態に関わらず、常にカウントします。
- ・モーションセンサと接点入力を両方使用していた場合、両方を合算した数字となります。
- ・アラームカウントログの登録件数は最大1000件です。1001件以上になると古いログから順次消えます。

●背景色の設定

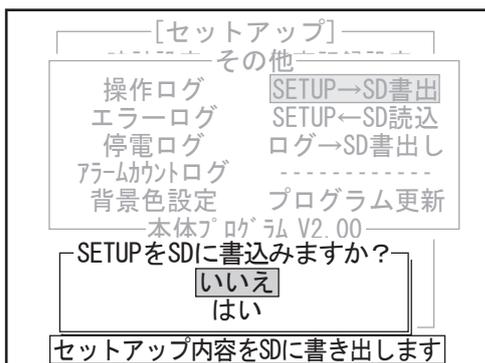
セットアップメニューの背景と文字の色の組み合わせを設定します。



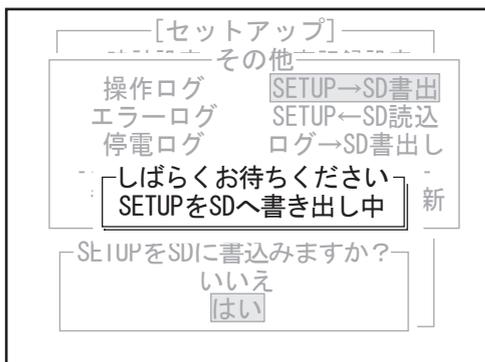
- 1 その他ポップアップで「背景色設定」を選び、決定ボタンを押します。背景色設定ポップアップが表示されます。
- 2 色を選び、決定ボタンを押します。背景と文字の色が変わり、その他ポップアップに戻ります。

●設定内容をSDメモリーカードに書き出す

セットアップメニューの設定内容をSDメモリーカードに書き出します。ここで書き出したSDメモリーカードを使って、読み込みを行うと、書き出したときと同じ設定内容を再現できます。



- 1 SDメモリーカードを挿入します。
- 2 その他ポップアップで「SETUP → SD 書出」を選び、決定ボタンを押します。確認メッセージが表示されます。



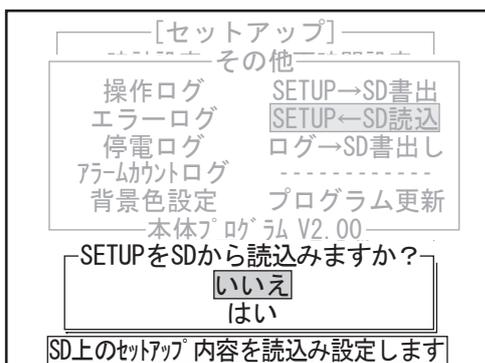
- 3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。SDメモリーカードに設定内容を書き出します。書き出し中は、メッセージが表示されます。

書き出しが終了すると、「SD SETUP 書き込み完了」とポップアップ表示されるので決定ボタンを押してください。その他ポップアップに戻ります。

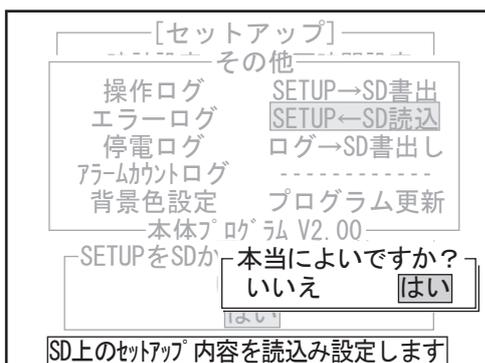
メモ SDメモリーカードは、書き出しが終わったことを確認してから取出してください。

●設定内容をSDメモリーカードから読み込む

セットアップメニューの設定内容をSDメモリーカードから読み込みます。これまでに操作したセットアップメニューの内容はすべてSDメモリーカードに書き込まれた設定内容に置き換わりますので、十分確認してから行ってください。



- 1 SDメモリーカードを挿入します。
- 2 その他ポップアップで「SETUP ← SD 読込」を選び、決定ボタンを押します。確認メッセージが表示されます。

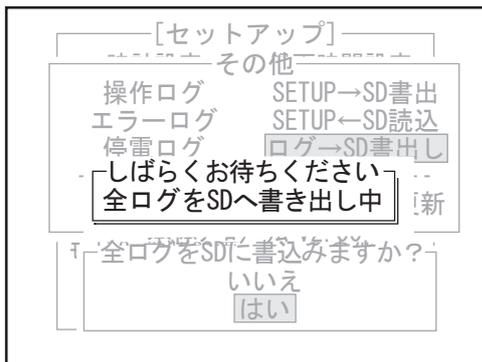
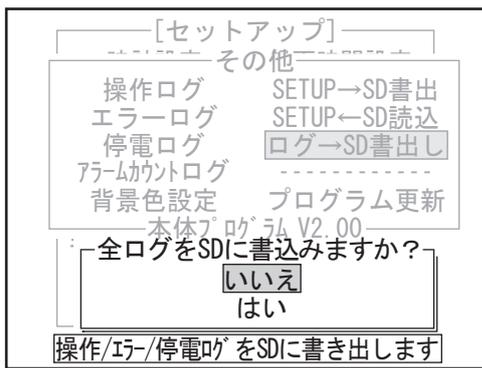


- 3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。もう一度確認メッセージが表示されます。
- 4 「はい」を選び、決定ボタンを押します。SDメモリーカードから設定内容を読み込みます。読み込みが終了すると、「SD SETUP 読み込み完了」とポップアップ表示されるので決定ボタンを押してください。その他ポップアップに戻ります。

メモ SDメモリーカードは、読み込みが終わったことを確認してから取出してください。

●ログをSDメモリーカードに書き出す

操作、エラー、停電の各ログをSDメモリーカードに書き出します。テキストデータで保存されますので、パソコンで確認することができます。



- 1 SDメモリーカードを挿入します。
- 2 その他ポップアップで「ログ→SD書出し」を選び、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。
- 3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。
SDメモリーカードにログを書き出します。書き出し中は、メッセージが表示されます。

書き出しが終了すると、「処理が終了しました」とポップアップ表示されるので決定ボタンを押してください。その他ポップアップに戻ります。

メモ SDメモリーカードは、書き出しが終わったことを確認してから取出してください。

●プログラム更新

サービスマンモードですので、絶対に使用しないでください。

症状	原因	対処方法	参照ページ	
画面表示	液晶モニターに映像が表示されない。	液晶モニター右側にある LCD SW が「OFF」になっている。	液晶モニター右側にある LCD SW を「ON」にしてください。	P10
		カメラ信号が途切れている。	映像入力端子の映像ケーブルやカメラ側の映像ケーブル、電源ケーブルの接続を確認してください。	P15
		省エネモードが「ON」になっている。	前面のボタンをどれか1つ押してください。	P20
	4分割画面にならない。	4分割画面表示になっていない。	画面分割ボタンを押してください。	P10, P26
		パニック録画している。	パニック録画が終了するまで4分割画面表示に切替えることはできません。パニック録画が終了してから画面分割ボタンを押してください。	P10, P26
	フル画面表示にならない。	チャンネル選択ボタンを押していない。	チャンネル選択ボタンを押してください。	P10, P25
		カメラ設定を「カメラなし」に設定している。	カメラ設定を「カメラあり」に設定してください。	P41
		パニック録画している。	パニック録画が終了するまでフル画面表示に切替えることはできません。パニック録画が終了してからチャンネル選択ボタンを押してください。	P10, P25
	シーケンス表示ができない。	シーケンス表示モードになっていない。	4分割画面表示している状態で画面分割ボタンを押してください。	P10, P26
		切換間隔を「なし」に設定している。	切換間隔を「なし」以外（「1秒」～「30秒」）に設定してください。	P42
	本体名称が表示されない。	本体名称を設定していない。	本体名称を設定してください。	P61～P65
		本体名表示を「なし」に設定している。	本体名表示を「あり」に設定してください。	P63
	チャンネル名称が表示されない。	画面表示を非表示にしている。	決定ボタンを3秒以上長押ししてください。	P10, P25
		CH名表示を「なし」に設定している。	CH名表示を「あり」に設定してください。	P63
		チャンネル名称を設定していない。	名称設定でチャンネル名称を設定してください。	P61～P65
フル画面表示していない。		4分割画面表示では、チャンネル名称は表示されません。チャンネル選択ボタンを押してフル画面表示してください。	P10, P25	
アラーム表示が出ない。	アラーム画面保持時間を「なし」に設定している。	アラーム画面保持時間を「なし」以外（「2秒」～「30秒」）に設定してください。	P42	
	アラーム入力チャンネル以外のチャンネルをフル画面表示にしている。	フル画面表示にしているチャンネル以外でアラーム入力された場合は、アラーム表示は表示されません。	—	
	パニック録画中にアラーム入力やモーションセンサの検知が発生している。	パニック録画中はアラーム入力を受付けません。	—	
アラーム入力時、アラーム入力チャンネルがフル画面表示されない。	フル画面表示している。	フル画面表示にしているチャンネル以外でアラーム入力された場合は、アラーム表示は出ません。	—	
	アラーム画面保持時間を「なし」に設定している。	アラーム画面保持時間を「なし」以外（「2秒」～「30秒」）に設定してください。	P42	
パニック表示が出ない。	パニック時表示を「なし」に設定している。	パニック時表示を「あり」に設定してください。	P69	
	画面表示を非表示にしている。	決定ボタンを3秒以上長押ししてください。	P10, P25	
HDD 利用率が表示されない。	HDD 利用率表示を「なし」に設定している。	HDD 利用率表示を「あり」に設定してください。	P75	
	ライブ状態になっている。	ライブ状態では表示されません。録画中及び監視状態（録画 LED が点灯）の場合に表示されます。	P23, P27	
	画面表示を非表示にしている。	決定ボタンを3秒以上長押しし、日時等を表示させてください。	P10, P25	
アラーム表示が出ない。	セットアップ画面が表示されている。	セットアップ中はアラームを受付けません。セットアップメニューを終了してください。	P40	
セットアップ	セットアップメニューが表示できない	検索ボタンと決定ボタンを3秒程度同時に押していない。	検索ボタンと決定ボタンを3秒程度同時に押してください。	P10, P40
		録画中及び監視状態（録画 LED が点灯）になっている。	停止ボタンあるいは警戒入力を解除してください。（録画 LED が消灯）	P10, P23, P27
		録画画像を再生している。	停止ボタンを押して再生を終了してください。	P10, P29
		再生一時停止状態になっている。	停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してください。	P10, P29
		パニック録画している。	ライブ状態でパニック録画が行われている場合、セットアップメニューを表示させることはできません。	—
		パスワードが設定されている。	パスワードを正確に入力してください。	P39
		3回連続でパスワードを間違えている。（パスワード入力不可メッセージが表示）	10分間、再入力できません。10分以上経過してからパスワードを正確に入力してください。	P39

	症状	原因	対処方法	参照ページ
セットアップ	カメラチャンネルの各種設定ができない。	カメラ設定が「カメラなし」に設定されている。	カメラ設定で「カメラなし」に設定しているチャンネルは設定が変更できません。	P41
	設定が変更されていない。	設定 & 終了選択ポップアップで「設定しないで終了」を選択してセットアップメニューを終了している。	設定 & 終了選択ポップアップで「設定しないで終了」を選択して設定メニューを終了させると、設定は変更されません。設定変更した際は、「設定して終了」を選択してセットアップメニューを終了してください。	P40
	時刻設定ができない。 (時計設定異常メッセージが表示)	最新の録画画像の日時より前の時刻に設定している。	最新の録画画像の日時より後の時刻に設定してください。	P41
	入力種類を、「画面切替」、「パニック」、「警戒」、「分リセット」、「秒リセット」に設定できない。	他の入力種類を「画面切替」、「パニック」、「警戒」、「分リセット」、「秒リセット」にそれぞれ設定している。	「画面切替」、「パニック」、「警戒」、「分リセット」、「秒リセット」はそれぞれ入力端子1つずつしか設定できません。	P56
録画	常時録画できない。	録画ボタンを押していない。または警戒入力信号が入力されていない。(録画LEDが消灯)	録画ボタンを押す。または警戒入力信号を入力してください。(録画LEDが点灯)	P10, P23, P27
		カメラが接続されていない。	カメラを接続してください。	P15
		カメラ設定で「カメラなし」に設定されているチャンネルがある。	カメラ設定で「カメラなし」に設定されているチャンネルは録画できません。	P41
		モード1/モード2の録画時間を設定していない。	録画時間設定でモード1/モード2の録画日時を設定してください。	P48 ~ P49
		モード1/モード2の常時録画を設定していない。	モード1/モード2の常時録画を設定してください。	P44
		モード1/モード2の設定日時以外の時間帯になっている。	モード1/モード2の設定日時以外の時間帯は、監視状態になり、録画待機状態になります。	P48 ~ P49
		HDD容量一杯に録画している。	ハードディスクをフォーマットするか、上書きを「常時」に設定してください。	P65, P76
		パスワードが設定されている。	録画ボタンを押してパスワードを正確に入力してください。	P39
		3回連続でパスワードを間違えた。(パスワード入力不可メッセージが表示)	10分間、常時録画を開始することができません。10分以上経過してから録画ボタンを押してパスワードを正確に入力してください。	P39
		パニック録画している。	パニック録画が終了してから録画ボタンを押してください。	P10, P27
	監視開始遅延時間が設定されている。	監視開始遅延時間が終了するまで録画状態になりません。監視開始遅延時間を「なし」に設定してください。	P23, P65	
	設定したモードで録画されない。	録画日時毎に各モードを設定していない。	録画時間設定で録画日時毎に各モード(「モード1」または「モード2」)を設定してください。	P48 ~ P49
		同一曜日で複数の録画時間が重なっている。	録画時間設定が重なっている時間は、設定番号の大きい設定が優先されます。	P48 ~ P49
		各録画及び録画時間の設定が変更されていない。	各録画及び録画時間を設定してから設定 & 終了選択ポップアップで「設定して終了」を選択してセットアップメニューを終了してください。	P40
	祝日も録画を行ってしまう。	休日表に祝日の日時を設定していない。	休日表で祝日にする日付を設定してください。	P73
	録画画像が上書きされてしまう。	上書きを「常時」に設定している。	上書きを「なし」に設定してください。	P65
	アラーム録画できない。	アラーム入力が発生していない。	アラーム入力が発生しないとアラーム録画は行いません。	P24
録画ボタンを押していない。または警戒入力信号が入力されていない。(録画LEDが消灯)		録画ボタンを押す。または警戒入力信号を入力してください。(録画LEDが点灯)	P10, P23, P27	
監視状態になっている。		監視状態ではアラーム録画は行いません。	P23, P27	
パニック録画している。		パニック録画中のアラーム録画は行いません。	P24, P27	
	モード1/モード2のアラーム録画を設定していない。	モード1/モード2のアラーム録画を設定してください。	P44 ~ P45	

症状	原因	対処方法	参照ページ		
録画	モーション録画できない。	モーションセンサ設定をしていない。	モーションセンサ設定でモーションのエリアや感度等の設定を行って下さい。	P54	
		モーションセンサが反応していない。	モーションセンサ設定の感度設定で感度やエリアを変更したり、カメラの画角を調整して、モーションセンサが検知しやすいように調整してください。	P54	
		録画ボタンを押していない。または警戒入力信号が入力されていない。 (録画 LED が消灯) 監視状態になっている。	録画ボタンを押す。または警戒入力信号を入力してください。(録画 LED が点灯) 監視状態ではモーション録画は行いません。	P27	
		パニック録画している。	パニック録画中のモーション録画は行いません。	P43	
		モード1/モード2のアラーム/モーション録画を設定していない。	モード1/モード2のアラーム/モーション録画を設定してください。	P44 ~ P45	
プリ録画できない。	パニック録画またはアラーム/モーション録画が行われていない。	パニックまたはアラーム入力やモーションセンサの検知がなければ、プリ録画は行いません。 プリ録画は、録画中のパニックまたはアラーム入力前の画像を録画します。	P24		
		モード1/モード2のプリ録画を設定していない。	モード1/モード2のプリ録画を設定してください。	P46	
		ライブ及び監視状態でパニック録画が行われている。	ライブ及び監視状態では、プリ録画は行いません。	P23 ~ P24	
		モード1/モード2のアラーム/モーション録画またはパニック録画を設定していない。	モード1/モード2のアラーム/モーション録画またはパニック録画を設定してください。	P43 ~ P45	
パニック録画できない。	パニック入力が発生していない。	パニック入力が発生しないとパニック録画は行いません。	P24		
		パニック録画を設定していない。	パニック録画を設定してください。	P43	
		セットアップメニューを表示している。	設定 & 終了選択ポップアップで「設定して終了」または「設定しないで終了」を選択してセットアップメニューを終了させてください。	P40	
録画が停止できない。	停止ボタンを押していない。	停止ボタンを押してください。(録画 LED が消灯)	P10, P27		
		警戒入力信号が入力されている。	警戒入力信号を解除してください。(録画 LED が消灯)	P23	
		パニック録画している。	パニック録画中は録画を停止できません。	P24	
		パスワードが設定されている。	パスワードを正確に入力してください。	P39	
		3回連続でパスワードを間違えた。 (パスワード入力不可メッセージが表示)	10分間、録画を停止することができません。 10分以上経過してから停止ボタンを押してパスワードを正確に入力してください。	P39	
	再生	再生できない。	再生/一時停止ボタンを押していない。	再生/一時停止ボタンを押してください。	P10, P29
		録画画像がない。 (“録画データが存在しません”と表示)	画像を録画してください。	P27	
		外部モニターの設定が「常時ライブ映像表示」または「ライブ時のみ本体モニターと同じ」になっている。	外部モニターの設定を「本体モニターと同じ」に設定してください。	P68	
再生一時停止できない。		再生中に再生/一時停止ボタンを押していない。	再生中に再生/一時停止ボタンを押してください。 再生画像が一時停止します。	P10, P31	
逆再生できない。		再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転していない。	再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転してください。	P10, P31	
			再生一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転してください。	P10, P31
			拡大表示している。	拡大表示を終了し、再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転してください。	P10, P31, P35
			最新の録画画像で再生一時停止状態になっている。	逆再生できません。	—
早送り再生できない。		再生中にジョグダイヤルを時計回りに回転していない。	再生中にジョグダイヤルを時計回りに回転してください。	P10, P31	
			再生一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイヤルを時計回りに回転してください。	P10, P31
		拡大表示している。	拡大表示を終了し、再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイヤルを時計回りに回転してください。	P10, P31, P35	
		最新の録画画像で再生一時停止状態になっている。	早送り再生できません。	—	

	症状	原因	対処方法	参照ページ	
再生	早送り逆再生できない。	再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転していない。	再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転してください。	P10, P31	
		再生一時停止状態になっている。	再生 / 一時停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転してください。	P10, P31	
		拡大表示している。	拡大表示を終了し、再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイヤルを反時計回りに回転してください。	P10, P31, P35	
		最古の画像で再生停止状態になっている。	早送り逆再生できません。	—	
	コマ送り再生できない。	再生一時停止状態になっていない。	再生中に再生 / 一時停止ボタンを押し、再生一時停止状態にしてください。	P10, P31	
		ジョグダイヤルを回転していない。	再生一時停止状態でジョグダイヤルを回転してください。	P10, P31	
		拡大表示している。	拡大表示を終了させてから、再生一時停止状態でジョグダイヤルを回転してください。	P10, P31, P35	
		最古及び最新の画像で再生一時停止状態になっている。	再生 / 一時停止ボタンを押し、再生一時停止状態にしてからジョグダイヤルを回転してください。	P10, P31	
	再生画像を拡大表示できない。	4分割画面表示している。	4分割画面表示では、拡大表示はできません。再生一時停止状態でフル画面表示させてから拡大表示してください。	P10, P30, P35	
		フル画面表示で再生一時停止状態にしていない。	再生一時停止状態でフル画面表示してから拡大表示してください。	P31, P35	
		コピー / 画面ボタンを押していない。	コピー / 画面ボタンを押して再生メニューを表示させて「再生ズーム」を選択してください。	P10, P35	
	再生が停止できない。	停止ボタンを押していない。	停止ボタンを押してください。	P10, P29	
	検索リストが表示されない。	セットアップメニューを表示している。	設定 & 終了選択ポップアップで「設定して終了」または「設定しないで終了」を選択してセットアップメニューを終了してください。	P40	
		録画画像がない。 ("一致する画像がありません"と表示)	画像を録画してください。	P27	
検索できない。	検索画面を表示した状態で検索ボタンを押していない。	検索画面を表示中に検索ボタンを押してください。検索日時、チャンネル番号、イベント名を選択して検索できます。	P10, P36 ~ P38		
	録画画像がない。 ("一致する画像がありません"と表示)	画像を録画してください。	P27		
コピー	コピーできない。	SDメモリーカードを挿入していない。	SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを奥まで挿入してください。	P10, P32	
		コピー / 画面ボタンを押していない。	コピー / 画面ボタンを押し、再生メニューを表示して各コピー動作メニューを選択してください。	P10, P32	
		再生一時停止状態にしていない。	再生中に再生 / 一時停止ボタンを押して再生一時停止状態にしてからコピー / 画面ボタンを押してください。	P10, P29 ~ P33	
		録画画像がない。	画像を録画してください。	P27	
		4分割表示になっている。	4分割表示とフル画面表示では再生メニューが異なります。フル画面表示させてからコピー / 画面ボタンを押してください。	P32	
	しおりができない。	コピー / 画面ボタンを押していない。	コピー / 画面ボタンを押して再生メニューを表示させて「しおり ON」または「一括しおり ON」を選択してください。	P10, P34	
		再生一時停止状態にしていない。	しおりを付けたい画像で再生一時停止状態にしてください。	P31, P34	
		録画画像がない。	画像を録画してください。	P27	
	警告 ブザー	カメラから画像が出力されず、異常LEDが点滅し、ブザーが鳴動する。	信号なし時処理を「エラー」に設定しているチャンネルのカメラの映像信号が切断されている。	映像入力端子の映像ケーブルやカメラ側の映像ケーブル、電源ケーブルの接続を確認してください。	P15
		アラーム入力時にブザーが鳴動する。	入力端子設定でブザーを「あり」に設定している。	入力種類で「CH1 アラーム」～「CH4 アラーム」のブザーを「なし」に設定してください。	P56
モーションセンサ設定でブザーを「あり」にしている。			モーションセンサ設定でブザーを「なし」にしてください。	P55	
常時録画中にアラーム入力 が一定時間以上ない時に ブザーが鳴動する。		録画時アラームなし警告で設定している時間以上アラーム入力やモーションセンサの検知が発生していない。	アラーム入力に接続されている機器を確認してください。	—	
パニック入力時にブザーが鳴動する。		ブザーを「あり」に設定している。	入力種類の「パニック」のブザーを「なし」に設定してください。	P56	
キー入力操作が一定時間内 行われなかった時に鳴動する。		キー入力なし警告で設定している時間以上キー操作を行っていない。	操作が終了したら、録画ボタンを押して録画状態または監視状態にしてください。	P10, P27	
異常LEDが点滅しているが、 ブザーが鳴動しない。		エラーブザー時間を「エラー音無し」に設定している。	ブザー音を鳴らしたい場合は、エラーブザー設定で、ブザーが鳴るように設定して下さい。	P56	

■仕様

型式	WT-3000J
名称	液晶モニター付き 4チャンネル デジタルレコーダー

基本仕様	
電源	ACアダプタ(別売)、または直流電源装置(別売)使用
定格電圧	DC12V ±5%
定格電流	1.5A(DC12V時)
外形寸法	250mm(幅)×250mm(高さ)×67mm(奥行き)
質量	約1.9kg
設置環境	屋内
設置方法	卓上/壁面
取付角度※	水平角度(卓上設置): 0±5°(前後左右) 垂直角度(壁面設置): 90±5°(前後左右)
使用温度範囲	+5°C ~ +40°C
使用周囲湿度	25~80%RH(結露無きこと)

※水平方向(卓上設置)の場合、本体前面(液晶モニター、操作スイッチのある面)が上を向くように設置してください。
垂直方向(壁面設置)の場合、液晶モニターが上側に位置するように設置してください。

定格入力	
映像(ビデオ)入力	NTSCコンポジット1.0Vp-p±10% 75Ω 4系統(BNC端子)
プログラム入力端子	N.0.またはN.C.接点入力 8系統(8入力 各2端子使用)
プログラム入力の種類	アラーム、マルチアングル、パニック、警戒、分りセット、秒リセット、画面切替 上記7種類から選択可能
音声入力	モノラル1系統(RCA端子)

定格出力	
映像(モニタ)出力	NTSCコンポジット1.0Vp-p±10% 75Ω 2系統(RCA端子)
アラーム出力	N.0.およびN.C.無電圧接点出力 DC28V 0.2A 1系統(2出力 各2端子使用)
汎用出力端子	N.0.またはN.C.無電圧接点出力 DC28V 0.2A 3系統(3出力 各2端子使用)
出力の種類	警告、致命的エラー、全エラー、録画モード、再生モード、 通電、録画忘れ、実録画、温度異常
音声出力	モノラル1系統(RCA端子) モノラルスピーカー1個

記録方法	
圧縮方式	映像: M-JPEG、音声: PCM 8k
画像解像度	NTSC 720(H)×240(V)
画質モード	5段階(低、標準、中高、高、超高) 選択可能
最高記録速度	30枚/秒(1チャンネル)
記録媒体	2.5インチハードディスク
記録容量	500GB
補助記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード
最高再生速度	30枚/秒(記録速度とは、一致しません)

LAN	
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX・RJ45端子
対応プロトコル	TCP/IP、HTTP、NTP
LAN出力	Live、録画映像確認、画像の取出し、設定変更、プログラム更新

その他機能	
モニター	4.1インチ TFTカラー液晶モニター搭載
スイッチャー	4チャンネルマルチプレクサ機能内蔵

■セットアップ設定チェック表

施工、設置時の設定確認用に使用してください。網がけ部 () は工場出荷時の設定です。

○カメラ設定

	選択項目	カメラ				参照ページ
		1	2	3	4	
カメラ有無	カメラなし					P41
	カメラあり					
カメラ信号なし時処理	無視					P41
	エラー					

○ライブ設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
切替間隔	なし					P42
	1 秒					
	2 秒					
	5 秒					
	10 秒					
	20 秒					
	30 秒					
アラーム画面 保持時間	なし					P43
	2 秒					
	5 秒					
	10 秒					
	30 秒					
アラーム保持中 他 CH	有効					P43
	無効					

○パニック録画設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
画質	OFF					P43
	低					
	標準					
	中高					
	高					
	超高					

○モード1 常時録画設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
画質	OFF					P44
	低					
	標準					
	中高					
	高					
録画間隔	超高					P44
	秒 30					
	秒 20					
	秒 15					
	秒 10					
	秒 6					
	秒 3					
	秒 2					
	1 秒					
	2 秒					
	3 秒					
	5 秒					
	10 秒					
	30 秒					

○モード1 アラーム / モーション録画設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
画質	OFF					P45
	低					
	標準					
	中高					
	高					
ポスト時間	超高					P45
	1 枚					
	1 秒					
	2 秒					
	3 秒					
	4 秒					
	5 秒					
	7 秒					
	10 秒					
	15 秒					
	20 秒					
	30 秒					
	60 秒					
2 分						
5 分						
8 分						
10 分						
録画間隔	秒 30					P45
	秒 20					
	秒 15					
	秒 10					
	秒 6					
	秒 3					
	秒 2					
	1 秒					
	2 秒					
	3 秒					
	5 秒					
10 秒						
30 秒						
マルチ	なし 設定					P45

はじめに

準備

操作

設定

その他

ネットワーク

○モード1プリ録画設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
画質	OFF					P46
	低					
	標準					
	中高					
	高					
録画間隔	超高					P46
	秒 30					
	秒 20					
	秒 15					
	秒 10					
	秒 6					
	秒 3					
	秒 2					
	1 秒					
	2 秒					
	3 秒					
	5 秒					
	10 秒					
30 秒						
枚数	0 ~ 100 枚 (全 CH 合計 400 枚)					P46

○モード2常時録画設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
画質	OFF					P44
	低					
	標準					
	中高					
	高					
録画間隔	超高					P44
	秒 30					
	秒 20					
	秒 15					
	秒 10					
	秒 6					
	秒 3					
	秒 2					
	1 秒					
	2 秒					
	3 秒					
	5 秒					
	10 秒					
30 秒						

○モード2アラーム / モーション録画設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
画質	OFF					P45
	低					
	標準					
	中高					
	高					
ポスト時間	超高					P45
	1枚					
	1秒					
	2秒					
	3秒					
	4秒					
	5秒					
	7秒					
	10秒					
	15秒					
	20秒					
	30秒					
	60秒					
録画間隔	2分					P45
	5分					
	8分					
	10分					
	秒 30					
	秒 20					
	秒 15					
	秒 10					
	秒 6					
	秒 3					
	秒 2					
	1秒					
	2秒					
マルチ	3秒					P45
	5秒					
	10秒					
	30秒					
	なし					
	設定					

はじめに

準備

操作

設定

その他

ネットワーク

○モード2 プリ録画設定

	選択項目	チャンネル (CH)				参照ページ
		1	2	3	4	
画質	OFF					P46
	低					
	標準					
	中高					
	超高					
録画間隔	秒 30					P46
	秒 20					
	秒 15					
	秒 10					
	秒 6					
	秒 3					
	秒 2					
	1 秒					
	2 秒					
	3 秒					
	5 秒					
	10 秒					
	30 秒					
枚数	0 ~ 100 枚 (全 CH 合計 400 枚)					P46

○音声記録設定

	選択項目	参照ページ
音声記録	OFF	P47
	ON	

○録画時間設定

	選択項目	タイマー (番号の大きな方が優先)						参照ページ
		1	2	3	4	5	6	
開始時間	00:00 ~ 23:55							P48
	24:00 は 24 時間 5 分単位	24:00						
終了時間	00:00 ~ 23:55							P48
	5 分単位	00:00						
録画パターン	モード1							P48
	モード2							
曜日設定	日							P48
	月							
	火							
	水							
	木							
	金							
	土							
	休 (休日表にて設定)							

○ネットワーク

		選択項目			参照ページ
ネットワーク		しない			P50
		する	操作優先度	LAN 優先 本体優先	
接続設定	IP アドレス	192.168.001.099			P51
	サブネットマスク	255.255.255.0			
	ゲートウェイ	000.000.000.000			
	接続ポート	00080			
Web ユーザー設定	管理者のユーザー名/パスワード	user1/1111			P51
	利用者のユーザー名/パスワード	user2/0000			
時計自動補正 (NTP)	NTP 機能	使用しない			P53
		使用する			
	NTP サーバーアドレス	000.000.000.000			

○モーションセンサ設定

	選択項目	チャンネル				参照ページ
		1	2	3	4	
感度	OFF					P54
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
形状	エッジ					P55
	エッジ +R					
抑止時間	なし					P55
	5 秒					
	10 秒					
	15 秒					
	20 秒					
	30 秒					
	45 秒					
	60 秒					
	90 秒					
	120 秒					
アラーム出力	なし					P56
	あり					
ブザー設定	なし					P56
	あり					

○入力端子設定

	選択項目	入力								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
入力種類	なし									P56
	CH1 アラーム									
	CH2 アラーム									
	CH3 アラーム									
	CH4 アラーム									
	パニック									
	警戒									
	分リセット									
	秒リセット									
	マルチ									
	画面切替									
接点	N. O.									P56
	N. C.									
形式	エッジ									P57
	レベル									
	エッジ+R									
	レベル+R									

	選択項目	入力								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
抑止時間	なし									P57
	5 秒									
	10 秒									
	15 秒									
	20 秒									
	30 秒									
	45 秒									
	60 秒									
	90 秒									
	120 秒									
リミット時間	無限									P57
	5 分									
	10 分									
	20 分									
	30 分									
	60 分									
アラーム出力	なし									P57
	あり									
ブザー設定	なし									P57
	あり									

○出力端子設定

	選択項目	出力			参照ページ
		1	2	3	
出力条件	使わない				P60
	警告				
	致命的エラー				
	全エラー				
	録画モード				
	再生モード				
	通電				
	録画忘れ				
	実録画				
	温度異常				
タイミング	発生時出力				P60
	発生時以外出力				
出力開始時間 (録画設定忘れ時のみ)	即時				P60
	1 分後				
	5 分後				
	10 分後				
	20 分後				
	30 分後				
異常温度基準 (温度異常時のみ)	高/低温時				P60
	高温時のみ				
	低温時のみ				

	選択項目	1	2	3	4	参照ページ
アラーム出力 タイミング	なし					P61
	あり					
	録画モード中全て					
	実録画中のみ					

○名称設定

		半角20文字（全角10文字）まで	参照ページ
名称	本体		P61 ~ P65
	CH1		
	CH2		
	CH3		
	CH4		

	選択項目	参照ページ
名称表示 本体名	なし	P63
	あり	
名称表示 CH名	なし	P63
	あり	

○システム

		選択項目	参照ページ						
上書き		なし 常時	P65						
監視開始遅延時間		なし 1分 2分 5分 10分							
再生系設定	常時録画リストアップ 間隔	5分 10分 20分 30分 1時間 2時間		P66					
		自動再生位置			録画開始 最新イベント	P67			
表示設定		外部モニター表示			本体モニターと同じ 常時ライブ映像表示 ライブ時のみ本体モニターと同じ	OSD表示あり OSD表示なし OSD表示あり OSD表示なし	P68		
			パニック時表示設定		なし あり	P69			
エラー設定		エラーブザー時間	なし 10秒 30秒 1分 5分 無限		P70				
	キー入力なし 警告時間		なし 1分 2分 5分 10分 20分	P71					
			録画時アラーム なし警告			なし 30分 1時間 4時間 8時間 12時間 1日 2日	P72		
						SMART機能		なし あり	P72

休日表	最大21日分								参照ページ
									P73

管理者パスワード	1～4の組み合わせで 8桁まで		P74
利用者パスワード	1～4の組み合わせで 8桁まで		P74

○ディスク

	選択項目	参照ページ
HDD 利用率表示	なし	P75
	あり	

○その他

	選択項目	参照ページ
背景色設定	1	P78
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	

■ 警告の種類

番号	内容	画面表示	汎用出力	対処法
8101	ハードディスクの空き容量が10%以下になった。(上書き禁止設定時)	(表示無し)	○	(何もする必要なし)
8103	設定時間以上の間アラーム入力やモーションセンサの検知が発生していない。(録画時アラーム無し警告設定時)	録画中、設定時間以上アラームが発報していません。アラーム機器もしくは配線を確認してください。(このメッセージは30秒で消えます。)	○	アラームが設定時間以上来ていません。アラーム機器が故障している可能性がありますので、確認してください。
8B01	ハードディスクが劣化してきた。	HDD が劣化しています。しばらくは使えますが早期のHDD 交換をお勧めします。	○	HDD の劣化が進んでいますので、販売店に連絡の上、早期の交換をお勧めします。
8B03	ハードディスクの周囲温度が異常になった。	HDD 温度が異常になっています。室温が低すぎ/高すぎないか、本体通気口が塞がれていないか確認してください。	○	周辺温度が製品の使用温度範囲(5~40°C)を越えています。温度が範囲を超えないよう対策してください。
8B04	ハードディスクに衝撃が加えられた。	HDD に衝撃が加えられた痕跡があります。HDD は振動・衝撃で急激に劣化します。振動・衝撃を与えないようにしてください。	○	製品に対して振動や衝撃が加えられたことを検出しました。通常1回では故障することはありませんが、続けて出る場合は設置環境に問題がありますので、確認してください。
8B05	ハードディスクの交換時期が近づいている。	このまま利用するとエラーが発生する可能性もあります。このHDD はすでに寿命が来ています。出来るだけ早く交換してください。	○	HDD の劣化が進んでいますので、販売店に連絡の上、早期の交換をお勧めします。
8401	SDの空き容量が不足している。	このSDの残り容量では画像データ全体は入りきりません。中断は[検索]を押してください。分割出力は[決定]を押してください。SD 空容量: XM バイト 画像合計サイズ: XM バイト / X 枚	×	SD の画像などをコピーしようとしていますが入りきるだけの空き容量がありません。別のSD を用意してください。
8A01	設定した IP アドレスが既にほかの機器で使用されている。	設定した IP はすでに使われています。本機の IP を変更するか、重複している機器の IP を変更してください。	×	ネットワーク設定を確認し、再設定して下さい。
8A02	無効なネットワーク設定になっている。	無効なネットワーク接続設定です。接続設定の値を確認してください	×	ネットワーク設定を確認し、再設定して下さい。
8A03	時計合わせ用の NTP サーバーに接続できない。	NTP の時刻同期に失敗しました	○	NTP サーバーのアドレスやネットワークの配線、ルーター等の設定を確認して下さい。
8A04	現在使用している IP アドレスが他の機器で使用されている。	ネットワーク上に本機と同じ IP を検知しました IP アドレスを変更してください ネットワークを一時的に無効にします。	○	ネットワーク設定を確認し、再設定して下さい。

■ 致命的エラーの種類

番号	内容	画面表示	汎用出力	対処法
9102	ハードディスクの空き容量が無くなった。	ディスク一杯です。これ以上録画出来ません。追記するには上書きなしを解除するかHDDをフォーマットしてください。(パニックは記録出来ず)	○	解除するには、上書き禁止を解除するか、HDDのフォーマットを行ってください。
9103				
9401	SDを認識出来ない。	SDが認識出来ません。SDが正しく挿入されているか、書き込み禁止になっていないか確認してください。	×	正しく挿入されているかを確認し、それでもだめな場合はSDカード自体の異常も考えられますので、別のカードに換えてみてください。
9402	SDが正常にフォーマットされていない。	SDのフォーマットが異常です。再フォーマットして使用してください。	×	SDカードを本体で再フォーマットしてみてください。
9403	SDからデータ読み込み時にエラーが発生した。	SDが正常に読めません。SDが寿命に達している可能性があります。SDを交換してみてください。	×	SDカードを再フォーマットしてみるか、別のカードに換えてみてください。
9404	SDへのデータ書き込み時にエラーが発生した。	SDに正常に書き込めません。SDが寿命に達している可能性があります。SDを交換してみてください。	×	SDカードを再フォーマットしてみるか、別のカードに換えてみてください。
9406	SD上に必要ファイルが見つからない。	SD上に必要ファイルが見つかりません。SDの内容を確認してください。	×	SDカードの内容を確認してください。
9301	ハードディスクへのデータ書き込み時にエラーが発生した。	HDDに書き込めません。一度電源を切り切りして再起動し、それでも復旧しない場合は販売店にご連絡ください。	○	一度電源を切り切りして再起動し、それでも復旧しない場合は販売店にご連絡ください。
9302	ハードディスクからデータ読み込み時にエラーが発生した。	HDDが読めません。一度電源を切り切りして再起動し、それでも復旧しない場合は販売店にご連絡ください。	○	一度電源を切り切りして再起動し、それでも復旧しない場合は販売店にご連絡ください。
9F01	カメラ信号がなくなった。(カメラ信号無しエラー設定時)	カメラ信号なし	○	映像入力端子の映像ケーブルやカメラ側の映像ケーブル、電源ケーブルの接続を確認してください。
9F02	ファンが動作していない。	ファンが動作していません。販売店にご連絡ください。	○	ファンが壊れている可能性があります。販売店にご連絡して交換して下さい。

■ 常時録画モードでの最小録画時間表（日数+時間）

下表は、ハードディスクに画像を記録する際の録画可能時間を示した参考値の表です。

注1) 録画時間は、録画する画像によって変動することがあります。

注2) 網がけ部 () の設定は録画間隔設定値に関わらず、合計が秒 60 枚になるように自動的に録画間隔が調整されます。そのため、録画可能時間が変化しません。

注3) 複数のカメラを設置しても、カメラによって異なる「録画間隔」を設定した場合、下記の録画可能時間と異なる場合があります。

		カメラ1台 音声あり				
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	13 日 4 時間	9 日 19 時間	8 日 21 時間	8 日 11 時間	7 日 19 時間
	秒 20	19 日 9 時間	14 日 12 時間	13 日 4 時間	12 日 14 時間	11 日 13 時間
	秒 15	25 日 9 時間	19 日 1 時間	17 日 8 時間	16 日 14 時間	15 日 6 時間
	秒 10	36 日 19 時間	27 日 21 時間	25 日 9 時間	24 日 7 時間	22 日 10 時間
	秒 6	57 日 10 時間	44 日 4 時間	40 日 10 時間	38 日 19 時間	35 日 21 時間
	秒 3	99 日 0 時間	78 日 16 時間	72 日 16 時間	70 日 0 時間	65 日 6 時間
	秒 2	130 日 12 時間	106 日 8 時間	99 日 0 時間	95 日 17 時間	89 日 17 時間
	1 秒	191 日 10 時間	164 日 2 時間	155 日 5 時間	151 日 3 時間	143 日 13 時間
	2 秒	249 日 17 時間	225 日 5 時間	216 日 17 時間	212 日 17 時間	205 日 2 時間
	3 秒	277 日 21 時間	257 日 4 時間	249 日 17 時間	246 日 3 時間	239 日 7 時間
	5 秒	305 日 12 時間	290 日 1 時間	284 日 7 時間	281 日 12 時間	276 日 2 時間
10 秒	330 日 2 時間	320 日 21 時間	317 日 7 時間	315 日 13 時間	312 日 3 時間	
30 秒	348 日 19 時間	345 日 7 時間	343 日 21 時間	343 日 5 時間	341 日 20 時間	

		カメラ1台 音声なし				
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	13 日 16 時間	10 日 1 時間	9 日 2 時間	8 日 16 時間	7 日 23 時間
	秒 20	20 日 12 時間	15 日 2 時間	13 日 16 時間	13 日 1 時間	11 日 23 時間
	秒 15	27 日 8 時間	20 日 3 時間	18 日 5 時間	17 日 9 時間	15 日 22 時間
	秒 10	41 日 0 時間	30 日 5 時間	27 日 8 時間	26 日 2 時間	23 日 22 時間
	秒 6	68 日 8 時間	50 日 9 時間	45 日 13 時間	43 日 12 時間	39 日 21 時間
	秒 3	136 日 17 時間	100 日 18 時間	91 日 3 時間	87 日 0 時間	79 日 18 時間
	秒 2	205 日 2 時間	151 日 3 時間	136 日 17 時間	130 日 12 時間	119 日 15 時間
	1 秒	410 日 5 時間	302 日 6 時間	273 日 11 時間	261 日 1 時間	239 日 7 時間
	2 秒	820 日 11 時間	604 日 13 時間	546 日 23 時間	522 日 2 時間	478 日 14 時間
	3 秒	1230 日 21 時間	906 日 21 時間	820 日 11 時間	783 日 5 時間	717 日 22 時間
	5 秒	2051 日 22 時間	1511 日 19 時間	1367 日 11 時間	1305 日 7 時間	1196 日 12 時間
10 秒	4105 日 8 時間	3024 日 10 時間	2734 日 22 時間	2610 日 15 時間	2393 日 1 時間	
30 秒	12324 日 20 時間	9073 日 6 時間	8204 日 20 時間	7835 日 10 時間	7179 日 5 時間	

カメラ2台 音声あり						
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	6日 16時間	4日 23時間	4日 11時間	4日 7時間	3日 22時間
	秒 20	9日 23時間	7日 9時間	6日 16時間	6日 9時間	5日 21時間
	秒 15	13日 4時間	9日 19時間	8日 21時間	8日 11時間	7日 19時間
	秒 10	19日 9時間	14日 12時間	13日 4時間	12日 14時間	11日 13時間
	秒 6	31日 5時間	23日 12時間	21日 10時間	20日 12時間	18日 21時間
	秒 3	57日 10時間	44日 4時間	40日 10時間	38日 19時間	35日 21時間
	秒 2	79日 18時間	62日 10時間	57日 10時間	55日 5時間	51日 6時間
	1秒	130日 12時間	106日 8時間	99日 0時間	95日 17時間	89日 17時間
	2秒	191日 10時間	164日 2時間	155日 5時間	151日 3時間	143日 13時間
	3秒	226日 17時間	200日 8時間	191日 10時間	187日 6時間	179日 11時間
	5秒	265日 21時間	243日 8時間	235日 9時間	231日 14時間	224日 8時間
	10秒	305日 12時間	290日 1時間	284日 7時間	281日 12時間	276日 2時間
30秒	339日 4時間	332日 15時間	330日 1時間	328日 19時間	326日 7時間	

カメラ2台 音声なし						
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	6日 19時間	5日 0時間	4日 13時間	4日 8時間	3日 23時間
	秒 20	10日 6時間	7日 13時間	6日 19時間	6日 12時間	5日 23時間
	秒 15	13日 16時間	10日 1時間	9日 2時間	8日 16時間	7日 23時間
	秒 10	20日 12時間	15日 2時間	13日 16時間	13日 1時間	11日 23時間
	秒 6	34日 4時間	25日 4時間	22日 18時間	21日 18時間	19日 22時間
	秒 3	68日 8時間	50日 9時間	45日 13時間	43日 12時間	39日 21時間
	秒 2	102日 13時間	75日 13時間	68日 8時間	65日 6時間	59日 19時間
	1秒	205日 2時間	151日 3時間	136日 17時間	130日 12時間	119日 15時間
	2秒	410日 5時間	302日 6時間	273日 11時間	261日 1時間	239日 7時間
	3秒	615日 10時間	453日 10時間	410日 5時間	391日 14時間	358日 22時間
	5秒	1025日 18時間	755日 19時間	683日 17時間	652日 15時間	598日 6時間
	10秒	2051日 22時間	1511日 19時間	1367日 11時間	1305日 7時間	1196日 12時間
30秒	6162日 10時間	4536日 15時間	4102日 10時間	3917日 17時間	3589日 14時間	

カメラ3台 音声あり						
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	6日 16時間	4日 23時間	4日 11時間	4日 7時間	3日 22時間
	秒 20	8日 0時間	5日 22時間	5日 9時間	5日 3時間	4日 17時間
	秒 15	8日 21時間	6日 14時間	5日 23時間	5日 16時間	5日 5時間
	秒 10	13日 4時間	9日 19時間	8日 21時間	8日 11時間	7日 19時間
	秒 6	21日 10時間	16日 0時間	14日 13時間	13日 22時間	12日 19時間
	秒 3	40日 10時間	30日 16時間	28日 0時間	26日 19時間	24日 18時間
	秒 2	57日 10時間	44日 4時間	40日 10時間	38日 19時間	35日 21時間
	1秒	99日 0時間	78日 16時間	72日 16時間	70日 0時間	65日 6時間
	2秒	155日 5時間	129日 1時間	120日 21時間	117日 5時間	110日 10時間
	3秒	191日 10時間	164日 2時間	155日 5時間	151日 3時間	143日 13時間
	5秒	235日 9時間	209日 14時間	200日 19時間	196日 16時間	188日 22時間
	10秒	284日 8時間	264日 16時間	257日 13時間	254日 3時間	247日 13時間
30秒	330日 2時間	320日 21時間	317日 7時間	315日 14時間	312日 3時間	

カメラ3台 音声なし						
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	6日 19時間	5日 0時間	4日 13時間	4日 8時間	3日 23時間
	秒 20	8日 4時間	6日 1時間	5日 11時間	5日 5時間	4日 18時間
	秒 15	9日 2時間	6日 17時間	6日 1時間	5日 19時間	5日 7時間
	秒 10	13日 16時間	10日 1時間	9日 2時間	8日 16時間	7日 23時間
	秒 6	22日 18時間	16日 18時間	15日 4時間	14日 12時間	13日 7時間
	秒 3	45日 13時間	33日 13時間	30日 9時間	29日 0時間	26日 14時間
	秒 2	68日 8時間	50日 9時間	45日 13時間	43日 12時間	39日 21時間
	1秒	136日 17時間	100日 18時間	91日 3時間	87日 0時間	79日 18時間
	2秒	273日 11時間	201日 12時間	182日 7時間	174日 0時間	159日 12時間
	3秒	410日 7時間	302日 7時間	273日 11時間	261日 1時間	239日 7時間
	5秒	683日 19時間	503日 20時間	455日 19時間	435日 2時間	398日 20時間
	10秒	1367日 19時間	1007日 18時間	911日 15時間	870日 5時間	797日 16時間
30秒	4108日 6時間	3024日 10時間	2734日 22時間	2611日 19時間	2393日 1時間	

はじめに

準備

操作

設定

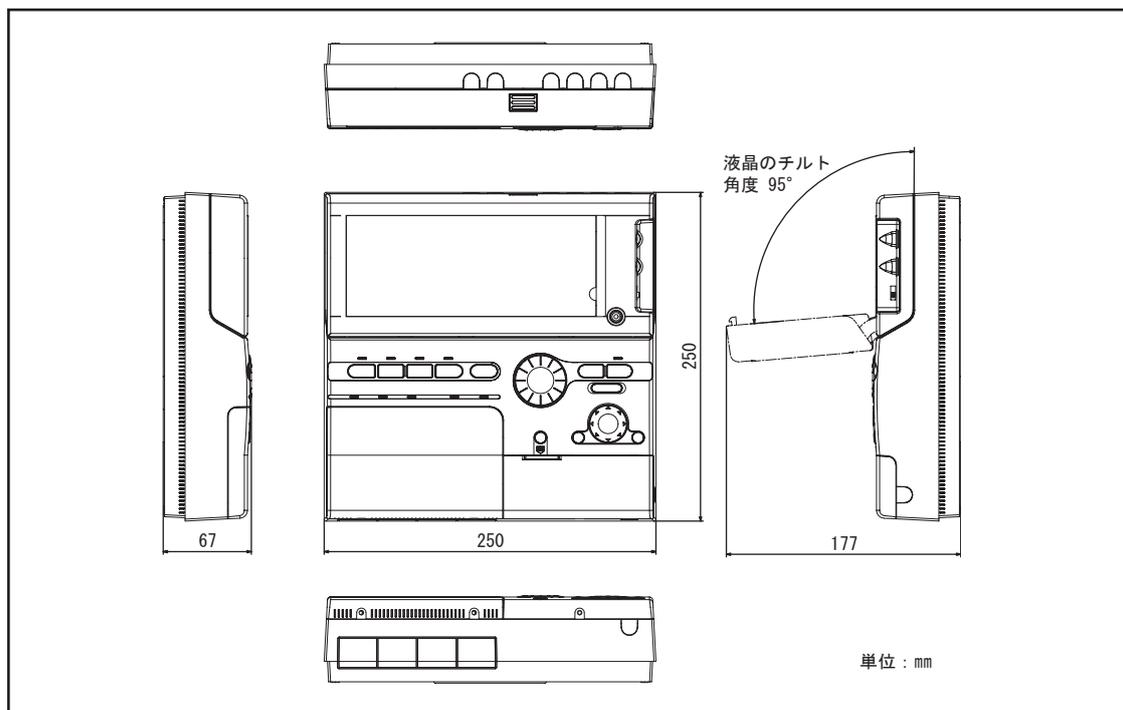
その他

ネットワーク

カメラ4台 音声あり						
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	6日 16時間	4日 23時間	4日 11時間	4日 7時間	3日 22時間
	秒 20	6日 16時間	4日 23時間	4日 11時間	4日 7時間	3日 22時間
	秒 15	6日 16時間	4日 23時間	4日 11時間	4日 7時間	3日 22時間
	秒 10	9日 23時間	7日 9時間	6日 16時間	6日 9時間	5日 21時間
	秒 6	16日 7時間	12日 3時間	11日 0時間	10日 13時間	9日 16時間
	秒 3	31日 5時間	23日 12時間	21日 10時間	20日 12時間	18日 21時間
	秒 2	44日 20時間	34日 4時間	31日 5時間	29日 21時間	27日 14時間
	1秒	79日 18時間	62日 10時間	57日 10時間	55日 5時間	51日 6時間
	2秒	130日 12時間	106日 8時間	99日 0時間	95日 17時間	89日 17時間
	3秒	165日 16時間	138日 22時間	130日 12時間	126日 16時間	119日 15時間
	5秒	211日 3時間	184日 2時間	175日 2時間	170日 22時間	163日 3時間
	10秒	265日 21時間	243日 8時間	235日 9時間	231日 14時間	224日 8時間
30秒	321日 12時間	309日 21時間	305日 11時間	303日 8時間	299日 3時間	

カメラ4台 音声なし						
画質		低	標準	中高	高	超高
録画間隔	秒 30	6日 19時間	5日 0時間	4日 13時間	4日 8時間	3日 23時間
	秒 20	6日 19時間	5日 0時間	4日 13時間	4日 8時間	3日 23時間
	秒 15	6日 19時間	5日 0時間	4日 13時間	4日 8時間	3日 23時間
	秒 10	10日 6時間	7日 13時間	6日 19時間	6日 12時間	5日 23時間
	秒 6	17日 2時間	12日 14時間	11日 9時間	10日 20時間	9日 23時間
	秒 3	34日 4時間	25日 4時間	22日 18時間	21日 18時間	19日 22時間
	秒 2	51日 6時間	37日 18時間	34日 4時間	32日 15時間	29日 21時間
	1秒	102日 13時間	75日 13時間	68日 8時間	65日 6時間	59日 19時間
	2秒	205日 2時間	151日 3時間	136日 17時間	130日 12時間	119日 15時間
	3秒	307日 17時間	226日 17時間	205日 2時間	195日 19時間	179日 11時間
	5秒	512日 20時間	377日 21時間	341日 20時間	326日 7時間	299日 3時間
	10秒	1025日 18時間	755日 19時間	683日 17時間	652日 15時間	598日 6時間
30秒	3081日 5時間	2268日 7時間	2051日 4時間	1958日 20時間	1794日 19時間	

■外形寸法図



本機器では、LAN、インターネットに接続したパソコンから、ライブ画像の表示、記録画像の検索、再生などが可能です。ネットワーク機能をご使用になる前に、この「ネットワーク接続編」をよくお読みください。

■ネットワーク機能の特長

- ・最大5台のコンピュータが同時接続できます。
- ・ユーザーの操作権限は2段階で設定できます。接続の際にはパスワードでチェックを行います。
- ・レコーダーとネットワークの操作は簡単に切り替えることができます。
- ・コンピュータの表示画面を切り替えたり、再生などの操作を行っても、レコーダーのライブ映像には影響を与えません。

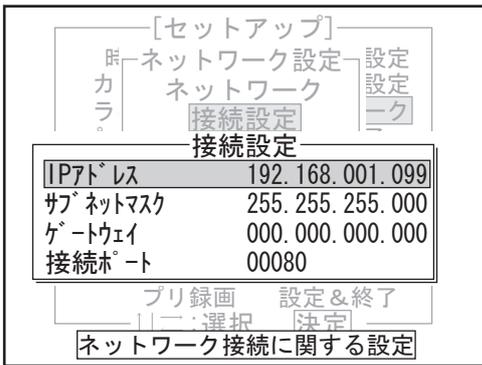
■動作環境

- ・ブラウザ：IE6以上、FireFoxV3以上
- ・Java アプレット：JREバージョン6以上
- ・CPU：Pentium® IV (2GHz) 以上
- ・RAM：256MB 以上（512MB 以上を推奨）
- ・対応 OS：Windows® 2000/XP/Vista
- ・対応機種：上記の OS が動作する PC/AT 互換機
- ・ディスプレイ：XGA、カラー 65536 色以上

著作権について

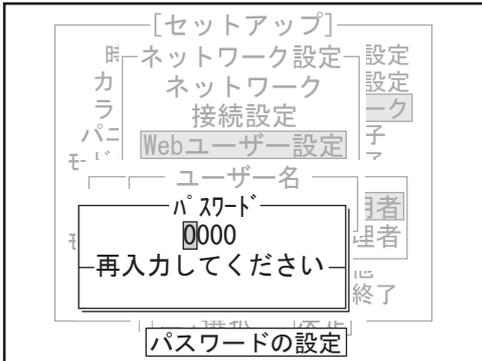
- ・ Windows、Internet Explorer は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標もしくは商標登録です。
- ・ Pentium は米国およびその他の国における米国 Intel Corporation とその系列会社の商標もしくは商標登録です。
- ・ IBM ならびに IBM PC/AT は、米国 IBM International Business Machines Corporation の商標です。
- ・ Java 及びすべての Java 関連の商標及びロゴは、米国及びその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ／接続ポートの設定



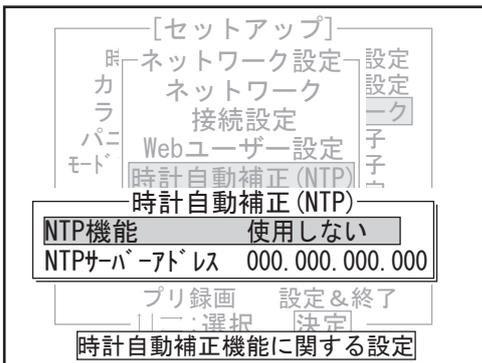
それぞれ、「0～255」の範囲で設定します。
ネットワーク設定に必要な IP アドレスやサブネットマスクなどはネットワーク管理者にご相談ください。
接続ポートは、通常は「00080」に設定してください。

ユーザー名とパスワードの設定



操作権限に応じて、独自のパスワードを設定できます。

時計自動補正機能 (NTP) の設定

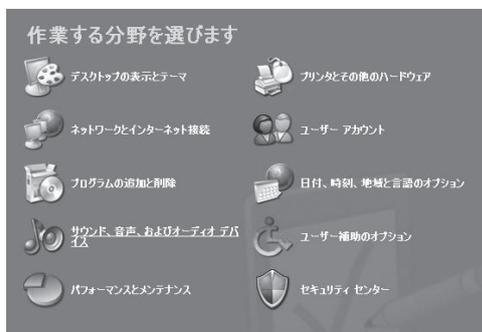


時計自動補正機能 (NTP) を使用する場合は、「NTP 機能」を「使用する」に設定してください。
「使用する」に設定した後、「更新時刻設定」で自動更新させる時刻を設定し、「NTP サーバーアドレス」で NTP サーバーアドレスを設定してください。

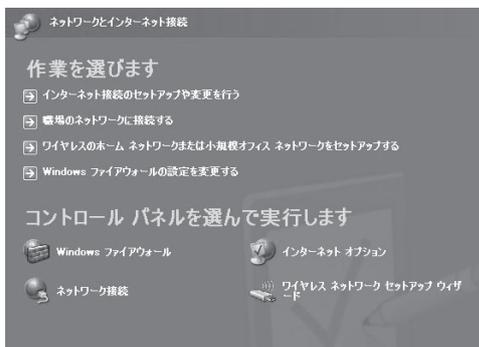
●パソコンの設定

ご使用になるコンピュータに対し、それぞれの OS に応じた IP アドレスを設定してください。

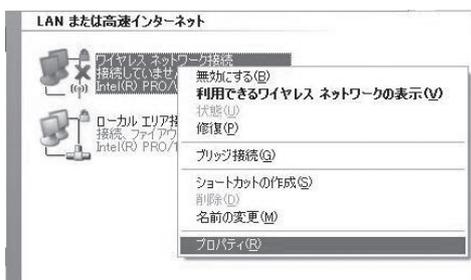
以下の設定例は、Microsoft® Windows XP の場合です。



- 1 [コントロールパネル] の [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」の画面が表示されます。



- 2 [ネットワーク接続] をクリックします。
「ネットワーク接続」の画面が表示されます。
使用する LAN カード（イーサネットアダプタ）の
設定が [LAN または高速インターネット] の欄に
表示されます。

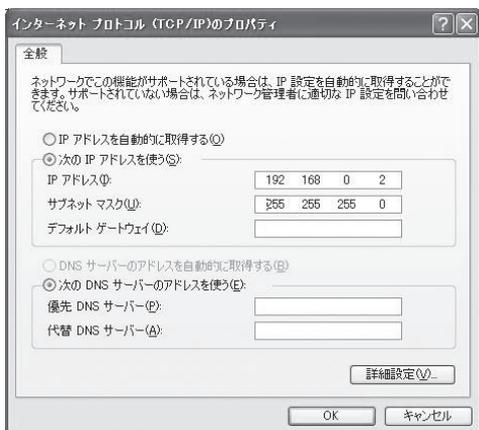


- 3 使用する LAN カード（イーサネットアダプタ）の
設定を右クリックし、メニューから [プロパティ]
を選択します。
[ローカル エリア接続のプロパティ] の [全般]
タブが表示されます。



- 4 [この接続は次の項目を使用します] の一覧から
“インターネットプロトコル (TCP/IP)” を選択し
ます。
“インターネットプロトコル (TCP/IP)” にチェッ
クが入っていることを確認してください。チェッ
クが入っていない場合はチェックを入れてください。

- 5 [プロパティ] をクリックします。
[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパ
ティ] の [全般] タブが表示されます。



- 6 [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレ
スとサブネットマスクを入力します。

- 7 設定内容を確認し [OK] をクリックする TCP/IP の
設定を完了します。表示されているダイアログを
すべて閉じてください。

11-3 ログインする

本体とパソコンの設定が終わったら、パソコン上で Web ブラウザを起動してください。対応ブラウザは Microsoft® Internet Explorer 6 以上です。

以下の手順でパソコンと本体を接続すると、ネットワーク操作画面が表示されます。

アドレス (A)

- 1 ブラウザのアドレスバーに接続用の URL を入力します。

http:// の後に「接続設定」で設定した「IP アドレス」を入力して、[Enter] キーを押してください。認証チェックのダイアログが表示されます。

メモ ポートを初期値の“80”以外に設定した場合は、IP アドレスの後に“:(コロン)”とポート番号を付け加えてください。

<ポートを“81”に設定した場合の入力例>

http://192.168.0.2:81/



- 2 ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。

利用者のユーザー名でログインすると設定メニューには入れません。また、管理者のユーザー名では同時に1台のパソコンからしか入れません。ユーザー名とパスワードを正しく入力すると、ネットワーク操作画面が表示されます。

メモ ・ユーザー名とパスワードの入力後に [パスワードを記憶する] にチェックを入れておくと、次回以降は接続時のパスワードの入力を省略できます。

- ・パスワードの入力を3回続けて間違えると、エラーメッセージが表示され、パスワードを入力することができなくなります。

再度入力するには、手順1からやり直してください。

- ・管理者では1名、利用者では最大5名が同時に接続できます。ただし、管理者で1名接続している場合の利用者での同時接続は最大4名になります。

11-4 ライブ画像を見る / 録画する

ネットワーク接続を通して、本体に接続されたカメラからの画像を見ることができます。
また、ネットワーク機能で表示している画像を本体のハードディスクに録画することができます。



●画面の構成

	名称	内容
①	接続状態表示タブ	クリックすると、ライブ画面または再生画面が表示されます。ネットワーク接続されていない場合は、タブの名称は「非接続」と表示されています。
②	接続パネル	ネットワークの接続と切断を行います。
③	画面表示パネル	画面表示部の表示方法を選択することができます。ネットワーク接続では、4分割画面またはチャンネル1～4を選択できます。
④	本体録画パネル	現在表示している画像の録画と停止を行います。

●ライブ画像を見る

- 1 接続状態表示タブをクリックします。
- 2 接続状態表示タブが「非接続」と表示されている場合は、[] をクリックします。接続状態表示タブが「ライブ」に変わり、ライブ画像が表示されます。初期状態では4分割画面のライブ画像が表示されます。
- 3 見たいチャンネルまたは表示方法を変更するときは、画面表示パネルから操作します。
 : 4分割画面
 : チャンネル1
 : チャンネル2
 : チャンネル3
 : チャンネル4
- 4 [] をクリックします。ライブ画像の表示が終了します。接続状態表示タブは「非接続」に変わります。

●本体のハードディスクに録画する

- 1 ライブ表示中に、[] をクリックします。録画時間設定により録画または監視状態になり、本体での録画が始まります。
- 2 [] をクリックして、録画を終了します。

11-5 記録した画像を再生する / コピーする

本体のハードディスクに記録されている画像を再生したり、ネットワーク機能で表示している画像をパソコンにコピーすることができます。(ライブ表示している画像をコピーすることはできません。)



●画面の構成

	名称	内容
①	接続状態表示タブ	クリックすると、ライブ画面または再生画面が表示されます。ネットワーク接続されていない場合は、タブの名称は「非接続」と表示されています。
②	接続パネル	ネットワークの接続と切断を行います。
③	画面表示パネル	画面表示部の表示方法を選択することができます。ネットワーク接続では、4分割画面またはチャンネル1～4を選択できます。
④	再生パネル	再生の方向や速度を調整することができます。
⑤	コピーパネル	静止画または動画をコピーします。

●再生する

- 1 接続状態表示タブをクリックします。
- 2 接続状態表示タブが「非接続」と表示されている場合は、[接続] をクリックします。接続状態表示タブが「ライブ」に変わり、ライブ画像が表示されます。初期状態では4分割画面のライブ画像が表示されます。
- 3 画面表示パネルから、見たいチャンネルまたは表示方法を選択します。
 - [1] : チャンネル 1 [2] : チャンネル 2
 - [3] : チャンネル 3 [4] : チャンネル 4

- 4 再生パネルの [▶] をクリックします。接続状態表示タブが「再生」に変わり、再生画像が表示されます。
- 5 再生の方向や速度などを変更するときは、再生パネルから操作します。
 - [▶] / [■] : 順再生 / 一時停止
 - [◀] / [▶] : 高速逆再生 / 高速順再生
 - [◀◀] / [▶▶] : 前イベント / 次イベント (再生中) コマ戻し / コマ送り (一時停止中)

メモ ・ [高速逆再生] / [高速順再生] ボタンは、押すたびに2倍、5倍、10倍、20倍、50倍と速くなります。
 ・ 高速再生や一時停止を終了し、通常の再生に戻るときは [再生] ボタンを押してください。

- 6 再生パネルの [■] をクリックします。再生が終了し、ライブ画像の表示に戻ります。接続状態表示タブは「ライブ」に変わります。

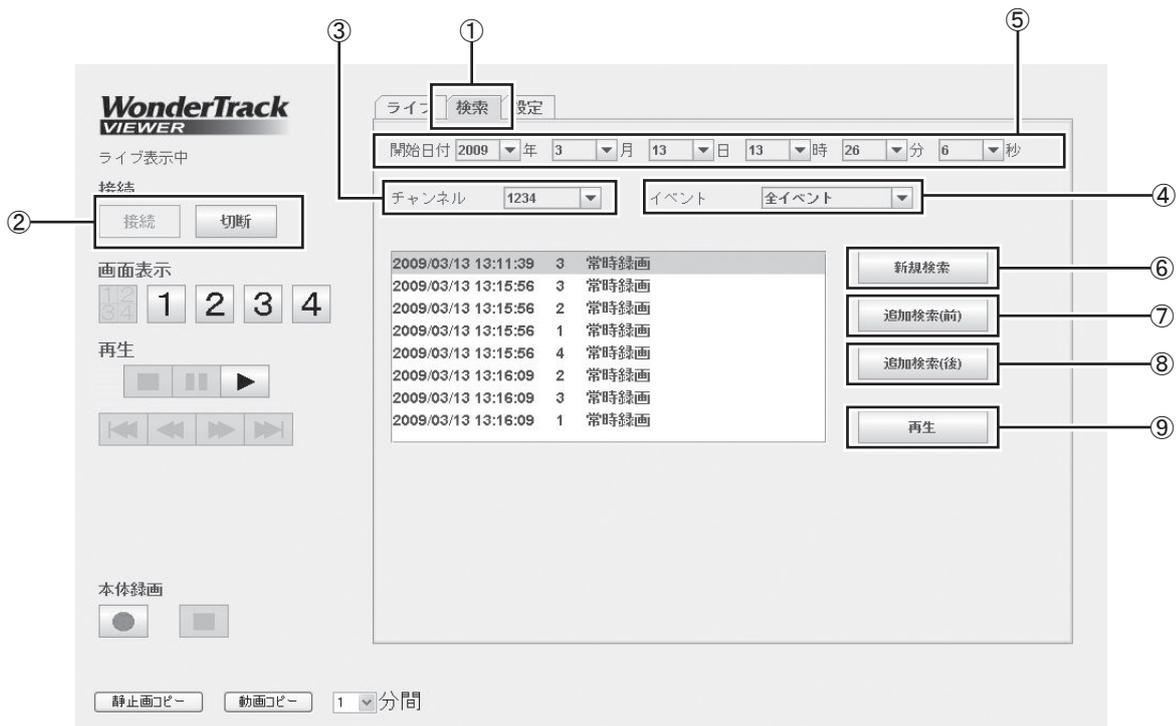
●静止画または動画をコピーする

- 1 再生中、[■] を押して一時停止させます。
- 2 [静止画コピー] または [動画コピー] をクリックします。コピーが始まります。動画をコピーする場合は、コピーする時間をボタンの右にあるボックスから選択しておいてください。

メモ 4分割画面表示ではコピーできません。コピーする場合はフル画面表示に切り替えてください。

11-6 記録した画像を検索する

本体のハードディスクに記録されている画像から、日付、時刻、チャンネルを指定して検索できます。



●画面の構成

	名称	内容
①	「検索」タブ	クリックすると、検索画面に切り替わります。
②	接続パネル	ネットワークの接続と切断を行います。
③	「チャンネル」リスト	検索するチャンネルを選択することができます。リストの右にある矢印をクリックすると、選択できるチャンネルのリストが表示されます。
④	「イベント」リスト	検索するイベントを選択することができます。リストの右にある矢印をクリックすると、選択できるイベントのリストが表示されます。
⑤	「開始日付」リスト	検索する日付と時刻を選択することができます。それぞれのリストの右にある矢印をクリックすると、選択項目が表示されます。
⑥	[新規検索] ボタン	クリックすると、検索が始まります。
⑦	[追加検索 (前)] ボタン	クリックすると、表示された検索結果よりも前の時間を検索します。
⑧	[追加検索 (後)] ボタン	クリックすると、表示された検索結果よりも後の時間を検索します。
⑨	[再生] ボタン	クリックすると、再生が始まります。

●操作する

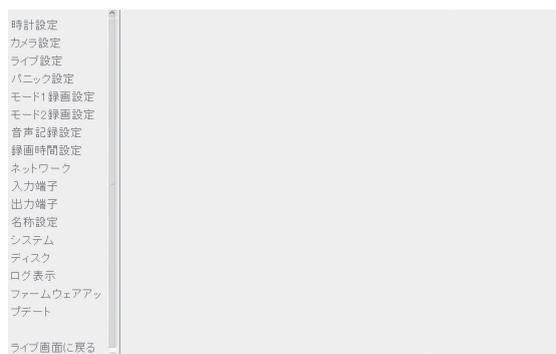
- 1 接続状態表示タブが「非接続」と表示されている場合は、[接続] をクリックします。
- 2 「検索」タブをクリックします。検索画面が表示されます。
- 3 「チャンネル」リストから、検索するチャンネルを選択します。
[1234] : すべてのチャンネル
[1---] : チャンネル 1
[-2--] : チャンネル 2
[--3-] : チャンネル 3
[---4] : チャンネル 4
- 4 「イベント」リストから、検索するイベントを選択します。
- 5 「開始日付」リストから、検索する日付と時刻を選択します。
- 6 [新規検索] をクリックします。指定した条件で検索され、画面中央に検索結果リストが表示されます。
- 7 表示された検索結果よりも前の時間を検索する場合は [追加検索(前)] を、後の時間を検索する場合は [追加検索(後)] をクリックします。
- 8 検索結果リストから、再生したい画像を選び、[再生] または再生パネルの [▶] をクリックします。選択した画像の再生が始まります。

11-7 設定を変更する

ネットワークを通して本体のセットアップメニューの設定を行うことができます。各種設定の内容については、40～81ページ「8 設定変更」をご覧ください。「管理者」ユーザーでログインした場合に設定を変更できます。



- 1 「設定」をクリックします。
設定画面が表示されます。
- 2 [ログイン] をクリックします。
メニュー画面が表示されます。



- 3 左のリストから変更したい設定をクリックします。
- 4 設定を変更し、[決定] をクリックします。
- 5 左のリストから「ライブ画面に戻る」をクリックします。
ライブ画面に戻ります。

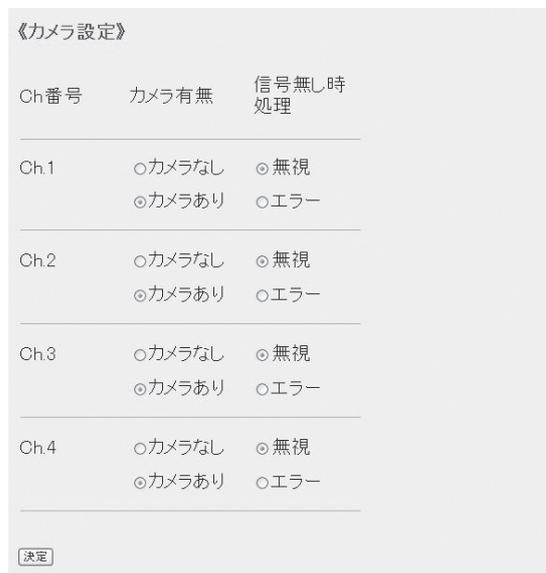
●画面の構成

本体の時計設定を行います。



●再生する

接続するカメラの設定を行います。



●ライブ設定

ライブ時の画面設定を行います。

《ライブ設定》

Ch番号 切替間隔 アラーム・画面 保持 アラーム・他 Ch

Ch.1	5秒	なし	有効
Ch.2	5秒	なし	有効
Ch.3	5秒	なし	有効
Ch.4	5秒	なし	有効

決定

●パニック設定

パニック録画の設定を行います。

《パニック設定》

Ch番号 画質

Ch.1	OFF
Ch.2	OFF
Ch.3	OFF
Ch.4	OFF

決定

●モード1、モード2録画設定

常時録画、アラーム録画、プリ録画の設定を行います。

《モード1 録画設定》

	Ch番号	画質	録画間隔
常時録画	Ch.1	OFF	1秒
	Ch.2	OFF	1秒
	Ch.3	OFF	1秒
	Ch.4	OFF	1秒

	Ch番号	画質	ポスト時間	録画間隔	マルチ
アラーム録画	Ch.1	OFF	10秒	1秒	なし
	Ch.2	OFF	10秒	1秒	なし
	Ch.3	OFF	10秒	1秒	なし
	Ch.4	OFF	10秒	1秒	なし

	Ch番号	画質	録画間隔	プリ枚数(1~100枚)
プリ録画	Ch.1	OFF	1秒	
	Ch.2	OFF	1秒	
	Ch.3	OFF	1秒	
	Ch.4	OFF	1秒	

決定

●音声記録設定

音声記録を行うかどうかを設定します。

《音声記録設定》

音声記録 OFF
ON

決定

●録画時間設定

録画時間の設定を行います。

《録画時間設定》

タイマ 開始時 終了時 録画モ 曜日指定
一番号 刻 刻 ード

	開始時	終了時	モード	日	月	火	水	木	金	土	休
タイマ ー1	24:00	00:00	モード1	<input checked="" type="checkbox"/>							
タイマ ー2	00:00	00:00	モード1	<input type="checkbox"/>							
タイマ ー3	00:00	00:00	モード1	<input type="checkbox"/>							
タイマ ー4	00:00	00:00	モード1	<input type="checkbox"/>							
タイマ ー5	00:00	00:00	モード1	<input type="checkbox"/>							
タイマ ー6	00:00	00:00	モード1	<input type="checkbox"/>							

開始24:00=24時間/下優先

決定

●ネットワーク設定

ネットワーク機能に関する本体側の設定を行います。

変更すると一度、ネットワークは切断されます。

《ネットワーク設定》

ネットワーク OFF
ON

IPアドレス ...
サブネットマスク ...
ゲートウェイ ...
接続ポート

権限	ユーザー名	パスワード
ユーザー1	<input type="text"/>	入力 <input type="text"/> 再入力 <input type="text"/>
ユーザー2	<input type="text"/>	入力 <input type="text"/> 再入力 <input type="text"/>

NTP機能 使用しない 更新時刻設定 時 分
使用する NTPサーバアドレス設定 ...

決定

メモ ネットワークでは、モーションセンサ設定はできません。
本体で行ってください。

●入力端子設定

本体の入力端子の設定を行います。

入力端子番号	入力種類	接点	形式	抑止時間	リミット時間	アラーム出力	ブザー設定
入力1	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし
入力2	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし
入力3	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし
入力4	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし
入力5	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし
入力6	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし
入力7	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし
入力8	なし	NO	エッジ	なし	無限	初	なし

決定

●出力端子設定

本体の出力端子の設定を行います。

出力端子番号	出力条件	タイミング	出力開始時間	異常温度基準
出力1	使わない	発生時出力	即時	高/低温時
出力2	使わない	発生時出力	即時	高/低温時
出力3	使わない	発生時出力	即時	高/低温時

アラーム出力タイミング

ライブ中

録画中 録画モード中全て

再生中

セットアップ中

決定

●名称設定

本体にて使用する名称設定を行います。
なお、使用できるのは JIS 漢字コードの第一水準までです。

名称設定	名称入力
本体	<input type="text"/>
Ch.1	<input type="text"/>
Ch.2	<input type="text"/>
Ch.3	<input type="text"/>
Ch.4	<input type="text"/>

本体名表示

CH名表示

決定

●システム設定

本体のシステム設定を行います。

《システム設定》	
上書き	即時
監視開始遅延時間	なし
再生系	常時録画リストアップ間隔 5分
	自動再生位置 最新イベント
エラー設定	エラーブザー時間 10秒
	キー入力なし警告 なし
	録画時アラームなし警告 なし
	SMART機能 初
休日表	2009年2月 日 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

決定

●ディスク設定

本体のディスク情報が表示されます。

《ディスク設定》	
ディスク情報	CH別記録枚数
	CH1:2803枚
	CH2:2803枚
	CH3:2803枚
	CH4:2803枚
	フォーマット日時 2009/03/12 18:10:19
	録画投入日時 2009/03/13 16:16:02
	最新画像日時 2009/03/13 13:16:10
	HDD利用率 0.000000%
利用率表示	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり

決定

●ログ表示

操作ログ、エラーログ、停電ログを別ウインドウで表示します。最大 250 件表示します。

《ログ表示》	
ログ	操作ログ <input checked="" type="checkbox"/>
	エラーログ <input checked="" type="checkbox"/>
	停電・起動ログ <input checked="" type="checkbox"/>

はじめに

準備

操作

設定

その他

ネットワーク

11-8 こんなときは（トラブルシューティング）

症状		原因	対処方法	参照ページ
接続	接続できない。	パスワードを正しく入力していない。(3回パスワード入力を失敗するとエラーメッセージ“AUTHENTICATION ERROR PLEASE ENTER YOUR ID AND PASSWORD”が出現)	正しいパスワードを入力してください。	P103
		本体のネットワーク設定画面で「ネットワーク接続」の「ネットワーク」を「しない」に設定している。	「ネットワーク接続」の「ネットワーク」を「する」に設定してください。	P50
画面表示	画像が表示されない。	VIDEO LOSS している。	映像入力端子の映像ケーブルやカメラ側の映像ケーブル、電源ケーブルの接続を確認してください。	P15

保証書

WT-3000J

保証期間 ※お買い上げ年月日 より 1 年間	販売店名
お客様ご住所 (〒) (TEL) お名前	<お願い> ・ 太字枠内はお買い上げ時に必ず記入を受けて下さい。 ・ 記入なき場合、本書は無効となります。 ・ 本書は大切に保管して下さい。再発行はいたしません。

(保証規定)

I. 保証の範囲

1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申しつけください。
2. この保証は保証書に記載された製品について、日本国内に限り適用いたします。
3. 次の部品は、保証期間内であっても有償修理となります。
・ ハードディスクドライブ、ハードディスクドライブの放熱ファン

II. 保証の条件

次に該当する故障は、保証期間（お買い上げ日より 1 年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

1. 誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障
2. 災害など不可抗力による損害
3. 保証書太字枠内に必要事項の記入が無い場合。

- ・ 本書にご記入いただきました個人情報につきましては、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。
- ・ この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

オプテックス株式会社

本社: 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号

TEL (077) 579-8630 FAX (077) 579-8170

東京営業所: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F

TEL (03) 3344-5775 FAX (03) 3344-5734

この説明書は、再生紙を利用しております。

<http://www.optex.co.jp>